

対象校No. 237
注4

学校コード F127210111989
注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 大学の設置
注1

認可

注2

大阪公立大学 現代システム科学域 環境社会システム学類

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

公立大学法人大阪
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 本部事務機構総務部総務課

職名・氏名

電話番号

(夜間)

e-mail

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

現代システム科学域

＜環境社会システム学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	34
4. 既設大学等の状況	35
5. 教員組織の状況	38
6. 附帯事項等に対する履行状況等	67
7. その他全般的事項	71

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人大阪

(2) 大 学 名

大阪公立大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒599-8531

大阪府堺市中区学園町1番1号

(大阪府大阪市阿倍野区旭町 1－2－7)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ニシザワ ヨシキ) 西澤 良記 (平成31年4月)	(フクシマ シンイチ) 福島 伸一 (令和5年4月)	任期満了のため (5)
学 長	(タツミサゴ マサヒロ) 辰巳砂 昌弘 (令和4年4月)		
学 域 長	(スガノ マサシ) 菅野 正嗣 (令和4年4月)		
学 類 長	(ソウダ ヒロアキ) 相田 洋明 (令和4年4月)	(オキツ ケンジ) 興津 健二 (令和6年4月)	任期満了のため (6)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
現代システム科学域 環境社会システム学類 学士(環境社会システム学) 学士(学術)	文学関係 法学関係 経済学関係 社会学・社会 福祉学関係 工学関係 農学関係	4 年	100 人	2年次 0 3年次 0 人 4年次 0 人	400 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 100 (—) [若干名]	人 — (—) [若干名]	人 100 (—) [若干名]	人 — (—) [若干名]	人 100 (—) [若干名]	人 — (—) [若干名]	—	0.94倍	—	・「入学定員」 100人には、入学 時に学類を定めず 2年次に各学類に 所属する学域単位 入学者30人を含 む。 ・「志願者数」 「受験者数」 「合格者数」 「入学者数」には学域単位 入学者を含まな い。 ・「収容定員充足 率」には、学域単 位入学者を含む。 ・学域単位入学者 の状況【募集人 員】60【志願者 数】R4:388(→)[0] ／R5:313(→)[0] ／R6:346(→)[0]【受 験者数】R4:236(→) [0]／R5:186(→) [0]／R6:203(→) [0]【合格者数】 R4:74(→)[0]／ R5:66(→)[0]／ R6:73(→)[0]【入 学者数】R4:61(→) [0]／R5:61(→) [0]／R6:62(→) [0]
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	264 (—) [5]	— (—) [—]	225 (—) [6]	— (—) [—]	425 (—) [3]	— (—) [—]				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	249 (—) [2]	— (—) [—]	214 (—) [4]	— (—) [—]	411 (—) [2]	— (—) [—]				
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	75 (—) [2]	— (—) [—]	73 (—) [1]	— (—) [—]	74 (—) [0]	— (—) [—]				
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	75 (—) [2]	— (—) [—]	73 (—) [1]	— (—) [—]	73 (—) [0]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B／A	—		—		—		0.75		0.73		0.73					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・ 「(5)－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	74 [１] (ー)	－ [ー] (ー)	73 [１] (ー)	－ [ー] (ー)	73 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	・ 1年次の各人数には学域単位入学者を含まない。 ・ 1年次の学域単位入学者の状況 【春季入学】令和4年度:61[-] (-)/令和5年度:61[-] (-)/令和6年度:62[-] (-) 【その他の学期】令和4年度:-[-] (-)/令和5年度:-[-] (-)/令和6年度:-[-] (-) 〈令和5年度報告〉 ・ 令和4年度入学生において、2年次より心理学類への転学類により1名減少。 ・ 令和5年度2年次：学域単位入学生の学類配属により18名増加。 〈令和6年度報告〉 ・ 令和6年度2年次：学域単位入学生の学類配属により13名増加。 ・ 令和6年度2年次：他学部からの転学部により1名増加。
２年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	91 [１] (ー)	－ [ー] (ー)	87 [１] (ー)	－ [ー] (ー)	
３年次					－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	91 [１] (ー)	－ [ー] (ー)	
４年次							－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
計							74 [１] (ー)	－ [ー] (ー)	164 [２] (ー)	－ [ー] (ー)	251 [２] (ー)	－ [ー] (ー)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 一④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	75 人	1 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	1 人	1 人	[除籍(1人)] ※「在学者数」「退学者数」には学域単位入学者を含まない。 ※学域単位入学者の状況 【在学者数】61【退学者数】0
令和5年度	164 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	※「在学者数」「退学者数」には学域単位入学者を含まない。 ※学域単位入学者の状況 【在学者数】61【退学者数】1(内訳 入学した年度:令和5年度 退学者数:1人 うち留学生数:0人 主な理由:その他(1人))
令和6年度	251 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	※「在学者数」「退学者数」には学域単位入学者を含まない。 ※学域単位入学者の状況 【在学者数】62【退学者数】0
合 計		1 人		1 人	1 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a)	=	-	=		%
令和元年度の在学者数(b)	=	-	=		%

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a)	=	-	=	-	%
令和2年度の在学者数(b)	=	-	=	-	%

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a)	=	-	=	-	%
令和3年度の在学者数(b)	=	-	=	-	%

【令和4年度】

$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{75} =$	<div>1.33</div>	%
--	-----------------	---

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{164} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{251} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜現代システム科学域 環境社会システム学類科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 幹 教 育 科 目	Ⅰ 基 礎 科 目	哲学入門	1前・後		2							1	
		倫理学入門	1前・後		2							1	
		日本史の見方	1前・後		2							1	
		東洋史の見方	1前・後		2							1	
		西洋史の見方	1前・後		2							1	
		考古学入門	1前・後		2							1	
		言語学入門	1前・後		2							1	
		日本語学入門	1前・後		2							1	
		小計（8科目）	—	0	16	0	0	0	0	0	0	8	
		日本国憲法	1前・後		2							1	
		心理学入門	1前・後		2							1	
		現代社会学入門	1前・後		2							1	
		現代経済学入門	1前・後		2							1	
		現代地理学入門	1前・後		2							1	
		文化人類学入門	1前・後		2							1	
		法学入門	1前・後		2							1	
		政治学入門	1前・後		2							1	
		ジェンダー論入門	1前・後		2							6	
		小計（9科目）	—	0	18	0	0	0	0	0	0	14	
		科学技術と社会	1前・後		2								1
	数学への招待	1前・後		2								1	
	物理学への招待	1前・後		2								1	
	化学への招待	1前・後		2								3	
	生物学への招待	1前・後		2								2	
	生物化学への招待	1前・後		2								2	
	地球学への招待	1前・後		2								1	
	小計（7科目）	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	11	
	歴史のなかの大阪	1前・後		2								1	
	関西文学論	1前・後		2								1	
	地域文化学	1前・後		2								1	
	大阪の自然	1前・後		2								2	
	大阪の都市づくり	1前・後		2								2	
	大阪落語への招待	1前・後		2								1	
	小計（6科目）	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	7	
	Ⅱ 主 題 科 目	A S D G s	技術と環境	1前・後		2							1
			人体を考える	1前・後		2							3
			行動の生理科学	1前・後		2							1
			国際開発の課題	1前・後		2							1
			人間と居住環境	1前・後		2							11
			環境と経済	1前・後		2							1
			生命と進化	1前・後		2							3
			現代の医療	1前・後		2							2
			健康へのアプローチ	1前・後		2							13
			生命と環境	1前・後		2							1
			現代社会と健康	1前・後		2							1
			自然環境学概論	1前・後		2							7
			環境・生命・倫理	1前・後		2							4
		小計（13科目）	—	0	26	0	0	0	0	0	0	49	
		B 人 間・ 都 市・ 社 会	哲学的人間学	1前・後		2							1
			哲学と社会	1前・後		2							1
人間と宗教			1前・後		2							1	
共生社会と宗教			1前・後		2							1	
教育と文化			1前・後		2							1	
心理学・認知科学と人間			1前・後		2							1	
文化と社会の心理			1前・後		2							1	
認知のしくみ			1前・後		2							1	
行動と学習の心理			1前・後		2							1	
教育と発達心理学			1前・後		2							1	
子どもの生活と健康教育			1前・後		2							1	
社会科学のフロンティア			1前・後		2							1	
思想と社会			1前・後		2							1	
経済学の歴史と思想			1前・後		2							2	
戦争と人間			1前・後		2							1	
世界のなかの日本経済			1前・後		2							1	
現代日本の政治と経済			1前・後		2							1	
現代の経営			1前・後		2							1	
国際社会と法			1前・後		2							1	
国際社会と政治			1前・後		2							1	
暮らしと政治			1前・後		2							1	
都市的世界の社会学			1前・後		2							1	
現代文化の社会学			1前・後		2							1	
メディアの社会学			1前・後		2							1	
現代の社会問題			1前・後		2							1	
家族と社会			1前・後		2							1	
医療と社会			1前・後		2							1	
スポーツと社会			1前・後		2							1	
測定・実験で学ぶ人間と社会			1前・後		2							1	
観光研究入門			1前・後		2							1	
都市の地理学			1前・後		2							1	
都市の社会史			1前・後		2							1	
都市生活と人間福祉			1前・後		2							6	
バリアフリー論			1前・後		2							1	
現代都市論			1前・後		2							2	
都市の経済とビジネス	1前・後			2							8		
都市・地域政策	1前・後		2							10			
国際地域経済と都市	1前・後		2							1			
都市研究の最前線	1前・後		2							2			
コミュニティ防災	1前・後		2							11			
現代の部落問題	1前・後		2							1			
メディアと人権	1前・後		2							1			
部落解放のフロンティア	1前・後		2							1			
部落差別の成立と展開	1前・後		2							1			

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 幹 教 育 科 目	Ⅱ 総合教養科目 主 題 科 目	B 人間・都市・社会	グローバル化と人権	1前・後	2							1
			障がい者と人権A	1前・後	2							1
			障がい者と人権B	1前・後	2							1
			企業と人権	1前・後	2							1
			地球市民と人権	1前・後	2							1
			労働と人権	1前・後	2							12
			平和と人権	1前・後	2							8
			ジェンダーと現代社会	1前・後	2							2
			クィアスタディーズ	1前・後	2							1
			エスニック・スタディ	1前・後	2							1
			小計（54科目）	—	0	108	0	0	0	0	0	98
	C 歴史と文化	歴史を学ぶとは	歴史を学ぶとは	1前・後	2							2
			日本社会の歴史	1前・後	2							1
			東洋社会の歴史	1前・後	2							1
			西洋社会の歴史	1前・後	2							1
			現代の歴史	1前・後	2							1
			ことばの歴史	1前・後	2							1
			英語学	1前・後	2							1
			世界のなかの英語	1前・後	2							1
			ヨーロッパの多言語社会	1前・後	2							1
			日本の古典文学	1前・後	2							1
			物語文学を読む	1前・後	2							1
			世界の文学	1前・後	2							3
			中国古典文学への招待	1前・後	2							1
			ヨーロッパの文学	1前・後	2							1
			文学と社会	1前・後	2							1
			日本の近代文学	1前・後	2							1
			近代社会と読書	1前・後	2							1
			芸術の世界	1前・後	2							1
			東洋美術史	1前・後	2							1
			美術史	1前・後	2							3
			音楽の諸相	1前・後	2							1
			音楽と生活	1前・後	2							1
			造形と生活	1前・後	2							1
			アーツマネジメント	1前・後	2							1
			音楽と対話	1前・後	2							1
			コミュニケーションの諸相と文化	1前・後	2							1
			アイデンティティと文化	1前・後	2							1
			国際文化の視点	1前・後	2							1
			環境と文化	1前・後	2							1
			観光と文化	1前・後	2							1
			中国の思想	1前・後	2							1
			ヨーロッパ文化史	1前・後	2							1
			ヨーロッパ事情	1前・後	2							1
			新西洋事情	1前・後	2							1
			西洋社会文化史	1前・後	2							1
			西洋宗教文化史	1前・後	2							1
			西洋教育文化史	1前・後	2							1
			フィランソロビー学入門	1前・後	2							1
			比較文化社会論	1前・後	2							1
			日本事情A	1前・後	2							1
			日本事情B	1前・後	2							1
			英語で学ぶ日本事情	1前・後	2							1
			小計（42科目）	—	0	84	0	0	0	0	0	37
	D 自然と情報	社会に生きる科学	社会に生きる科学	1前・後	2							1
			現代科学と人間	1前・後	2							4
			心と脳	1前・後	2							1
			行動と視機能	1前・後	2							1
			データリテラシー	1前・後	2							1
			植物の科学	1前・後	2							3
			地図と地理情報	1前・後	2							1
			情報と社会	1前・後	2							6
			社会におけるネットワーク	1前・後	2							1
			社会と統計	1前・後	2							1
			植物と人間	1前・後	2							3
			コンピューターグラフィックス概論	1前・後	2							1
			工学研究の最先端	1前・後	2							3
			創薬科学のすすめ	1前・後	2							10
			植物園で学ぶ植物の多様性	1前・後	2							3
			小計（15科目）	—	0	30	0	0	0	0	0	37
	Ⅲ キャリアデザイン科目	現代社会におけるキャリアデザイン	現代社会におけるキャリアデザイン	1前・後	2							1
			キャリアと実践	1前・後	2							1
			国際活動とキャリア	1前・後	2							1
			大学でどう学ぶか	1前・後	2							1
			現代社会と大学	1前・後	2							1
			市民・学生のための大学評価論	1前・後	2							1
			世界の大学と学生	1前・後	2							1
			グローバル経営論	1前・後	2							2
			社会と会計	1前・後	2							1
			国際ビジネス	1前・後	2							1
			学びのデータから見る大学	1前・後	2							1
			プレゼンテーション技法	1前・後	2							2
			小計（12科目）	—	0	24	0	0	0	0	0	10
	Ⅳ 数理・データサイエンス科目	数理・データサイエンス基礎A	数理・データサイエンス基礎A	1前・後	2							1
			数理・データサイエンス基礎B	1前・後	2							1
			数理・データサイエンス基礎C	1前・後	2							1
			小計（3科目）	—	0	6	0	0	0	0	0	3
初 年 次 教 育 科 目	初年次ゼミナール	小計（1科目）	初年次ゼミナール	1前	2							9
			小計（1科目）	—	2	0	0	0	0	0	0	9
	情報リテラシー科目	小計（1科目）	情報リテラシー	1前	2							1
			小計（1科目）	—	2	0	0	0	0	0	0	1
	外 国 語 科 目	Ⅰ 英語科目	University English 1A	1前	1							6
			University English 1B	1前	1							7
			University English 2A	1後	1							12
			University English 2B	1後	1							8
			University English 3A	2前・後	1							16
			University English 3B	2前・後	1							12
			Media English	1前		1						1
			Writing A	1後		1						1
			Writing B	3前		1						1
			TOEFL A	1前		1						1

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 幹 教 育 科 目	Ⅱ 総合教養科目	B 人間・都市・社会	グローバル化と人権	1前・後		2							1
			障がい者と人権A	1前・後		2							1
			障がい者と人権B	1前・後		2							1
			企業と人権	1前・後		2							1
			地球市民と人権	1前・後		2							1
			労働と人権	1前・後		2							13
			平和と人権	1前・後		2							8
			ジェンダーと現代社会	1前・後		2							2
			クィアスタディーズ	1前・後		2							1
			エスニック・スタディ	1前・後		2							1
			コリアン・スタディーズ	1前・後		2							1
			小計（55科目）	—	0	110	0	0	0	0	0	0	91
	C 歴史と文化	歴史を学ぶとは	1前・後		2								2
		日本社会の歴史	1前・後		2								1
		東洋社会の歴史	1前・後		2								1
		西洋社会の歴史	1前・後		2								1
		現代の歴史	1前・後		2								1
		ことばの歴史	1前・後		2								1
		英語学	1前・後		2								1
		世界のなかの英語	1前・後		2								1
		ヨーロッパの多言語社会	1前・後		2								1
		日本の古典文学	1前・後		2								1
		物語文学を読む	1前・後		2								1
		世界の文学	1前・後		2								4
		中国古典文学への招待	1前・後		2								1
		ヨーロッパの文学	1前・後		2								1
		文学と社会	1前・後		2								1
		日本の近代文学	1前・後		2								1
		近代社会と読書	1前・後		2								1
		芸術の世界	1前・後		2								1
		東洋美術史	1前・後		2								1
		美術史	1前・後		2								1
		音楽の諸相	1前・後		2								1
		音楽と生活	1前・後		2								1
		造形と生活	1前・後		2								1
		アーツマネジメント	1前・後		2								1
		音楽と対話	1前・後		2								1
		コミュニケーションの諸相と文化	1前・後		2								1
		アイデンティティと文化	1前・後		2								1
		国際文化の視点	1前・後		2								1
		環境と文化	1前・後		2								1
		観光と文化	1前・後		2								1
		中国の思想	1前・後		2								1
		ヨーロッパ文化史	1前・後		2								1
		ヨーロッパ事情	1前・後		2								1
		新西洋事情	1前・後		2								1
		西洋社会文化史	1前・後		2								1
		西洋宗教文化史	1前・後		2								1
		西洋教育文化史	1前・後		2								1
		フィランソロビー学入門	1前・後		2								1
		比較文化社会論	1前・後		2								1
		日本事情A	1前・後		2								1
		日本事情B	1前・後		2								1
		英語で学ぶ日本事情	1前・後		2								1
		小計（42科目）	—	0	84	0	0	0	0	0	0	0	36
D 自然と情報	社会に生きる科学	1前・後		2								1	
	現代科学と人間	1前・後		2								4	
	心と脳	1前・後		2								1	
	行動と視機能	1前・後		2								1	
	データリテラシー	1前・後		2								1	
	植物の科学	1前・後		2								3	
	地図と地理情報	1前・後		2								1	
	情報と社会	1前・後		2								6	
	社会におけるネットワーク	1前・後		2								1	
	社会と統計	1前・後		2								1	
	植物と人間	1前・後		2								3	
	コンピューターグラフィックス概論	1前・後		2								1	
	工学研究の最先端	1前・後		2								2	
	創薬科学のすすめ	1前・後		2								9	
	植物園で学ぶ植物の多様性	1前・後		2								3	
小計（15科目）	—	0	30	0	0	0	0	0	0	0	37		
Ⅲ キャリアデザイン科目	現代社会におけるキャリアデザイン	1前・後		2								1	
	キャリアと実践	1前・後		2								1	
	国際活動とキャリア	1前・後		2								1	
	大学でどう学ぶか	1前・後		2								1	
	現代社会と大学	1前・後		2								1	
	市民・学生のための大学評価論	1前・後		2								1	
	世界の大学と学生	1前・後		2								1	
	グローバル経営論	1前・後		2								2	
	社会と会計	1前・後		2								1	
	国際ビジネス	1前・後		2								1	
	学びのデータから見る大学	1前・後		2								1	
	プレゼンテーション技法	1前・後		2								1	
	研究者の世界へ	1後			2							2	
	高年次ゼミナール	3前		2								2	
	キャリアと実践2	2前		2								3	
小計（15科目）	—	0	28	2	0	0	0	0	0	0	14		
Ⅳ 数理・データサイエンス科目	数理・データサイエンス基礎A	1前・後		2								1	
	数理・データサイエンス基礎B	1前・後		2								1	
	数理・データサイエンス基礎C	1前・後		2								1	
	数理・データサイエンス	1前・後		2								1	
	小計（4科目）	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	4	
初年次 教育科目	初年次ゼミナール	1前	2									8	
	小計（1科目）	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
	情報 リテラシー科目	情報リテラシー	1前	2									1
小計（1科目）		—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
外国語 科目	Ⅰ 英語科目	University English 1A	1前	1								8	
		University English 1B	1前	1								9	
		University English 2A	1後	1								14	
		University English 2B	1後	1								10	
		University English 3A	2前・後	1								14	
		University English 3B	2前・後	1								11	
		Media English	1前	1								1	
		Writing A	1後	1								1	
		Writing B	3前	1								1	
		TOEFL A	1前	1								1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 幹 教 育 科 目	外 国 語 科 目	I 英 語 科 目	TOEFL B	1前	1							1
			TOEIC L&R	1前	1							1
			英語海外語学研修A	1前	1							1
			英語海外語学研修B	1後	1							1
			海外活動（留学・ビジネス）準備コース	1前	1							1
			Discussion	1前	1							1
			Reading	1前	1							1
			Literature	1前	1							1
			Comparative Culture	1前	1							1
			ESD A	1前	1							1
			ESD B	1前	1							1
			Presentation	1後	1							1
			Communicative Grammar	1前	1							1
			小計（23科目）	—	6	17	0	0	0	0	0	41
	II 初修外国語科目	ド イ ツ 語	ドイツ語入門1	1前	1							3
			ドイツ語入門2	1後	1							2
			ドイツ語入門A（基礎）	1前	1							4
			ドイツ語入門B（会話）	1前	1							4
			ドイツ語初級A（基礎）	1後	1							5
			ドイツ語初級B（会話）	1後	1							5
			ドイツ語特修A	2前	1							1
			ドイツ語特修B	2後	1							1
			ドイツ語特修C	2前	1							1
			ドイツ語特修D	2後	1							1
			ドイツ語特修E	2前	1							1
			ドイツ語特修F	2後	1							1
			ドイツ語特修G	2前	1							1
			ドイツ語特修H	2後	1							1
			ドイツ語海外語学研修	2前・後	1							1
			小計（15科目）	—	0	15	0	0	0	0	0	11
	フ ラ ン ス 語		フランス語入門1	1前	1							2
			フランス語入門2	1後	1							1
			フランス語入門A（基礎）	1前	1							4
			フランス語入門B（会話）	1前	1							3
			フランス語初級A（基礎）	1後	1							4
			フランス語初級B（会話）	1後	1							3
			フランス語特修A	2前	1							1
			フランス語特修B	2後	1							1
			フランス語特修C	2前	1							1
			フランス語特修D	2後	1							1
	中 国 語		中国語入門1	1前	1							6
			中国語入門2	1後	1							4
			中国語入門A（基礎）	1前	1							5
			中国語入門B（会話）	1前	1							6
			中国語初級A（基礎）	1後	1							5
			中国語初級B（会話）	1後	1							6
			中国語特修A	2前	1							1
			中国語特修B	2後	1							1
			中国語特修C	2前	1							1
			中国語特修D	2後	1							1
	ロ シ ア 語		ロシア語入門1	1前	1							2
			ロシア語入門2	1後	1							1
			ロシア語入門A（基礎）	1前	1							2
			ロシア語入門B（会話）	1前	1							2
			ロシア語初級A（基礎）	1後	1							2
			ロシア語初級B（会話）	1後	1							2
			ロシア語特修A	2前	1							1
			ロシア語特修B	2後	1							1
			ロシア語特修C	2前	1							1
			ロシア語特修D	2後	1							1
			ロシア語海外語学研修	2前・後	1							1
			小計（11科目）	—	0	11	0	0	0	0	0	4

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 幹 教 育 科 目	外 国 語 科 目	I 英 語 科 目	TOEFL B	1前	1							1
			TOEIC L&R	1前	1							1
			英語海外語学研修A	1前	1							1
			英語海外語学研修B	1後	1							1
			海外活動（留学・ビジネス）準備コース	1前	1							1
			Discussion	1前	1							2
			Reading	1前	1							1
			Literature	1前	1							1
			Comparative Culture	1前	1							1
			ESD A	1前	1							1
			ESD B	1前	1							1
			Presentation	1後	1							1
			Communicative Grammar	1前	1							1
			小計（23科目）	—	6	17	0	0	0	0	0	35
	II 初修外国語科目	ド イ ツ 語	ドイツ語入門1	1前	1							3
			ドイツ語入門2	1後	1							3
			ドイツ語入門A（基礎）	1前	1							4
			ドイツ語入門B（会話）	1前	1							4
			ドイツ語初級A（基礎）	1後	1							4
			ドイツ語初級B（会話）	1後	1							5
			ドイツ語特修A	2前	1							1
			ドイツ語特修B	2後	1							1
			ドイツ語特修C	2前	1							1
			ドイツ語特修D	2後	1							1
	フ ラ ン ス 語		フランス語入門1	1前	1							3
			フランス語入門2	1後	1							2
			フランス語入門A（基礎）	1前	1							4
			フランス語入門B（会話）	1前	1							2
			フランス語初級A（基礎）	1後	1							4
			フランス語初級B（会話）	1後	1							3
			フランス語特修A	2前	1							1
			フランス語特修B	2後	1							1
			フランス語特修C	2前	1							2
			フランス語特修D	2後	1							2
	中 国 語		中国語入門1	1前	1							6
			中国語入門2	1後	1							5
			中国語入門A（基礎）	1前	1							5
			中国語入門B（会話）	1前	1							6
			中国語初級A（基礎）	1後	1							5
			中国語初級B（会話）	1後	1							6
			中国語特修A	2前	1							1
			中国語特修B	2後	1							1
			中国語特修C	2前	1							1
			中国語特修D	2後	1							1
	ロ シ ア 語		ロシア語入門1	1前	1							3
			ロシア語入門2	1後	1							3
			ロシア語入門A（基礎）	1前	1							3
			ロシア語入門B（会話）	1前	1							2
			ロシア語初級A（基礎）	1後	1							3
			ロシア語初級B（会話）	1後	1							2
			ロシア語特修A	2前	1							1
			ロシア語特修B	2後	1							1
			ロシア語特修C	2前	1							1
			ロシア語特修D	2後	1							1
			ロシア語海外語学研修	2前・後	1							1
			小計（11科目）	—	0	11	0	0	0	0	0	5

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 幹 教 育 科 目	外国語科目	朝鮮語	朝鮮語入門1	1前		1							3
			朝鮮語入門2	1後		1							2
			朝鮮語入門A（基礎）	1前		1							2
			朝鮮語入門B（会話）	1前		1							3
			朝鮮語初級A（基礎）	1後		1							2
			朝鮮語初級B（会話）	1後		1							3
			朝鮮語特修A	2前		1							1
			朝鮮語特修B	2後		1							1
			朝鮮語特修C	2前		1							1
			朝鮮語特修D	2後		1							1
			韓国語海外語学研修A	1前・後		1							1
			韓国語海外語学研修B	2前・後		1							1
			小計（12科目）	—	0	12	0	0	0	0	0	0	6
	特例科目	日本語1A	1前・後		1							1	
		日本語1B	1前・後		1							1	
		日本語2A	1前・後		1							1	
		日本語2B	1前・後		1							1	
		日本語3A	1前・後		1							1	
		日本語3B	1前・後		1							1	
	小計（6科目）	—	0	6	0	0	0	0	0	0	1		
	健康・ スポーツ 科学 科目	健康・スポーツ科学概論	1前・後	2								4	
		健康・スポーツ科学実習	1前・後	1								7	
		小計（2科目）	—	3	0	0	0	0	0	0	0	7	
	基礎 教育 科目	数学	数学リテラシー1	1前・後		2							2
			数学リテラシー2	1前・後		2							2
			微積分1A	2前・後	2								1
			微積分2	2前・後		2							1
			線形代数1	1前・後	2								2
			線形代数2A	1前・後	2								1
			統計学基礎1	1前・後	2								2
			統計学基礎2	1前・後	2								2
			小計（8科目）	—	10	6	0	0	0	0	0	0	10
		生物学	生物学B	1前・後		2							1
			小計（1科目）	—	0	2	0	0	0	0	0	0	1
		情報	プログラミング入門A	1前・後	2								1
			プログラミング入門B	1前・後		2							1
	小計（2科目）		—	2	2	0	0	0	0	0	0	2	
	教育の基礎的 理解に 関する 科目	教育の思想と歴史	1前・後			2						1	
		教育基礎論	1前・後			2						1	
		人間形成論	2前・後			2						1	
		教育の基礎1（思想と歴史）	1前・後			1						1	
		教職概論	1前・後			2						1	
		教育と社会	1前・後			2						1	
教育の法と制度		1前・後			2						1		
教育制度論		1前・後			2						1		
教育社会学		1前・後			2						1		
教育の基礎2（社会と制度）		1前・後			1						1		
発達・学習論		1前・後			2						1		
特別支援教育論		2前・後			2						1		
教育課程論		2前・後			2						1		
小計（13科目）		—	0	0	24	0	0	0	0	0	13		
る法道 科 目 び、 生徒 合 徒 合 指 導、 な 学 習 の 教育 の 相 談 等 に 関 指 導	道徳指導論	2前・後			2						1		
	道徳及び特別活動の指導法	1前・後			2						1		
	総合的な探究の指導論	2前・後			2						1		
	総合的な学習の時間（概論）	1前・後			1						1		
	特別活動論	2前・後			2						1		
	教育方法論	2前・後			2						1		
	生徒・進路指導論	2前・後			2						1		
	生徒指導論	2前・後			2						1		
	教育相談論	2前・後			2						1		
	小計（9科目）	—	0	0	17	0	0	0	0	0	8		
	教育 実 践 に 関 する 科目	教育実習事前事後指導（中・高）	4前・後			1						1	
教育実習（2単位）		4前・後			2						1		
教育実習（4単位）		4前・後			4						1		
教職実践演習（中・高）		4後			2						1		
教職ボランティア実習A		1前・後			2						1		
教職ボランティア実習B		1前・後			2						1		
教職ボランティア実習C		1前・後			2						1		
教職ボランティア実習D		1前・後			2						1		
教職ボランティア実習E1		1前・後			2						1		
教職ボランティア実習E2		1前・後			2						1		
小計（10科目）	—	0	0	21	0	0	0	0	0	3			
小計（315科目）				—	25	441	62	0	0	0	0	0	374

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任・ 兼 担
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 幹 教 育 科 目	外国語科目	朝鮮語	朝鮮語入門1	1前		1							5
			朝鮮語入門2	1後		1							5
			朝鮮語入門A（基礎）	1前		1							3
			朝鮮語入門B（会話）	1前		1							3
			朝鮮語初級A（基礎）	1後		1							3
			朝鮮語初級B（会話）	1後		1							4
			朝鮮語特修A	2前		1							2
			朝鮮語特修B	2後		1							2
			朝鮮語特修C	2前		1							1
			朝鮮語特修D	2後		1							1
			韓国語海外語学研修A	1前・後		1							1
			韓国語海外語学研修B	2前・後		1							1
			小計（12科目）	—	0	12	0	0	0	0	0	0	9
	特例科目	日本語1A	1前・後		1							1	
		日本語1B	1前・後		1							1	
		日本語2A	1前・後		1							1	
		日本語2B	1前・後		1							1	
		日本語3A	1前・後		1							1	
		日本語3B	1前・後		1							1	
		小計（6科目）	—	0	6	0	0	0	0	0	0	1	
	健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学概論	1前・後	2								4	
		健康・スポーツ科学実習	1前・後	1								6	
		小計（2科目）	—	3	0	0	0	0	0	0	0	6	
	基礎教育科目	数学	数学リテラシー1	1前・後		2							2
			数学リテラシー2	1前・後		2							2
			微積分1A	2前・後	2								1
			微積分2	2前・後		2							1
			線形代数1	1前・後	2								3
			線形代数2A	1前・後	2								1
			統計学基礎1	1前・後	2								3
			統計学基礎2	1前・後	2								2
			小計（8科目）	—	10	6	0	0	0	0	0	0	9
		生物学	生物学B	1前・後		2							1
			小計（1科目）	—	0	2	0	0	0	0	0	0	1
		情報	プログラミング入門A	1前・後	2								1
			プログラミング入門B	1前・後		2							1
	小計（2科目）		—	2	2	0	0	0	0	0	0	2	
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の思想と歴史	1前・後			2							2
		教育基礎論	1前・後			2							1
		人間形成論	2前・後			2							1
		教育の基礎1（思想と歴史）	1前・後			1							1
		教職概論	1前・後			2							1
		教育と社会	1前・後			2							1
		教育の法と制度	1前・後			2							1
		教育制度論	1前・後			2							1
		教育社会学	1前・後			2							1
		教育の基礎2（社会と制度）	1前・後			1							1
		発達・学習論	1前・後			2							1
		特別支援教育論	2前・後			2							1
		教育課程論	2前・後			2							1
		小計（13科目）	—	0	0	24	0	0	0	0	0	0	14
	る法道 科及徳 目び、 生徒合 徒合指 導、な 学 習の 教育の 相時間 談等 に 関指 導	道徳指導論	2前・後			2							1
道徳及び特別活動の指導法		1前・後			2							1	
総合的な探究の指導論		2前・後			2							1	
総合的な学習の時間（概論）		1前・後			1							1	
特別活動論		2前・後			2							1	
教育方法論		2前・後			2							1	
生徒・進路指導論		2前・後			2							1	
生徒指導論		2前・後			2							1	
教育相談論		2前・後			2							1	
ICT活用の理論と実践		2前・後			2							2	
小計（10科目）		—	0	0	19	0	0	0	0	0	0	10	
教育実践に関する科目		教育実習事前事後指導（中・高）	4前・後			1							1
		教育実習（2単位）	4前・後			2							2
		教育実習（4単位）	4前・後			4							1
	教職実践演習（中・高）	4後			2							1	
	教職ボランティア実習A	1前・後			2							1	
	教職ボランティア実習B	1前・後			2							1	
	教職ボランティア実習C	1前・後			2							1	
	教職ボランティア実習D	1前・後			2							1	
	教職ボランティア実習E1	1前・後			2							1	
	教職ボランティア実習E2	1前・後			2							1	
小計（10科目）	—	0	0	21	0	0	0	0	0	0	3		
小計（321科目）				—	25	449	66	0	0	0	0	0	359

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	学 域 共 通 科 目	情報システムとサステイナビリティ	1前	2							4
		自然システムとサステイナビリティ	1前	2		3					
		社会システムとサステイナビリティ	1前	2		1	1				3
		人間システムとサステイナビリティ	1前	2			1				3
		知識情報システム学概論	1後		2						3
		環境社会システム学概論	1後	2		3	1				
		教育福祉学概論	1後		2						5
		心理学概論	1後		2						1
		インターンシップ	2通		2	1					
		海外インターンシップ	2通		2	2					5
		小計（10科目）	—	10	10	0	8	3	0	0	20
	学 類 基 盤 科 目	環境生物学	2前		2		1				
		公衆衛生学	2前		2			1			
		地理学基礎	2前		2		1				
		経済学基礎	2前		2			1			
		公共政策学基礎	2前		2			1			
		経済活動と法	2前		2			1			
		行政活動と法	2前		2						1
		環境哲学・倫理学	2前		2			1			
		社会学基礎	2前		2			2			1
		環境社会システム学卒業研究	4通	6		14	13	1	2		5
		小計（10科目）	—	6	18	0	14	13	1	2	7

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	学 域 共 通 科 目	情報システムとサステイナビリティ	1前	2							4
		自然システムとサステイナビリティ	1前	2			3				
		社会システムとサステイナビリティ	1前	2				1			4
		人間システムとサステイナビリティ	1前	2				1			3
		知識情報システム学概論	1後		2						3
		環境社会システム学概論	1後	2			3	1			
		教育福祉学概論	1後		2						5
		心理学概論	1後		2						1
		インターンシップ	2通		2						1
		海外インターンシップ	2通		2		1				6
		小計（10科目）	—	10	10	0	8	3	0	0	21
	学 類 基 盤 科 目	環境生物学	2前		2		1				
		公衆衛生学	2前		2		1	0			
		地理学基礎	2前		2		1				
		経済学基礎	2前		2			1			
		公共政策学基礎	2前		2			1			
		経済活動と法	2前		2			1			
		行政活動と法	2前		2						1
		環境哲学・倫理学	2前		2			1			
		社会学基礎	2前		2		1	1			1
		環境社会システム学卒業研究	4通	6		16	15	1	0		2
		小計（10科目）	—	6	18	0	16	15	1	0	4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	地域実践演習	1後		2		2	1				1
	地球環境の化学	2前		2		1					
	地域・都市環境学	2後		2					1		
	環境デザイン通史	2後		2			1				
	資源循環論	2前		2							1
	海洋環境生態学	2後		2		1					
	海城環境再生学	3前		2			1				
	陸域環境生態学	2後		2		1					
	陸域環境再生学	3前		2		1	1				
	食品安全論	3前		2			1				
	食糧と環境	3後		2		1					
	景観計画学	3前		2					1		
	防災・安全科学	3前		2		1					
	環境計測学	3後		2		1					
	再生可能エネルギー学	3後		2		1					
	環境再生の化学	2後		2		1					
	環境アセスメント学	3後		2		5	2				
	ミクロ経済学	2後		2			1				
	マクロ経済学	2後		2			1				
	公共経済学	2後		2			1				
	環境経済・経営学	3前		2			1				
	企業の経済学	3前		2			1				
	国際法と共生社会	2後		2							1
	環境法1	3前		2			1				
	環境法2	3後		2							1
	環境政策学	2後		2		1					
	国際政治学	3前		2							1
	都市と経済の地理学	2前		2		1					
	地域研究	2後		2		1					
	環境社会学	2後		2			1				
	文化の社会学	2後		2							1
	共生社会とアイデンティティ	2前		2			1				
	現代の社会問題と社会運動	2後		2			1				
	文化と景観	2後		2		1					
	異文化の理解	2前		2							1
	文化と共生	2後		2							1
	現代社会の倫理学	2前		2			1				
	生命科学技術と社会	2後		2				1			
	環境哲学と現代社会	2後		2			1				
	日本の歴史環境	2前		2		1					
	個人創造の思想史	2後		2		1					
	社会文化史	2前		2		1					
	社会政治思想	2後		2		1					
	地域社会の言語環境	2前		2		1					
	言語使用の多様性研究	2後		2		1					
	ディスコースと社会	2前		2		1					
	言語表現と世界認識	2前		2			1				
	認識とレトリック	2後		2			1				
	文化表象と社会批評	2後		2							1
	グローバル社会の文化表象	2前		2							1
	言語の社会システム	2後		2							1
	学校教育史	3前		2							1
	ジェンダーと社会	2後		2							1
	社会調査論	2後		2			2				
	環境社会システム学演習1	2後	2			14	13	1	2		5
	環境社会システム学演習2	3前	2			14	13	1	2		5
	環境社会システム学演習3	3後	2			14	13	1	2		5
	日本史概説	2前		2							1
	外国史	2前		2							2
	政治学	2後		2							1
	倫理学	2前		2							1
	自然地理学	2後		2							1
	日本近代の社会の歴史	2後		2							1
	東洋の歴史環境	2前		2							1
	西洋の歴史と文化	2後		2							1
	比較地域論	2後		2							1
	国際教育と開発	2後		2							1
	質的調査法	3前		2			2				2
	資料分析法	3後		2			2				2
	調査設計法	3前		2			2				2
	社会科教育法（地歴分野）1A	2前		2							1
	社会科教育法（地歴分野）2A	2前		2							1
	社会科教育法（公民分野）1A	2後		2							1
	社会科教育法（公民分野）2A	2後		2							1
	小計（74科目）	—	6	142	0	14	13	1	2	0	19

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任・ 兼担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	学 類 専 門 科 目	地域実践演習	1後		2		2	1				1
		地球環境の化学	2前		2		1					
		地域・都市環境学	2後		2				1			
		環境デザイン通史	2後		2			1				
		資源循環論	2後		2							1
		海洋環境生態学	2後		2		1					
		海城環境再生学	3前		2			1				
		陸域環境生態学	2後		2		1					
		陸域環境再生学	3前		2		2	0				
		食品安全論	3前		2		1	0				
		食糧と環境	3後		2		1					
		景観計画学	3前		2			1				
		防災・安全科学	3前		2		1					
		環境計測学	3後		2		1					
		再生可能エネルギー学	3後		2		1					
		環境再生の化学	2後		2		1					
		環境アセスメント学	3後		2		6	1				
		ミクロ経済学	2後		2			1				
		マクロ経済学	2後		2			1				
		公共経済学	2後		2			1				
		環境経済・経営学	3前		2			1				
		企業の経済学	3前		2			1				
		国際法と共生社会	2後		2							1
		環境法1	3前		2			1				
		環境法2	3後		2							1
		環境政策学	2後		2		1					
		国際政治学	3前		2							1
		都市と経済の地理学	2前		2		1					
		地域研究	2後		2		1					
		環境社会学	2後		2		1					
		文化の社会学	2後		2				1			0
		共生社会とアイデンティティ	2前		2			1				
		現代の社会問題と社会運動	2後		2		1	1				
		文化と景観	2後		2		1					
		異文化の理解	2前		2			1				0
		文化と共生	2後		2			1				0
		現代社会の倫理学	2前		2			1				
		生命科学技術と社会	2後		2			1				
		環境哲学と現代社会	2後		2			1				
		日本の歴史環境	2前		2		1					
		個人創造の思想史	2後		2		1					
		社会文化史	2前		2		1					
		社会政治思想	2後		2		1					
		地域社会の言語環境	2前		2							1
		言語使用の多様性研究	2後		2							1
		ディスコースと社会	2前		2		1					
		言語表現と世界認識	2前		2			1				
		認識とレトリック	2後		2			1				
		文化表象と社会批評	2後		2							1
		グローバル社会の文化表象	2前		2							1
		言語の社会システム	2後		2							1
		学校教育史	3前		2							1
		ジェンダーと社会	2前		2							1
		社会調査論	2後		2			1	1			
		環境社会システム学演習1	2後	2				16	15	1		2
		環境社会システム学演習2	3前	2				16	15	1		2
		環境社会システム学演習3	3後	2				16	15	1		2
		日本史概説	2前		2							1
		外国史	2前		2							2
		政治学	2後		2							1
		倫理学	2後		2							1
		自然地理学	2後		2							1
		日本近代の社会の歴史	2後		2							1
		東洋の歴史環境	2前		2							1
		西洋の歴史と文化	2後		2							1
		比較地域論	2後		2							1
		国際教育と開発	2後		2							1
		質的調査法	3前		2			1	2	1		0
		資料分析法	3後		2			1	2	1		0
		調査設計法	3前		2			1	2	1		0
		社会科教育法（地歴分野）1A	2前		2							1
		社会科教育法（地歴分野）2A	2前		2							1
		社会科教育法（公民分野）1A	2後		2							1
		社会科教育法（公民分野）2A	2後		2							1
		小計（74科目）	—	6	142	0		16	15	1	0	0

P B L プ ロ グ ラ ム 科 目	PBL演習（ビジネスブレディクション）	3前		2							2
	PBL演習（生産システム科学）	3後		2							3
	PBL演習（ヘルスケア科学）	3前		2							2
	PBL演習（サービスデザイン）	3前		2							1
	PBL演習（教育情報システムデザイン）	3前		2							3
	PBL演習（情報ネットワークシステム）	3前		2							9
	PBL演習（環境学）	3通		2		2					2
	PBL演習（地域再生）	3通		2		2	1				
	PBL演習（環境再生）	3通		2		3	2				
	PBL演習（企業と持続可能な社会）	3通		2			4				
	PBL演習（ESD-A）	3前		2							1
	PBL演習（ESD-B）	3前		2							1
	PBL演習（社会調査）	3通		2			2				2
	PBL演習（都市社会）	3前		2		2					
	PBL演習（文化表象）	3前		2		2	1				2
	PBL演習（共生の思想）	3前		2		2	1	1			
	PBL演習（ジェンダー論）	3前		2							4
	PBL演習（コラボレーション）	3通		2							3
	PBL演習（地域および都市における排除・共生・参加）	3通		2							4
	PBL演習（生涯学習と設計）	3通		2							4
	PBL演習（生活環境と情報）	3後		2							1
	PBL演習（生きることと遊び）	3前		2							5
	PBL演習（教育保障）	3通		2							2
	小計（23科目）	—	0	46	0	12	11	1	0	0	49

P B L プ ロ グ ラ ム 科 目	PBL演習（ビジネスブレディクション）	3前		2							2
	PBL演習（生産システム科学）	3後		2							3
	PBL演習（ヘルスケア科学）	3前		2							2
	PBL演習（サービスデザイン）	3前		2							1
	PBL演習（教育情報システムデザイン）	3前		2							3
	PBL演習（情報ネットワークシステム）	3前		2							9
	PBL演習（環境学）	3通		2		2					2
	PBL演習（地域再生）	3通		2		2	1				
	PBL演習（環境再生）	3通		2		4	2				
	PBL演習（企業と持続可能な社会）	3通		2			4				
	PBL演習（ESD-A）	3前		2							1
	PBL演習（ESD-B）	3前		2							1
	PBL演習（社会調査）	3通		2			2	2	1		0
	PBL演習（都市社会）	3前		2			3	1			
	PBL演習（文化表象）	3前		2		1	1				2
	PBL演習（共生の思想）	3前		2		2	3				
	PBL演習（ジェンダー論）	3前		2							4
	PBL演習（コラボレーション）	3通		2							3
	PBL演習（地域および都市における排除・共生・参加）	3通		2							5
	PBL演習（生涯学習と設計）	3通		2							4
	PBL演習（生活環境と情報）	3後		2							1
	PBL演習（生きることと遊び）	3前		2							4
	PBL演習（教育保障）	3通		2							2
	小計（23科目）	—	0	46	0	15	14	1	0	0	48

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来デザインコース（FDC）専門科目											
未来デザインコース（FDC）専門科目	未来デザイン科目	未来デザインインターンシップ	1後	2			3	1			7
		未来デザイン計画演習	2前	2			3	1			7
		未来デザインPBL演習	3通	2			3	1			7
		未来デザイン卒業研究	4通	6			14	13	1	2	63
		小計（4科目）	—	12	0	0	14	13	1	2	63
	未来デザインプログラム科目（知識情報システム学類基盤科目）	コンピュータシステム	2前		2						1
		情報ネットワーク基礎	2前		2						1
		データベース基礎	2前		2						1
		アルゴリズムとデータ構造	2前		2						1
		情報セキュリティ	2後		2						1
		データ科学	2後		2						1
		マルチメディア情報処理	2後		2						1
		オペレーティングシステム	2前		2						1
		知識情報システム学演習1	2前		2						5
		知識情報システム学演習2	2後		2						7
		知識情報システム学演習3	3前		2						25
		知識情報システム学演習4	3後		2						25
		小計（12科目）	—	0	24	0	0	0	0	0	25
	未来デザインプログラム科目（教育福祉学類基盤科目）	教育福祉学A	2前		2						2
		教育福祉学B	2後		2						2
		人間形成論	2後		2						1
		生涯学習概論	2前		2						1
		社会福祉原論	3前		2						2
		ソーシャルワーク概論	2前		2						1
		スクール・ソーシャルワーク概論	2後		2						1
		保育学概論	1後		2						1
		コラボレーション論	3前		2						1
		グローバル・コラボレーション論	2後		2						4
		教育福祉ゼミナールA	3前		2						21
		教育福祉ゼミナールB	3後		2						21
		教育福祉ゼミナールC	3前		2						21
		教育福祉ゼミナールD	3後		2						21
		小計（14科目）	—	0	28	0	0	0	0	0	21

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
未来デザインコース（FDC）専門科目												
未来デザインコース（FDC）専門科目	未来デザイン科目 （未来デザインプログラム科目）	未来デザインインターンシップ	1後	2			2	1			7	
		未来デザイン計画演習	2前	2			2	1			7	
		未来デザインPBL演習	3通	2			2	1			7	
		未来デザイン卒業研究	4通	6			16	15	1	0	62	
		小計（4科目）	—	12	0	0	16	15	1	0	0	62
	未来デザイン科目 （未来デザインプログラム科目（知識情報システム学類基盤科目））	コンピュータシステム	2前		2							1
		情報ネットワーク基礎	2前		2							1
		データベース基礎	2前		2							1
		アルゴリズムとデータ構造	2前		2							1
		情報セキュリティ	2後		2							1
		データ科学	2後		2							1
		マルチメディア情報処理	2後		2							1
		オペレーティングシステム	2前		2							1
		知識情報システム学演習1	2前		2							5
		知識情報システム学演習2	2後		2							7
		知識情報システム学演習3	3前		2							25
		知識情報システム学演習4	3後		2							25
		小計（12科目）	—	0	24	0	0	0	0	0	0	25
	未来デザイン科目 （未来デザインプログラム科目（教育福祉学類基盤科目））	教育福祉学A	2前		2							2
		教育福祉学B	2後		2							2
		人間形成論	2後		2							1
		生涯学習概論	2前		2							2
		社会福祉原論	3前		2							2
		ソーシャルワーク概論	2前		2							1
		スクール・ソーシャルワーク概論	2後		2							1
		保育学概論	1後		2							1
		コラボレーション論	3前		2							2
		グローバル・コラボレーション論	2後		2							5
		教育福祉ゼミナールA	3前		2							22
		教育福祉ゼミナールB	3後		2							22
		教育福祉ゼミナールC	3前		2							22
		教育福祉ゼミナールD	3後		2							22
		小計（14科目）	—	0	28	0	0	0	0	0	0	24

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来デザインコース（FDC）専門科目	生産システム科学	2前		2							1
	生産管理システム	2後		2							1
	生産科学	3前		2							1
	マーケティング・サイエンス	3前		2							1
	情報技術と企業活動	2前		2							1
	データマイニング	3前		2							1
	ソーシャルモデリング	3前		2							1
	ビジネス・インプリメンテーション	2前		2							1
	ビジネス・アナリティクス	2後		2							2
	知識情報システムの開発・運営	3前		2							1
	情報システムの性能と信頼性	2後		2							1
	情報通信工学概論	3前		2							1
	分散システム	3前		2							1
	Webシステム構築基礎	2後		2							2
	空間情報システム	2後		2							2
	材料情報学	2後		2							1
	人工知能A	3前		2							1
	人工知能B	3前		2							1
	ヒューマンコンピュータインタラクション	3前		2							1
	教育情報学	2後		2							1
	教育・学習の理論と設計	3前		2							1
	機械学習	3後		2							1
	自然言語処理	3後		2							1
	情報検索システム論	2後		2							1
	パターン認識	3前		2							1
	AIプログラミング	2後		2							1
	ヘルスケアシステム	2前		2							2
	ヘルスケアサービス	2後		2							2
	情報と職業	2後		2							1
	小計（29科目）	—	0	58	0	0	0	0	0	0	29

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来デザインコース（FDC）専門科目	生産システム科学	2前		2							1
	生産管理システム	2後		2							1
	生産科学	3前		2							1
	マーケティング・サイエンス	3前		2							1
	情報技術と企業活動	2前		2							1
	データマイニング	3前		2							1
	ソーシャルモデリング	3前		2							1
	ビジネス・インプリメンテーション	2前		2							1
	ビジネス・アナリティクス	2後		2							2
	知識情報システムの開発・運営	3前		2							1
	情報システムの性能と信頼性	2後		2							1
	情報通信工学概論	3前		2							1
	分散システム	3前		2							1
	Webシステム構築基礎	2後		2							2
	空間情報システム	2後		2							2
	材料情報学	2後		2							1
	人工知能A	3前		2							1
	人工知能B	3前		2							1
	ヒューマンコンピュータインタラクション	3前		2							1
	教育情報学	2後		2							1
	教育・学習の理論と設計	3前		2							1
	機械学習	3後		2							1
	自然言語処理	3後		2							1
	情報検索システム論	2後		2							1
	パターン認識	3前		2							1
	AIプログラミング	2後		2							1
	ヘルスケアシステム	2前		2							2
	ヘルスケアサービス	2後		2							2
	情報と職業	2後		2							1
	小計（29科目）	—	0	58	0	0	0	0	0	0	29

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来デザインコース（FDC）専門科目	教育福祉の諸問題A（貧困と社会）	2前		2							1
	教育福祉の諸問題B（性与人権）	2前		2							1
	教育福祉の諸問題C（多文化共生）	2後		2							4
	家族社会学	2前		2							1
	教育社会学	1後		2							1
	教育福祉と健康	2前		2							1
	権利擁護論	3前		2							1
	障害者福祉論	2前		2							1
	社会福祉運営論	3後		2							1
	地域福祉論A	2前		2							1
	地域福祉論B	2後		2							1
	医療福祉論	2後		2							1
	高齢者福祉論	2前		2							1
	社会政策論	3前		2							1
	社会保障論	3後		2							1
	セルフヘルプ・グループ論	3後		2							1
	子ども家庭福祉論	2前		2							1
	児童養護論	3前		2							1
	乳児保育論	2後		2							1
	共生の思想と歴史	2後		2							1
	精神保健学	3前		2							1
	特別支援教育	3後		2							1
	教育の思想と歴史	1後		2							1
	教育の法と制度	1後		2							1
	グローバル・コミュニケーション演習	3前		2							1
	教育福祉国際インターンシップ	2後		2							6
	小計（26科目）	—	0	52	0	0	0	0	0	0	20
	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）	1後		2							1
	認知科学1（知覚・認知心理学）	2前		2							1
	認知科学2（学習・言語心理学）	2後		2							1
	認知情報処理	3前		2							1
	産業・組織心理学	2後		2							1
	社会・集団・家族心理学	2前		2							1
	環境心理学	2前		2							1
	文化心理学	4前		2							1
	発達心理学1	2前		2							1
	発達心理学2	2後		2							2
	臨床心理学概論	2前		2							1
	心の病理学（精神疾患とその治療）	2後		2							1
	心理療法論（心理学的支援法）	3前		2							1
	心理検査法（心理的アセスメント）	2後		2							1
	感情・人格心理学	2後		2							1
	神経・生理心理学	3前		2							1
	健康・医療心理学	3後		2							1
	福祉心理学	2後		2							1
	教育・学校心理学	3後		2							2
	司法・犯罪心理学	3後		2							1
	障害者と心理（障害者・障害児心理学）	3前		2							1
	心理学統計法1	2前		2							1
	心理学統計法2	2後		2							2
	心理学統計法3	3前		2							1
	心理学研究法	2前		2							4
	心理学実験	2後		2							7
	心理学特殊実験1	3前		2							7
	心理学特殊実験2	3後		2							8
	心理演習1	3前		2							12
	心理演習2	3後		2							12
	心理演習3	3前		2							2
	公認心理師の職責	3後		2							3
	関係行政論	3前		2							5
	心理実習	3通		2							3
	小計（34科目）	—	0	68	0	0	0	0	0	0	22

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来デザインコース（FDC）専門科目	教育福祉の諸問題A（貧困と社会）	2前		2							1
	教育福祉の諸問題B（性与人権）	2前		2							1
	教育福祉の諸問題C（多文化共生）	2後		2							4
	家族社会学	2前		2							1
	教育社会学	1後		2							1
	教育福祉と健康	2前		2							1
	権利擁護論	3前		2							1
	障害者福祉論	2前		2							1
	社会福祉運営論	3後		2							1
	地域福祉論A	2前		2							2
	地域福祉論B	2後		2							2
	医療福祉論	2後		2							1
	高齢者福祉論	2前		2							1
	社会政策論	3前		2							1
	社会保障論	3後		2							1
	セルフヘルプ・グループ論	3後		2							1
	子ども家庭福祉論	2前		2							1
	児童養護論	3前		2							1
	乳児保育論	2後		2							1
	共生の思想と歴史	2後		2							1
	精神保健学	3前		2							1
	特別支援教育	3後		2							1
	教育の思想と歴史	1後		2							1
	教育の法と制度	1後		2							1
	グローバル・コミュニケーション演習	3前		2							1
	教育福祉国際インターンシップ	2後		2							5
	小計（26科目）	—	0	52	0	0	0	0	0	0	22
	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）	1後		2							1
	認知科学1（知覚・認知心理学）	2前		2							1
	認知科学2（学習・言語心理学）	2後		2							1
	認知情報処理	3前		2							1
	産業・組織心理学	2後		2							1
	社会・集団・家族心理学	2前		2							1
	環境心理学	2前		2							1
	文化心理学	4前		2							1
	発達心理学1	2前		2							1
	発達心理学2	2後		2							2
	臨床心理学概論	2前		2							1
	心の病理学（精神疾患とその治療）	2後		2							1
	心理療法論（心理学的支援法）	3前		2							1
	心理検査法（心理的アセスメント）	2後		2							1
	感情・人格心理学	2後		2							1
	神経・生理心理学	3前		2							1
	健康・医療心理学	3後		2							1
	福祉心理学	2後		2							1
	教育・学校心理学	3後		2							2
	司法・犯罪心理学	3後		2							1
	障害者と心理（障害者・障害児心理学）	3前		2							1
	心理学統計法1	2前		2							1
	心理学統計法2	2後		2							2
	心理学統計法3	3前		2							1
	心理学研究法	2前		2							4
	心理学実験	2後		2							7
	心理学特殊実験1	3前		2							13
	心理学特殊実験2	3後		2							8
	心理演習1	3前		2							13
	心理演習2	3後		2							13
	心理演習3	3前		2							3
	公認心理師の職責	3後		2							3
	関係行政論	3前		2							5
	心理実習	3通		2							4
	小計（34科目）	—	0	68	0	0	0	0	0	0	22

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来 デザ イン コース （F D C） 専 門 科 目	情報科教育法1A	2前		2							1
	情報科教育法2A	2後		2							1
	ソーシャルワーク論A	2後		2							1
	ソーシャルワーク論B	3前		2							1
	ソーシャルワーク論C	3後		2							1
	刑事司法と福祉	3後		2							1
	心理学と心理的支援	1後		2							1
	社会福祉実習1	2通		2							4
	社会福祉実習指導1	2通		1							7
	社会福祉実習2	3通		4							8
	社会福祉実習指導2	3通		2							8
	保育者論	2後		2							1
	子どもの理解と援助	3前		1							1
	保育内容演習A（総論・環境）	2前		2							1
	保育内容演習B（表現・言葉）	2前		2							2
	保育内容演習C（健康・人間関係）	2後		2							1
	保育の表現技術A	2前		2							2
	保育の表現技術B	2後		2							2
	乳児保育演習	3後		1							1
	障がい児保育演習	3後		2							1
	養護内容演習	3後		1							1
	子どもの保健学	3前		2							1
	子どもの保健学演習	3前		1							1
	子どもの食と栄養	3後		2							1
	保育の計画と評価	4前		2							1
	保育実習1A	2後		2							1
	保育実習指導1A	2後		1							2
	保育実習1B	3通		2							1
	保育実習指導1B	3通		1							2
	保育実習2	3後		2							1
	保育実習指導2	3後		1							2
	スクール・ソーシャルワーク実習	4通		2							2
	スクール・ソーシャルワーク実習指導	4通		1							1
	スクール・ソーシャルワーク演習	3前		2							1
	教育課程論	2前		2							1
	教育方法論	2後		2							1
	教育相談論	2前		2							1
	介護概論	1後		2							2
	福祉科教育法1A	2後		2							1
	福祉科教育法2A	2後		2							1
	地域社会学	2後		2							1
	道徳指導論	2後		2							1
	社会教育入門	2後		2							1
	生涯学習支援	2前		2							5
	生涯スポーツ指導	2後		2							1
	社会教育計画	3前		2							1
	小計（46科目）	－	0	85	0	0	0	0	0	0	51
合計（282科目）		－	34	531	0	14	13	1	2	0	199
合計（597科目）		－	59	972	62	14	13	1	2	0	573

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来 デザ イン コース （F D C） 専 門 科 目	情報科教育法1A	2前		2							1
	情報科教育法2A	2後		2							1
	ソーシャルワーク論A	2後		2							1
	ソーシャルワーク論B	3前		2							1
	ソーシャルワーク論C	3後		2							1
	刑事司法と福祉	3後		2							1
	心理学と心理的支援	1後		2							1
	社会福祉実習1	2通		2							4
	社会福祉実習指導1	2通		1							7
	社会福祉実習2	3通		4							8
	社会福祉実習指導2	3通		2							8
	保育者論	2後		2							1
	子どもの理解と援助	3前		1							1
	保育内容演習A（総論・環境）	2前		2							1
	保育内容演習B（表現・言葉）	2前		2							2
	保育内容演習C（健康・人間関係）	2後		2							1
	保育の表現技術A	2前		2							2
	保育の表現技術B	2後		2							2
	乳児保育演習	3後		1							1
	障がい児保育演習	3後		2							1
	養護内容演習	3後		1							1
	子どもの保健学	3前		2							1
	子どもの保健学演習	3前		1							1
	子どもの食と栄養	3後		2							1
	保育の計画と評価	4前		2							1
	保育実習1A	2後		2							1
	保育実習指導1A	2後		1							2
	保育実習1B	3通		2							1
	保育実習指導1B	3通		1							2
	保育実習2	3後		2							1
	保育実習指導2	3後		1							2
	スクール・ソーシャルワーク実習	4通		2							2
	スクール・ソーシャルワーク実習指導	4通		1							1
	スクール・ソーシャルワーク演習	3前		2							1
	教育課程論	2前		2							1
	教育方法論	2後		2							1
	教育相談論	2前・後		2							2
	介護概論	1後		2							2
	福祉科教育法1A	2前		2							1
	福祉科教育法2A	2前		2							1
	地域社会学	2後		2							2
	道徳指導論	2前・後		2							1
	社会教育入門	2後		2							1
	生涯学習支援	2前		2							5
	生涯スポーツ指導	2後		2							1
	社会教育計画	3前		2							1
	小計（46科目）	－	0	85	0	0	0	0	0	0	54
合計（282科目）		－	34	531	0	16	15	1	0	0	196
合計（603科目）		－	59	980	66	16	15	1	0	0	555

卒業要件及び履修方法
環境社会システム学類 学士（環境社会システム学） 【卒業要件】 履修方法に示す1および2の履修により、131単位以上修得すること 【履修方法】 1. 基幹教育科目 (1)総合教養科目 10単位 (2)初年次教育科目 2単位 (3)情報リテラシー科目 2単位 (4)外国語科目 英語 6単位 初修外国語 2単位 (5)健康・スポーツ科学科目 3単位 上記(1)～(5)の科目区分より、指定した25単位を含む35単位以上修得すること (6)基礎教育科目 6単位以上（必修4単位を含む） ※高校での数学履修状況に応じて、数学リテラシー1もしくは、線形代数1のどちらかを選択必修 2. 専門科目 (1)学域共通科目 12単位以上（必修10単位を含む） (2)学類基盤科目 16単位以上（必修6単位を含む） (3)学類専門科目 32単位以上（必修6単位を含む） (4)PBLプログラム科目 2単位以上（選択2単位を含む） ※2単位を含むPBLプログラム（別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」参照）を1つ以上修了すること ※別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」に含まれる科目のうち 総合教養科目は総合教養科目として 基礎教育科目は基礎教育科目として 自学類基盤科目は自学類基盤科目として 自学類専門科目は自学類専門科目として 他学類専門科目はPBLプログラム科目として それぞれ卒業要件単位に算入する。 上記1(6)および2(1)～(4)の科目区分より、指定した68単位を含む96単位以上修得すること 【履修科目の上限単位数の設定】 年間50単位未満、前期25単位以下、後期25単位以下とする 未来デザインコース（FDC） 学士（学術） 【卒業要件】 履修方法に示す1および2の履修により、137単位以上修得すること 【履修方法】 1. 基幹教育科目 (1)総合教養科目 10単位 (2)初年次教育科目 2単位 (3)情報リテラシー科目 2単位 (4)外国語科目 英語 6単位 初修外国語 2単位 (5)健康・スポーツ科学科目 3単位 上記(1)～(5)の科目区分より、指定した29単位を含む35単位以上修得すること (6)基礎教育科目 6単位以上（必修4単位を含む） 2. 専門科目 (1)学域共通科目 16単位以上（必修10単位及び知識情報システム学概論（2単位）、教育福祉学概論（2単位）、心理学概論（2単位）を含む） (2)学類基盤科目 10単位以上 (3)学類専門科目 32単位以上（必修6単位を含む） (4)PBLプログラム科目 2単位以上（選択2単位を含む） ※2単位を含むPBLプログラム（別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」参照）を1つ以上修了すること ※別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」に含まれる科目のうち 総合教養科目は総合教養科目として 基礎教育科目は基礎教育科目として 自学類基盤科目は自学類基盤科目として 自学類専門科目は自学類専門科目として 他学類専門科目はPBLプログラム科目として それぞれ卒業要件単位に算入する。 (5)未来デザインプログラム科目 22単位以上（必修12単位を含む） ※未来デザインコースを修了する場合、環境社会システム学卒業研究は履修することができない。 上記1(6)および2(1)～(5)の科目区分より、指定した88単位を含む102単位以上修得すること 【履修科目の上限単位数の設定】 年間50単位未満、前期25単位以下、後期25単位以下とする

卒業要件及び履修方法
環境社会システム学類 学士（環境社会システム学） 【卒業要件】 履修方法に示す1および2の履修により、131単位以上修得すること 【履修方法】 1. 基幹教育科目 (1)総合教養科目 10単位 (2)初年次教育科目 2単位 (3)情報リテラシー科目 2単位 (4)外国語科目 英語 6単位 初修外国語 2単位 (5)健康・スポーツ科学科目 3単位 上記(1)～(5)の科目区分より、指定した25単位を含む35単位以上修得すること (6)基礎教育科目 6単位以上（必修4単位を含む） ※高校での数学履修状況に応じて、数学リテラシー1もしくは、線形代数1のどちらかを選択必修 2. 専門科目 (1)学域共通科目 12単位以上（必修10単位を含む） (2)学類基盤科目 16単位以上（必修6単位を含む） (3)学類専門科目 32単位以上（必修6単位を含む） (4)PBLプログラム科目 2単位以上（選択2単位を含む） ※2単位を含むPBLプログラム（別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」参照）を1つ以上修了すること ※別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」に含まれる科目のうち 総合教養科目は総合教養科目として 基礎教育科目は基礎教育科目として 自学類基盤科目は自学類基盤科目として 自学類専門科目は自学類専門科目として 他学類専門科目はPBLプログラム科目として それぞれ卒業要件単位に算入する。 上記1(6)および2(1)～(4)の科目区分より、指定した68単位を含む96単位以上修得すること 【履修科目の上限単位数の設定】 年間50単位未満、前期25単位以下、後期25単位以下とする 未来デザインコース（FDC） 学士（学術） 【卒業要件】 履修方法に示す1および2の履修により、137単位以上修得すること 【履修方法】 1. 基幹教育科目 (1)総合教養科目 10単位 (2)初年次教育科目 2単位 (3)情報リテラシー科目 2単位 (4)外国語科目 英語 6単位 初修外国語 2単位 (5)健康・スポーツ科学科目 3単位 上記(1)～(5)の科目区分より、指定した29単位を含む35単位以上修得すること (6)基礎教育科目 6単位以上（必修4単位を含む） 2. 専門科目 (1)学域共通科目 16単位以上（必修10単位及び知識情報システム学概論（2単位）、教育福祉学概論（2単位）、心理学概論（2単位）を含む） (2)学類基盤科目 10単位以上 (3)学類専門科目 32単位以上（必修6単位を含む） (4)PBLプログラム科目 2単位以上（選択2単位を含む） ※2単位を含むPBLプログラム（別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」参照）を1つ以上修了すること ※別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」に含まれる科目のうち 総合教養科目は総合教養科目として 基礎教育科目は基礎教育科目として 自学類基盤科目は自学類基盤科目として 自学類専門科目は自学類専門科目として 他学類専門科目はPBLプログラム科目として それぞれ卒業要件単位に算入する。 (5)未来デザインプログラム科目 22単位以上（必修12単位を含む） ※未来デザインコースを修了する場合、環境社会システム学卒業研究は履修することができない。 上記1(6)および2(1)～(5)の科目区分より、指定した88単位を含む102単位以上修得すること 【履修科目の上限単位数の設定】 年間50単位未満、前期25単位以下、後期25単位以下とする

【令和5年度】

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任・ 兼 担	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 幹 教 育 科 目	Ⅰ 基 礎 科 目	A 人 文 科 学	哲学入門	1前・後	2								1	
			倫理学入門	1前・後	2							1		
			日本史の見方	1前・後	2							1		
			東洋史の見方	1前・後	2							1		
			西洋史の見方	1前・後	2							1		
			考古学入門	1前・後	2							1		
			言語学入門	1前・後	2							1		
			日本語学入門	1前・後	2							1		
		小計（8科目）			—	0	16	0	0	0	0	0	8	
		B 社 会 科 学	日本国憲法	1前・後	2								1	
			心理学入門	1前・後	2								1	
			現代社会学入門	1前・後	2								2	
			現代経済学入門	1前・後	2								1	
			現代地理学入門	1前・後	2								1	
			文化人類学入門	1前・後	2								1	
			法学入門	1前・後	2								1	
			政治学入門	1前・後	2								1	
		ジェンダー論入門	1前・後	2								5		
		小計（9科目）			—	0	18	0	0	0	0	0	13	
		C 自 然 科 学	科学技術と社会	1前・後	2									1
			数学への招待	1前・後	2									1
			物理学への招待	1前・後	2									1
			化学への招待	1前・後	2									3
			生物学への招待	1前・後	2									2
			生物化学への招待	1前・後	2									2
			地球学への招待	1前・後	2									1
		小計（7科目）			—	0	14	0	0	0	0	0	11	
		D 大 阪 学	歴史のなかの大阪	1前・後	2									1
			関西文学論	1前・後	2									1
			地域文化学	1前・後	2									1
			大阪の自然	1前・後	2									2
			大阪の都市づくり	1前・後	2									3
			大阪落語への招待	1前・後	2									1
		小計（6科目）			—	0	12	0	0	0	0	0	8	
	Ⅱ 主 題 科 目	A S D G s	技術と環境	1前・後	2								2	
			人体を考える	1前・後	2								1	
			行動の生理科学	1前・後	2								1	
			国際開発の課題	1前・後	2								1	
			人間と居住環境	1前・後	2								11	
			環境と経済	1前・後	2								1	
			生命と進化	1前・後	2								3	
			現代の医療	1前・後	2								2	
			健康へのアプローチ	1前・後	2								13	
			生命と環境	1前・後	2								1	
			現代社会と健康	1前・後	2								1	
			自然環境学概論	1前・後	2								7	
			環境・生命・倫理	1前・後	2								4	
		小計（13科目）			—	0	26	0	0	0	0	0	48	
		B 人 間 ・ 都 市 ・ 社 会	哲学的人間学	1前・後	2									1
			哲学と社会	1前・後	2									1
			人間と宗教	1前・後	2									1
			共生社会と宗教	1前・後	2									1
			教育と文化	1前・後	2									1
			心理学・認知科学と人間	1前・後	2									1
			文化と社会の心理	1前・後	2									1
			認知のしくみ	1前・後	2									1
			行動と学習の心理	1前・後	2									1
			教育と発達の心理学	1前・後	2									1
			子どもの生活と健康教育	1前・後	2									1
			社会科学のフロンティア	1前・後	2									1
			思想と社会	1前・後	2									1
			経済学の歴史と思想	1前・後	2									2
			戦争と人間	1前・後	2									1
			世界のなかの日本経済	1前・後	2									1
			現代日本の政治と経済	1前・後	2									1
			現代の経営	1前・後	2									1
			国際社会と法	1前・後	2									1
			国際社会と政治	1前・後	2									1
			暮らしと政治	1前・後	2									1
			都市的世界の社会学	1前・後	2									1
			現代文化の社会学	1前・後	2									1
			メディアの社会学	1前・後	2									1
			現代の社会問題	1前・後	2									1
			家族と社会	1前・後	2									1
			医療と社会	1前・後	2									1
			スポーツと社会	1前・後	2									1
			測定・実験で学ぶ人間と社会	1前・後	2									1
			観光研究入門	1前・後	2									1
			都市の地理学	1前・後	2									1
			都市の社会史	1前・後	2									1
			都市生活と人間福祉	1前・後	2									4
			バリアフリー論	1前・後	2									1
			現代都市論	1前・後	2									2
			都市の経済とビジネス	1前・後	2									8
			都市・地域政策	1前・後	2									9
			国際地域経済と都市	1前・後	2									1
			都市研究の最前線	1前・後	2									2
			コミュニティ防災	1前・後	2									9
			現代の部落問題	1前・後	2									1
			メディアと人権	1前・後	2									1
			部落解放のフロンティア	1前・後	2									1
			部落差別の成立と展開	1前・後	2									1

【令和4年度】

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任			
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
基 幹 教 育 科 目	総 合 教 養 科 目	Ⅰ 基 礎 科 目	A 人 文 科 学	哲学入門	1前・後		2							1		
				倫理学入門	1前・後		2							1		
				日本史の見方	1前・後		2							1		
				東洋史の見方	1前・後		2							1		
				西洋史の見方	1前・後		2							1		
				考古学入門	1前・後		2							1		
				言語学入門	1前・後		2							1		
				日本語学入門	1前・後		2							1		
			小計（8科目）				—	0	16	0	0	0	0	0	8	
			B 社 会 科 学	日本国憲法	1前・後		2								1	
				心理学入門	1前・後		2								1	
				現代社会学入門	1前・後		2								1	
				現代経済学入門	1前・後		2								1	
				現代地理学入門	1前・後		2								1	
		文化人類学入門		1前・後		2								1		
		法学入門		1前・後		2								1		
		政治学入門		1前・後		2								1		
		ジェンダー論入門	1前・後		2								6			
		小計（9科目）				—	0	18	0	0	0	0	0	14		
		C 自 然 科 学	科学技術と社会	1前・後		2									1	
			数学への招待	1前・後		2									1	
			物理学への招待	1前・後		2									1	
			化学への招待	1前・後		2									3	
			生物学への招待	1前・後		2									2	
			生物化学への招待	1前・後		2									2	
			地球学への招待	1前・後		2									1	
		小計（7科目）				—	0	14	0	0	0	0	0	11		
		D 大 阪 学	歴史のなかの大阪	1前・後		2									1	
			関西文学論	1前・後		2									1	
			地域文化学	1前・後		2									1	
			大阪の自然	1前・後		2									2	
			大阪の都市づくり	1前・後		2									2	
			大阪落語への招待	1前・後		2									1	
		小計（6科目）				—	0	12	0	0	0	0	0	7		
		Ⅱ 主 題 科 目	A S D G s	技術と環境	1前・後		2									1
				人体を考える	1前・後		2									3
				行動の生理科学	1前・後		2									1
				国際開発の課題	1前・後		2									1
				人間と居住環境	1前・後		2									11
				環境と経済	1前・後		2									1
生命と進化	1前・後				2									3		
現代の医療	1前・後				2									2		
健康へのアプローチ	1前・後				2									13		
生命と環境	1前・後				2									1		
現代社会と健康	1前・後				2									1		
自然環境学概論	1前・後				2									7		
環境・生命・倫理	1前・後				2									4		
小計（13科目）				—	0	26	0	0	0	0	0	0	49			
B 人 間 ・ 都 市 ・ 社 会	哲学的人間学			1前・後		2										1
	哲学と社会			1前・後		2										1
	人間と宗教			1前・後		2										1
	共生社会と宗教			1前・後		2										1
	教育と文化			1前・後		2										1
	心理学・認知科学と人間			1前・後		2										1
	文化と社会の心理		1前・後		2										1	
	認知のしくみ		1前・後		2										1	
	行動と学習の心理		1前・後		2										1	
	教育と発達心理学		1前・後		2										1	
	子どもの生活と健康教育		1前・後		2										1	
	社会科学のフロンティア		1前・後		2										1	
	思想と社会		1前・後		2										1	
	経済学の歴史と思想		1前・後		2										2	
	戦争と人間		1前・後		2										1	
	世界のなかの日本経済		1前・後		2										1	
	現代日本の政治と経済		1前・後		2										1	
	現代の経営		1前・後		2										1	
	国際社会と法		1前・後		2										1	
	国際社会と政治		1前・後		2										1	
暮らしと政治	1前・後			2										1		
都市的世界の社会学	1前・後			2										1		
現代文化の社会学	1前・後			2										1		
メディアの社会学	1前・後			2										1		
現代の社会問題	1前・後			2										1		
家族と社会	1前・後			2										1		
医療と社会	1前・後		2										1			
スポーツと社会	1前・後		2										1			
測定・実験で学ぶ人間と社会	1前・後		2										1			
観光研究入門	1前・後		2										1			
都市の地理学	1前・後		2										1			
都市の社会史	1前・後		2										1			
都市生活と人間福祉	1前・後		2										6			
バリアフリー論	1前・後		2										1			
現代都市論	1前・後		2										2			
都市の経済とビジネス	1前・後		2										8			
都市・地域政策	1前・後		2										10			
国際地域経済と都市	1前・後		2										1			
都市研究の最前線	1前・後		2										2			
コミュニティ防災	1前・後		2										11			
現代の部落問題	1前・後		2										1			
メディアと人権	1前・後		2										1			
部落解放のフロンティア	1前・後		2										1			
部落差別の成立と展開	1前・後		2										1			

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 幹 教 育 科 目	総合 教 養 科 目	B 人 間・ 都 市・ 社 会	グローバル化と人権	1前・後	2							1
			障がい者と人権A	1前・後	2							1
			障がい者と人権B	1前・後	2							1
			企業と人権	1前・後	2							1
			地球市民と人権	1前・後	2							1
			労働と人権	1前・後	2							12
			平和と人権	1前・後	2							8
			ジェンダーと現代社会	1前・後	2							2
			クィアスタディーズ	1前・後	2							1
			エスニック・スタディ	1前・後	2							1
			コリアン・スタディーズ	1前・後	2							1
			小計 (55科目)	—	0	110	0	0	0	0	0	93
	C 歴 史 と 文 化	歴史を学ぶとは	1前・後		2							2
		日本社会の歴史	1前・後		2							1
		東洋社会の歴史	1前・後		2							1
		西洋社会の歴史	1前・後		2							1
		現代の歴史	1前・後		2							1
		ことばの歴史	1前・後		2							1
		英語学	1前・後		2							1
		世界のなかの英語	1前・後		2							1
		ヨーロッパの多言語社会	1前・後		2							1
		日本の古典文学	1前・後		2							1
		物語文学を読む	1前・後		2							1
		世界の文学	1前・後		2							4
		中国古典文学への招待	1前・後		2							1
		ヨーロッパの文学	1前・後		2							1
		文学と社会	1前・後		2							1
		日本の近代文学	1前・後		2							1
		近代社会と読書	1前・後		2							1
		芸術の世界	1前・後		2							1
		東洋美術史	1前・後		2							1
		美術史	1前・後		2							1
		音楽の諸相	1前・後		2							1
		音楽と生活	1前・後		2							1
		造形と生活	1前・後		2							1
		アーツマネジメント	1前・後		2							1
		音楽と対話	1前・後		2							1
		コミュニケーションの諸相と文化	1前・後		2							1
		アイデンティティと文化	1前・後		2							1
		国際文化の視点	1前・後		2							1
		環境と文化	1前・後		2							1
		観光と文化	1前・後		2							1
		中国の思想	1前・後		2							1
		ヨーロッパ文化史	1前・後		2							1
		ヨーロッパ事情	1前・後		2							1
		新西洋事情	1前・後		2							1
		西洋社会文化史	1前・後		2							1
		西洋宗教文化史	1前・後		2							1
		西洋教育文化史	1前・後		2							1
		フィランソロビー学入門	1前・後		2							1
		比較文化社会論	1前・後		2							1
		日本事情A	1前・後		2							1
		日本事情B	1前・後		2							1
		英語で学ぶ日本事情	1前・後		2							1
		小計 (42科目)	—	0	84	0	0	0	0	0	0	36
	D 自 然 と 情 報	社会に生きる科学	1前・後		2							1
		現代科学と人間	1前・後		2							3
		心と脳	1前・後		2							1
		行動と視機能	1前・後		2							1
		データリテラシー	1前・後		2							1
		植物の科学	1前・後		2							3
		地図と地理情報	1前・後		2							1
		情報と社会	1前・後		2							6
		社会におけるネットワーク	1前・後		2							1
		社会と統計	1前・後		2							1
		植物と人間	1前・後		2							3
		コンピューターグラフィックス概論	1前・後		2							1
		工学研究の最先端	1前・後		2							2
		創薬科学のすすめ	1前・後		2							10
		植物園で学ぶ植物の多様性	1前・後		2							3
		小計 (15科目)	—	0	30	0	0	0	0	0	0	35
	Ⅲ キ ャ リ ア デ ザ イ ン 科 目	現代社会におけるキャリアデザイン	1前・後		2							1
		キャリアと実践	1前・後		2							1
		国際活動とキャリア	1前・後		2							1
		大学でどう学ぶか	1前・後		2							1
		現代社会と大学	1前・後		2							1
		市民・学生のための大学評価論	1前・後		2							1
		世界の大学と学生	1前・後		2							1
		グローバル経営論	1前・後		2							2
		社会と会計	1前・後		2							1
		国際ビジネス	1前・後		2							1
		学びのデータから見る大学	1前・後		2							1
		プレゼンテーション技法	1前・後		2							1
		研究者の世界へ	1後			2						2
		小計 (13科目)	—	0	24	2	0	0	0	0	0	10
	Ⅳ 数 理・ デ ー タ サイ エ ン ス 科 目	数理・データサイエンス基礎A	1前・後		2							1
		数理・データサイエンス基礎B	1前・後		2							1
		数理・データサイエンス基礎C	1前・後		2							1
		数理・データサイエンス	1前・後		2							1
		小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	4
	初 年 次 教 育 科 目	初年次ゼミナール	1前	2								8
		小計 (1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	情 報 リ テ ラ シー 科 目	情報リテラシー	1前	2								1
		小計 (1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	1
外 国 語 科 目	Ⅰ 英 語 科 目	University English 1A	1前	1								8
		University English 1B	1前	1								9
		University English 2A	1後	1								14
		University English 2B	1後	1								12
		University English 3A	2前・後	1								15
		University English 3B	2前・後	1								11
		Media English	1前		1							1
		Writing A	1後		1							1
		Writing B	3前		1							1
		TOEFL A	1前		1							1

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 幹 教 育 科 目	Ⅱ 総合教養科目	B 人間・都市・社会	グローバル化と人権	1前・後		2								1
			障がい者と人権A	1前・後		2								1
			障がい者と人権B	1前・後		2								1
			企業と人権	1前・後		2								1
			地球市民と人権	1前・後		2								1
			労働と人権	1前・後		2								12
			平和と人権	1前・後		2								8
			ジェンダーと現代社会	1前・後		2								2
			クィアスタディーズ	1前・後		2								1
			エスニック・スタディ	1前・後		2								1
			小計（54科目）	—	0	108	0	0	0	0	0	0	0	98
	Ⅲ 歴史と文化	歴史を学ぶとは	1前・後		2									2
		日本社会の歴史	1前・後		2									1
		東洋社会の歴史	1前・後		2									1
		西洋社会の歴史	1前・後		2									1
		現代の歴史	1前・後		2									1
		ことばの歴史	1前・後		2									1
		英語学	1前・後		2									1
		世界のなかの英語	1前・後		2									1
		ヨーロッパの多言語社会	1前・後		2									1
		日本の古典文学	1前・後		2									1
		物語文学を読む	1前・後		2									1
		世界の文学	1前・後		2									3
		中国古典文学への招待	1前・後		2									1
		ヨーロッパの文学	1前・後		2									1
		文学と社会	1前・後		2									1
		日本の近代文学	1前・後		2									1
		近代社会と読書	1前・後		2									1
		芸術の世界	1前・後		2									1
		東洋美術史	1前・後		2									1
		美術史	1前・後		2									3
		音楽の諸相	1前・後		2									1
		音楽と生活	1前・後		2									1
		造形と生活	1前・後		2									1
		アーツマネジメント	1前・後		2									1
		音楽と対話	1前・後		2									1
		コミュニケーションの諸相と文化	1前・後		2									1
		アイデンティティと文化	1前・後		2									1
		国際文化の視点	1前・後		2									1
		環境と文化	1前・後		2									1
		観光と文化	1前・後		2									1
		中国の思想	1前・後		2									1
		ヨーロッパ文化史	1前・後		2									1
		ヨーロッパ事情	1前・後		2									1
		新西洋事情	1前・後		2									1
		西洋社会文化史	1前・後		2									1
		西洋宗教文化史	1前・後		2									1
		西洋教育文化史	1前・後		2									1
		フィランソロジー入門	1前・後		2									1
		比較文化社会論	1前・後		2									1
		日本事情A	1前・後		2									1
		日本事情B	1前・後		2									1
		英語で学ぶ日本事情	1前・後		2									1
		小計（42科目）	—	0	84	0	0	0	0	0	0	0	0	37
Ⅳ 自然と情報	社会に生きる科学	1前・後		2									1	
	現代科学と人間	1前・後		2									4	
	心と脳	1前・後		2									1	
	行動と視機能	1前・後		2									1	
	データリテラシー	1前・後		2									1	
	植物の科学	1前・後		2									3	
	地図と地理情報	1前・後		2									1	
	情報と社会	1前・後		2									6	
	社会におけるネットワーク	1前・後		2									1	
	社会と統計	1前・後		2									1	
	植物と人間	1前・後		2									3	
	コンピュータグラフィックス概論	1前・後		2									1	
	工学研究の最先端	1前・後		2									3	
	創薬科学のすすめ	1前・後		2									10	
	植物園で学ぶ植物の多様性	1前・後		2									3	
小計（15科目）	—	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	37		
Ⅴ キャリアデザイン科目	現代社会におけるキャリアデザイン	1前・後		2									1	
	キャリアと実践	1前・後		2									1	
	国際活動とキャリア	1前・後		2									1	
	大学でどう学ぶか	1前・後		2									1	
	現代社会と大学	1前・後		2									1	
	市民・学生のための大学評価論	1前・後		2									1	
	世界の大学と学生	1前・後		2									1	
	グローバル経営論	1前・後		2									2	
	社会と会計	1前・後		2									1	
	国際ビジネス	1前・後		2									1	
	学びのデータから見る大学	1前・後		2									1	
	プレゼンテーション技法	1前・後		2									2	
	研究者の世界へ	1後		2									2	
	小計（13科目）	—	0	24	2	0	0	0	0	0	0	0	10	
Ⅵ 数理・データサイエンス科目	数理・データサイエンス基礎A	1前・後		2									1	
	数理・データサイエンス基礎B	1前・後		2									1	
	数理・データサイエンス基礎C	1前・後		2									1	
	小計（3科目）	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
Ⅶ 初年次教育科目	初年次ゼミナール	1前	2										9	
	小計（1科目）	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
Ⅷ 情報リテラシー科目	情報リテラシー	1前	2										1	
	小計（1科目）	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
Ⅸ 外国語科目	I 英語科目	University English 1A	1前	1									6	
		University English 1B	1前	1									7	
		University English 2A	1後	1									12	
		University English 2B	1後	1									8	
		University English 3A	2前・後	1									16	
		University English 3B	2前・後	1									12	
		Media English	1前	1									1	
		Writing A	1後	1									1	
		Writing B	3前	1									1	
		TOEFL A	1前	1									1	

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
					必修 修	選択 択	自由 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 幹 教 育 科 目	外国語科目	Ⅱ 初修外国語科目	朝鮮語入門1	1前		1								4
			朝鮮語入門2	1後		1								4
			朝鮮語入門A（基礎）	1前		1								3
			朝鮮語入門B（会話）	1前		1								3
			朝鮮語初級A（基礎）	1後		1								3
			朝鮮語初級B（会話）	1後		1								3
			朝鮮語特修A	2前		1								1
			朝鮮語特修B	2後		1								1
			朝鮮語特修C	2前		1								1
			朝鮮語特修D	2後		1								1
			韓国語海外語学研修A	1前・後		1								1
			韓国語海外語学研修B	2前・後		1								1
			小計（12科目）	－	0	12	0	0	0	0	0	0	0	7
	特例科目	日本語1A	1前・後		1								1	
		日本語1B	1前・後		1								1	
		日本語2A	1前・後		1								1	
		日本語2B	1前・後		1								1	
		日本語3A	1前・後		1								1	
		日本語3B	1前・後		1								1	
	小計（6科目）	－	0	6	0	0	0	0	0	0	0	1		
	健康・ スポーツ 科学 科目	健康・スポーツ科学概論	1前・後	2									4	
		健康・スポーツ科学実習	1前・後	1									6	
		小計（2科目）	－	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	基 礎 教 育 科 目	数 学	数学リテラシー1	1前・後		2							2	
			数学リテラシー2	1前・後		2							2	
			微積分1A	2前・後	2								1	
			微積分2	2前・後		2							1	
			線形代数1	1前・後	2								3	
			線形代数2A	1前・後	2								1	
			統計学基礎1	1前・後	2								4	
			統計学基礎2	1前・後	2								2	
			小計（8科目）	－	10	6	0	0	0	0	0	0	9	
		生 物 学	生物学B	1前・後		2							1	
小計（1科目）			－	0	2	0	0	0	0	0	0	1		
情 報		プログラミング入門A	1前・後	2								1		
		プログラミング入門B	1前・後		2							1		
		小計（2科目）	－	2	2	0	0	0	0	0	0	2		
教 育 の 基 礎 的 理 解 に 関 す る 科 目	教育の思想と歴史	1前・後			2						2			
	教育基礎論	1前・後			2						1			
	人間形成論	2前・後			2						1			
	教育の基礎1（思想と歴史）	1前・後			1						1			
	教職概論	1前・後			2						1			
	教育と社会	1前・後			2						1			
	教育の法と制度	1前・後			2						1			
	教育制度論	1前・後			2						1			
	教育社会学	1前・後			2						1			
	教育の基礎2（社会と制度）	1前・後			1						1			
	発達・学習論	1前・後			2						1			
	特別支援教育論	2前・後			2						1			
	教育課程論	2前・後			2						1			
	小計（13科目）	－	0	0	24	0	0	0	0	0	14			
る 法 道 徳 、 生 徒 合 徒 合 指導、 な 学 習 の 時間 等 に 関 指 導	道徳指導論	2前・後			2						1			
	道徳及び特別活動の指導法	1前・後			2						1			
	総合的な探究の指導論	2前・後			2						1			
	総合的な学習の時間（概論）	1前・後			1						1			
	特別活動論	2前・後			2						1			
	教育方法論	2前・後			2						1			
	生徒・進路指導論	2前・後			2						1			
	生徒指導論	2前・後			2						1			
	教育相談論	2前・後			2						1			
	ICT活用の理論と実践	2前・後			2						2			
	小計（10科目）	－	0	0	19	0	0	0	0	0	10			
教 育 実 践 に 関 す る 科 目	教育実習事前事後指導（中・高）	4前・後			1						1			
	教育実習（2単位）	4前・後			2						2			
	教育実習（4単位）	4前・後			4						1			
	教職実践演習（中・高）	4後			2						1			
	教職ボランティア実習A	1前・後			2						1			
	教職ボランティア実習B	1前・後			2						1			
	教職ボランティア実習C	1前・後			2						1			
	教職ボランティア実習D	1前・後			2						1			
	教職ボランティア実習E1	1前・後			2						1			
	教職ボランティア実習E2	1前・後			2						1			
	小計（10科目）	－	0	0	21	0	0	0	0	0	3			
小計（319科目）				－	25	445	66	0	0	0	0	0	362	

科目区分			授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹教育科目	外国語科目	朝鮮語	朝鮮語入門1	1前		1							3	
			朝鮮語入門2	1後		1							2	
			朝鮮語入門A（基礎）	1前		1							2	
			朝鮮語入門B（会話）	1前		1							3	
			朝鮮語初級A（基礎）	1後		1							2	
			朝鮮語初級B（会話）	1後		1							3	
			朝鮮語特修A	2前		1							1	
			朝鮮語特修B	2後		1							1	
			朝鮮語特修C	2前		1							1	
			朝鮮語特修D	2後		1							1	
			韓国語海外語学研修A	1前・後		1							1	
			韓国語海外語学研修B	2前・後		1							1	
			小計（12科目）			－	0	12	0	0	0	0	0	0
	特例科目	日本語1A	1前・後		1								1	
		日本語1B	1前・後		1								1	
		日本語2A	1前・後		1								1	
		日本語2B	1前・後		1								1	
		日本語3A	1前・後		1								1	
		日本語3B	1前・後		1								1	
	小計（6科目）			－	0	6	0	0	0	0	0	0	1	
	健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学概論	1前・後	2									4	
		健康・スポーツ科学実習	1前・後	1									7	
		小計（2科目）	－	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
	基礎教育科目	数学	数学リテラシー1	1前・後		2								2
			数学リテラシー2	1前・後		2								2
			微積分1A	2前・後	2									1
			微積分2	2前・後		2								1
			線形代数1	1前・後	2									2
			線形代数2A	1前・後	2									1
			統計学基礎1	1前・後	2									2
			統計学基礎2	1前・後	2									2
			小計（8科目）	－	10	6	0	0	0	0	0	0	0	10
		生物学	生物学B	1前・後		2								1
			小計（1科目）	－	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
		情報	プログラミング入門A	1前・後	2									1
			プログラミング入門B	1前・後		2								1
			小計（2科目）	－	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の思想と歴史	1前・後			2							1	
		教育基礎論	1前・後			2							1	
		人間形成論	2前・後			2							1	
		教育の基礎1（思想と歴史）	1前・後			1							1	
		教職概論	1前・後			2							1	
		教育と社会	1前・後			2							1	
		教育の法と制度	1前・後			2							1	
		教育制度論	1前・後			2							1	
		教育社会学	1前・後			2							1	
		教育の基礎2（社会と制度）	1前・後			1							1	
		発達・学習論	1前・後			2							1	
		特別支援教育論	2前・後			2							1	
		教育課程論	2前・後			2							1	
		小計（13科目）	－	0	0	24	0	0	0	0	0	0	13	
	る法道 科及徳 目び、 生徒合 徒合 指導、 学習の 教育の 時間等 に関する指導	道徳指導論	2前・後			2							1	
道徳及び特別活動の指導法		1前・後			2							1		
総合的な探究の指導論		2前・後			2							1		
総合的な学習の時間（概論）		1前・後			1							1		
特別活動論		2前・後			2							1		
教育方法論		2前・後			2							1		
生徒・進路指導論		2前・後			2							1		
生徒指導論		2前・後			2							1		
教育相談論		2前・後			2							1		
小計（9科目）		－	0	0	17	0	0	0	0	0	0	8		
教育実践に関する科目		教育実習事前事後指導（中・高）	4前・後			1							1	
		教育実習（2単位）	4前・後			2							1	
		教育実習（4単位）	4前・後										1	
		教職実践演習（中・高）	4後			2							1	
	教職ボランティア実習A	1前・後			2							1		
	教職ボランティア実習B	1前・後			2							1		
	教職ボランティア実習C	1前・後			2							1		
	教職ボランティア実習D	1前・後			2							1		
	教職ボランティア実習E1	1前・後			2							1		
	教職ボランティア実習E2	1前・後			2							1		
小計（10科目）	－	0	0	21	0	0	0	0	0	0	3			
小計（316科目）			－	25	441	64	0	0	0	0	0	374		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	学 域 共 通 科 目	情報システムとサステイナビリティ	1前	2							4
		自然システムとサステイナビリティ	1前	2		3					
		社会システムとサステイナビリティ	1前	2			1				4
		人間システムとサステイナビリティ	1前	2			1				3
		知識情報システム学概論	1後		2						3
		環境社会システム学概論	1後	2		3	1				
		教育福祉学概論	1後		2						5
		心理学概論	1後		2						1
		インターンシップ	2通		2						1
		海外インターンシップ	2通		2	1					6
		小計（10科目）	—	10	10	0	8	3	0	0	21
	学 類 基 盤 科 目	環境生物学	2前		2		1				
		公衆衛生学	2前		2			1			
		地理学基礎	2前		2		1				
		経済学基礎	2前		2			1			
		公共政策学基礎	2前		2			1			
		経済活動と法	2前		2			1			
		行政活動と法	2前		2						1
		環境哲学・倫理学	2前		2			1			
		社会学基礎	2前		2	1	1				1
		環境社会システム学卒業研究	4通	6		15	15				5
		小計（10科目）	—	6	18	0	15	15	0	0	7

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	学 域 共 通 科 目	情報システムとサステイナビリティ	1前	2							4
		自然システムとサステイナビリティ	1前	2			3				
		社会システムとサステイナビリティ	1前	2			1	1			3
		人間システムとサステイナビリティ	1前	2				1			3
		知識情報システム学概論	1後		2						3
		環境社会システム学概論	1後	2			3	1			
		教育福祉学概論	1後		2						5
		心理学概論	1後		2						1
		インターンシップ	2通		2				1		
		海外インターンシップ	2通		2		2				5
		小計（10科目）	—	10	10	0	8	3	0	0	20
	学 類 基 盤 科 目	環境生物学	2前		2		1				
		公衆衛生学	2前		2			1			
		地理学基礎	2前		2		1				
		経済学基礎	2前		2			1			
		公共政策学基礎	2前		2			1			
		経済活動と法	2前		2			1			
		行政活動と法	2前		2						1
		環境哲学・倫理学	2前		2			1			
		社会学基礎	2前		2			2			1
		環境社会システム学卒業研究	4通	6			14	14	0	2	5
		小計（10科目）	—	6	18	0	14	14	0	2	7

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	学 類 専 門 科 目	地域実践演習	1後	2		2	1				1
		地球環境の化学	2前	2		1					
		地域・都市環境学	2後	2			1				
		環境デザイン通史	2後	2			1				
		資源循環論	2前	2							1
		海洋環境生態学	2後	2		1					
		海城環境再生学	3前	2			1				
		陸域環境生態学	2後	2		1					
		陸域環境再生学	3前	2		1	1				
		食品安全論	3前	2			1				
		食糧と環境	3後	2		1					
		景観計画学	3前	2			1				
		防災・安全科学	3前	2		1					
		環境計測学	3後	2		1					
		再生可能エネルギー学	3後	2		1					
		環境再生の化学	2後	2		1					
		環境アセスメント学	3後	2		5	2				
		ミクロ経済学	2後	2			1				
		マクロ経済学	2後	2			1				
		公共経済学	2後	2			1				
		環境経済・経営学	3前	2			1				
		企業の経済学	3前	2			1				
		国際法と共生社会	2後	2							1
		環境法1	3前	2			1				
		環境法2	3後	2							1
		環境政策学	2後	2		1					
		国際政治学	3前	2							1
		都市と経済の地理学	2前	2		1					
		地域研究	2後	2		1					
		環境社会学	2後	2		1					
		文化の社会学	2後	2							1
		共生社会とアイデンティティ	2前	2			1				
		現代の社会問題と社会運動	2後	2		1	1				
		文化と景観	2後	2		1					
		異文化の理解	2前	2							1
		文化と共生	2後	2							1
		現代社会の倫理学	2前	2			1				
		生命科学技術と社会	2後	2			1				
		環境哲学と現代社会	2後	2			1				
		日本の歴史環境	2前	2		1					
		個人創造の思想史	2後	2		1					
		社会文化史	2前	2		1					
		社会政治思想	2後	2		1					
		地域社会の言語環境	2前	2							1
		言語使用の多様性研究	2後	2							1
		ディスコースと社会	2前	2		1					
		言語表現と世界認識	2前	2			1				
		認識とレトリック	2後	2							
		文化表象と社会批評	2後	2							1
		グローバル社会の文化表象	2前	2							1
		言語の社会システム	2後	2							1
		学校教育史	3前	2							1
		ジェンダーと社会	2後	2							1
		社会調査論	2後	2		1	1				
		環境社会システム学演習1	2後	2		15	15				5
		環境社会システム学演習2	3前	2		15	15				5
		環境社会システム学演習3	3後	2		15	15				5
		日本史概説	2前	2							1
		外国史	2前	2							2
		政治学	2後	2							1
		倫理学	2後	2							1
		自然地理学	2後	2							1
		日本近代の社会の歴史	2後	2							1
		東洋の歴史環境	2前	2							1
		西洋の歴史と文化	2後	2							1
		比較地域論	2後	2							1
		国際教育と開発	2後	2							1
		質的調査法	3前	2		1	1				2
		資料分析法	3後	2		1	1				2
		調査設計法	3前	2		1	1				2
		社会科教育法（地歴分野）1A	2前	2							1
		社会科教育法（地歴分野）2A	2前	2							1
		社会科教育法（公民分野）1A	2後	2							1
		社会科教育法（公民分野）2A	2後	2							1
		小計（74科目）	—	6	142	0	15	15	0	0	19

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	学 類 専 門 科 目	地域実践演習	1後	2		2	1				1
		地球環境の化学	2前	2			1				
		地域・都市環境学	2後	2					1		
		環境デザイン通史	2後	2			1				
		資源循環論	2前	2							1
		海洋環境生態学	2後	2		1					
		海城環境再生学	3前	2			1				
		陸域環境生態学	2後	2		1					
		陸域環境再生学	3前	2		1	1				
		食品安全論	3前	2			1				
		食糧と環境	3後	2		1					
		景観計画学	3前	2					1		
		防災・安全科学	3前	2		1					
		環境計測学	3後	2		1					
		再生可能エネルギー学	3後	2		1					
		環境再生の化学	2後	2		1					
		環境アセスメント学	3後	2		5	2				
		ミクロ経済学	2後	2			1				
		マクロ経済学	2後	2			1				
		公共経済学	2後	2			1				
		環境経済・経営学	3前	2			1				
		企業の経済学	3前	2			1				
		国際法と共生社会	2後	2							1
		環境法1	3前	2			1				
		環境法2	3後	2							1
		環境政策学	2後	2		1					
		国際政治学	3前	2							1
		都市と経済の地理学	2前	2		1					
		地域研究	2後	2		1					
		環境社会学	2後	2			1				
		文化の社会学	2後	2							1
		共生社会とアイデンティティ	2前	2			1				
		現代の社会問題と社会運動	2後	2			1				
		文化と景観	2後	2		1					
		異文化の理解	2前	2							1
		文化と共生	2後	2							1
		現代社会の倫理学	2前	2			1				
		生命科学技術と社会	2後	2			1				
		環境哲学と現代社会	2後	2			1				
		日本の歴史環境	2前	2		1					
		個人創造の思想史	2後	2		1					
		社会文化史	2前	2		1					
		社会政治思想	2後	2		1					
		地域社会の言語環境	2前	2			1				
		言語使用の多様性研究	2後	2			1				
		ディスコースと社会	2前	2		1					
		言語表現と世界認識	2前	2			1				
		認識とレトリック	2後	2							
		文化表象と社会批評	2後	2							1
		グローバル社会の文化表象	2前	2							1
		言語の社会システム	2後	2							1
		学校教育史	3前	2							1
		ジェンダーと社会	2後	2							1
		社会調査論	2後	2			2				
		環境社会システム学演習1	2後	2		14	14		2		5
		環境社会システム学演習2	3前	2		14	14		2		5
		環境社会システム学演習3	3後	2		14	14		2		5
		日本史概説	2前	2							1
		外国史	2前	2							2
		政治学	2後	2							1
		倫理学	2前	2							1
		自然地理学	2後	2							1
		日本近代の社会の歴史	2後	2							1
		東洋の歴史環境	2前	2							1
		西洋の歴史と文化	2後	2							1
		比較地域論	2後	2							1
		国際教育と開発	2後	2							1
		質的調査法	3前	2			2				2
		資料分析法	3後	2			2				2
		調査設計法	3前	2			2				2
		社会科教育法（地歴分野）1A	2前	2							1
		社会科教育法（地歴分野）2A	2前	2							1
		社会科教育法（公民分野）1A	2後	2							1
		社会科教育法（公民分野）2A	2後	2							1
		小計（74科目）	—	6	142	0	14	14	0	2	19

P B L プ ロ グ ラ ム 科 目	PBL演習（ビジネスブレディクション）	3前		2							2
	PBL演習（生産システム科学）	3後		2							3
	PBL演習（ヘルスケア科学）	3前		2							2
	PBL演習（サービスデザイン）	3前		2							1
	PBL演習（教育情報システムデザイン）	3前		2							3
	PBL演習（情報ネットワークシステム）	3前		2							9
	PBL演習（環境学）	3通		2		2					2
	PBL演習（地域再生）	3通		2		3	1				
	PBL演習（環境再生）	3通		2		3	2				
	PBL演習（企業と持続可能な社会）	3通		2			4				
	PBL演習（ESD-A）	3前		2							1
	PBL演習（ESD-B）	3前		2							1
	PBL演習（社会調査）	3通		2		1	1				2
	PBL演習（都市社会）	3前		2		2					
	PBL演習（文化表象）	3前		2		1	1				2
	PBL演習（共生の思想）	3前		2		2	2				
	PBL演習（ジェンダー論）	3前		2							4
	PBL演習（コラボレーション）	3通		2							3
	PBL演習（地域および都市における排除・共生・参加）	3通		2							4
	PBL演習（生涯学習と設計）	3通		2							4
	PBL演習（生活環境と情報）	3後		2							1
	PBL演習（生きることと遊び）	3前		2							5
	PBL演習（教育保障）	3通		2							2
	小計（23科目）	—	0	46	0	13	11	0	0	0	49

P B L プ ロ グ ラ ム 科 目	PBL演習（ビジネスブレディクション）	3前		2							2
	PBL演習（生産システム科学）	3後		2							3
	PBL演習（ヘルスケア科学）	3前		2							2
	PBL演習（サービスデザイン）	3前		2							1
	PBL演習（教育情報システムデザイン）	3前		2							3
	PBL演習（情報ネットワークシステム）	3前		2							9
	PBL演習（環境学）	3通		2		2					2
	PBL演習（地域再生）	3通		2		2	1				
	PBL演習（環境再生）	3通		2		3	2				
	PBL演習（企業と持続可能な社会）	3通		2			4				
	PBL演習（ESD-A）	3前		2							1
	PBL演習（ESD-B）	3前		2							1
	PBL演習（社会調査）	3通		2			2				2
	PBL演習（都市社会）	3前		2		2					
	PBL演習（文化表象）	3前		2		2	1				2
	PBL演習（共生の思想）	3前		2		2	2				
	PBL演習（ジェンダー論）	3前		2							4
	PBL演習（コラボレーション）	3通		2							3
	PBL演習（地域および都市における排除・共生・参加）	3通		2							4
	PBL演習（生涯学習と設計）	3通		2							4
	PBL演習（生活環境と情報）	3後		2							1
	PBL演習（生きることと遊び）	3前		2							5
	PBL演習（教育保障）	3通		2							2
	小計（23科目）	—	0	46	0	12	12	0	0	0	49

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来デザインコース（FDC）専門科目											
未来デザインコース（FDC）専門科目	未来デザイン科目 （未来デザイン科目）	未来デザインインターンシップ	1後	2			2	1			7
		未来デザイン計画演習	2前	2			2	1			7
		未来デザインPBL演習	3通	2			2	1			7
		未来デザイン卒業研究	4通	6			15	15		0	64
		小計（4科目）	—	12	0	0	15	15	0	0	64
	未来デザイン科目 （未来デザイン科目）	コンピュータシステム	2前		2						1
		情報ネットワーク基礎	2前		2						1
		データベース基礎	2前		2						1
		アルゴリズムとデータ構造	2前		2						1
		情報セキュリティ	2後		2						1
		データ科学	2後		2						1
		マルチメディア情報処理	2後		2						1
		オペレーティングシステム	2前		2						1
		知識情報システム学演習1	2前		2						5
		知識情報システム学演習2	2後		2						7
		知識情報システム学演習3	3前		2						25
		知識情報システム学演習4	3後		2						25
	小計（12科目）	—	0	24	0	0	0	0	0	0	25
	未来デザイン科目 （未来デザイン科目）	教育福祉学A	2前		2						2
		教育福祉学B	2後		2						2
		人間形成論	2後		2						1
		生涯学習概論	2前		2						2
		社会福祉原論	3前		2						2
		ソーシャルワーク概論	2前		2						1
		スクール・ソーシャルワーク概論	2後		2						1
		保育学概論	1後		2						1
		コラボレーション論	3前		2						1
		グローバル・コラボレーション論	2後		2						5
		教育福祉ゼミナールA	3前		2						21
		教育福祉ゼミナールB	3後		2						21
		教育福祉ゼミナールC	3前		2						21
		教育福祉ゼミナールD	3後		2						21
	小計（14科目）	—	0	28	0	0	0	0	0	0	22

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
未来デザインコース（FDC）専門科目												
未来デザインコース（FDC）専門科目	未来デザイン科目	未来デザインインターンシップ	1後	2			3	1				7
		未来デザイン計画演習	2前	2			3	1				7
		未来デザインPBL演習	3通	2			3	1				7
		未来デザイン卒業研究	4通	6			14	14		2		63
		小計（4科目）	—	12	0	0	14	14	0	2	0	63
	未来デザインプログラム科目（知識情報システム学類基盤科目）	コンピュータシステム	2前		2							1
		情報ネットワーク基礎	2前		2							1
		データベース基礎	2前		2							1
		アルゴリズムとデータ構造	2前		2							1
		情報セキュリティ	2後		2							1
		データ科学	2後		2							1
		マルチメディア情報処理	2後		2							1
		オペレーティングシステム	2前		2							1
		知識情報システム学演習1	2前		2							5
		知識情報システム学演習2	2後		2							7
		知識情報システム学演習3	3前		2							25
		知識情報システム学演習4	3後		2							25
		小計（12科目）	—	0	24	0	0	0	0	0	0	25
	未来デザインプログラム科目（教育福祉学類基盤科目）	教育福祉学A	2前		2							2
		教育福祉学B	2後		2							2
		人間形成論	2後		2							1
		生涯学習概論	2前		2							1
		社会福祉原論	3前		2							2
		ソーシャルワーク概論	2前		2							1
		スクール・ソーシャルワーク概論	2後		2							1
		保育学概論	1後		2							1
		コラボレーション論	3前		2							1
		グローバル・コラボレーション論	2後		2							4
		教育福祉ゼミナールA	3前		2							21
		教育福祉ゼミナールB	3後		2							21
		教育福祉ゼミナールC	3前		2							21
		教育福祉ゼミナールD	3後		2							21
		小計（14科目）	—	0	28	0	0	0	0	0	0	21

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来デザインコース（FDC）専門科目	生産システム科学	2前		2							1
	生産管理システム	2後		2							1
	生産科学	3前		2							1
	マーケティング・サイエンス	3前		2							1
	情報技術と企業活動	2前		2							1
	データマイニング	3前		2							1
	ソーシャルモデリング	3前		2							1
	ビジネス・インプリメンテーション	2前		2							1
	ビジネス・アナリティクス	2後		2							2
	知識情報システムの開発・運営	3前		2							1
	情報システムの性能と信頼性	2後		2							1
	情報通信工学概論	3前		2							1
	分散システム	3前		2							1
	Webシステム構築基礎	2後		2							2
	空間情報システム	2後		2							2
	材料情報学	2後		2							1
	人工知能A	3前		2							1
	人工知能B	3前		2							1
	ヒューマンコンピュータインタラクション	3前		2							1
	教育情報学	2後		2							1
	教育・学習の理論と設計	3前		2							1
	機械学習	3後		2							1
	自然言語処理	3後		2							1
	情報検索システム論	2後		2							1
	パターン認識	3前		2							1
	AIプログラミング	2後		2							1
	ヘルスケアシステム	2前		2							2
	ヘルスケアサービス	2後		2							2
	情報と職業	2後		2							1
	小計（29科目）	—	0	58	0	0	0	0	0	0	29

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来デザインコース（FDC）専門科目	生産システム科学	2前		2							1
	生産管理システム	2後		2							1
	生産科学	3前		2							1
	マーケティング・サイエンス	3前		2							1
	情報技術と企業活動	2前		2							1
	データマイニング	3前		2							1
	ソーシャルモデリング	3前		2							1
	ビジネス・インプリメンテーション	2前		2							1
	ビジネス・アナリティクス	2後		2							2
	知識情報システムの開発・運営	3前		2							1
	情報システムの性能と信頼性	2後		2							1
	情報通信工学概論	3前		2							1
	分散システム	3前		2							1
	Webシステム構築基礎	2後		2							2
	空間情報システム	2後		2							2
	材料情報学	2後		2							1
	人工知能A	3前		2							1
	人工知能B	3前		2							1
	ヒューマンコンピュータインタラクション	3前		2							1
	教育情報学	2後		2							1
	教育・学習の理論と設計	3前		2							1
	機械学習	3後		2							1
	自然言語処理	3後		2							1
	情報検索システム論	2後		2							1
	パターン認識	3前		2							1
	AIプログラミング	2後		2							1
	ヘルスケアシステム	2前		2							2
	ヘルスケアサービス	2後		2							2
	情報と職業	2後		2							1
	小計（29科目）	—	0	58	0	0	0	0	0	0	29

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来デザインコース（FDC）専門科目	教育福祉の諸問題A（貧困と社会）	2前		2							1
	教育福祉の諸問題B（性と人権）	2前		2							1
	教育福祉の諸問題C（多文化共生）	2後		2							4
	家族社会学	2前		2							1
	教育社会学	1後		2							1
	教育福祉と健康	2前		2							1
	権利擁護論	3前		2							1
	障害者福祉論	2前		2							1
	社会福祉運営論	3後		2							1
	地域福祉論A	2前		2							2
	地域福祉論B	2後		2							2
	医療福祉論	2後		2							1
	高齢者福祉論	2前		2							1
	社会政策論	3前		2							1
	社会保障論	3後		2							1
	セルフヘルプ・グループ論	3後		2							1
	子ども家庭福祉論	2前		2							1
	児童養護論	3前		2							1
	乳児保育論	2後		2							1
	共生の思想と歴史	2後		2							1
	精神保健学	3前		2							1
	特別支援教育	3後		2							1
	教育の思想と歴史	1後		2							1
	教育の法と制度	1後		2							1
	グローバル・コミュニケーション演習	3前		2							1
	教育福祉国際インターンシップ	2後		2							6
	小計（26科目）	—	0	52	0	0	0	0	0	0	21
未来デザインプログラム科目（心理学類専門科目）	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）	1後		2							1
	認知科学1（知覚・認知心理学）	2前		2							1
	認知科学2（学習・言語心理学）	2後		2							1
	認知情報処理	3前		2							1
	産業・組織心理学	2後		2							1
	社会・集団・家族心理学	2前		2							1
	環境心理学	2前		2							1
	文化心理学	4前		2							1
	発達心理学1	2前		2							1
	発達心理学2	2後		2							2
	臨床心理学概論	2前		2							1
	心の病理学（精神疾患とその治療）	2後		2							1
	心理療法論（心理学的支援法）	3前		2							1
	心理検査法（心理的アセスメント）	2後		2							1
	感情・人格心理学	2後		2							1
	神経・生理心理学	3前		2							1
	健康・医療心理学	3後		2							1
	福祉心理学	2後		2							1
	教育・学校心理学	3後		2							2
	司法・犯罪心理学	3後		2							1
	障害者と心理（障害者・障害児心理学）	3前		2							1
	心理学統計法1	2前		2							1
	心理学統計法2	2後		2							2
	心理学統計法3	3前		2							1
	心理学研究法	2前		2							4
	心理学実験	2後		2							7
	心理学特殊実験1	3前		2							7
	心理学特殊実験2	3後		2							8
	心理演習1	3前		2							12
	心理演習2	3後		2							12
	心理演習3	3前		2							2
	公認心理師の職責	3後		2							3
	関係行政論	3前		2							5
	心理実習	3通		2							3
	小計（34科目）	—	0	68	0	0	0	0	0	0	22

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来デザインコース（FDC）専門科目	教育福祉の諸問題A（貧困と社会）	2前		2							1
	教育福祉の諸問題B（性と人権）	2前		2							1
	教育福祉の諸問題C（多文化共生）	2後		2							4
	家族社会学	2前		2							1
	教育社会学	1後		2							1
	教育福祉と健康	2前		2							1
	権利擁護論	3前		2							1
	障害者福祉論	2前		2							1
	社会福祉運営論	3後		2							1
	地域福祉論A	2前		2							1
	地域福祉論B	2後		2							1
	医療福祉論	2後		2							1
	高齢者福祉論	2前		2							1
	社会政策論	3前		2							1
	社会保障論	3後		2							1
	セルフヘルプ・グループ論	3後		2							1
	子ども家庭福祉論	2前		2							1
	児童養護論	3前		2							1
	乳児保育論	2後		2							1
	共生の思想と歴史	2後		2							1
	精神保健学	3前		2							1
	特別支援教育	3後		2							1
	教育の思想と歴史	1後		2							1
	教育の法と制度	1後		2							1
	グローバル・コミュニケーション演習	3前		2							1
	教育福祉国際インターンシップ	2後		2							6
	小計（26科目）	—	0	52	0	0	0	0	0	0	20
未来デザインプログラム科目（心理学類専門科目）	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）	1後		2							1
	認知科学1（知覚・認知心理学）	2前		2							1
	認知科学2（学習・言語心理学）	2後		2							1
	認知情報処理	3前		2							1
	産業・組織心理学	2後		2							1
	社会・集団・家族心理学	2前		2							1
	環境心理学	2前		2							1
	文化心理学	4前		2							1
	発達心理学1	2前		2							1
	発達心理学2	2後		2							2
	臨床心理学概論	2前		2							1
	心の病理学（精神疾患とその治療）	2後		2							1
	心理療法論（心理学的支援法）	3前		2							1
	心理検査法（心理的アセスメント）	2後		2							1
	感情・人格心理学	2後		2							1
	神経・生理心理学	3前		2							1
	健康・医療心理学	3後		2							1
	福祉心理学	2後		2							1
	教育・学校心理学	3後		2							2
	司法・犯罪心理学	3後		2							1
	障害者と心理（障害者・障害児心理学）	3前		2							1
	心理学統計法1	2前		2							1
	心理学統計法2	2後		2							2
	心理学統計法3	3前		2							1
	心理学研究法	2前		2							4
	心理学実験	2後		2							7
	心理学特殊実験1	3前		2							7
	心理学特殊実験2	3後		2							8
	心理演習1	3前		2							12
	心理演習2	3後		2							12
	心理演習3	3前		2							2
	公認心理師の職責	3後		2							3
	関係行政論	3前		2							5
	心理実習	3通		2							3
	小計（34科目）	—	0	68	0	0	0	0	0	0	22

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来 デザ イン コース （FDC） 専門科目	資格系専門科目										
	情報科教育法1A	2前		2							1
	情報科教育法2A	2後		2							1
	ソーシャルワーク論A	2後		2							1
	ソーシャルワーク論B	3前		2							1
	ソーシャルワーク論C	3後		2							1
	刑事司法と福祉	3後		2							1
	心理学と心理的支援	1後		2							1
	社会福祉実習1	2通		2							4
	社会福祉実習指導1	2通		1							7
	社会福祉実習2	3通		4							8
	社会福祉実習指導2	3通		2							8
	保育者論	2後		2							1
	子どもの理解と援助	3前		1							1
	保育内容演習A（総論・環境）	2前		2							1
	保育内容演習B（表現・言葉）	2前		2							2
	保育内容演習C（健康・人間関係）	2後		2							1
	保育の表現技術A	2前		2							2
	保育の表現技術B	2後		2							2
	乳児保育演習	3後		1							1
	障がい児保育演習	3後		2							1
	養護内容演習	3後		1							1
	子どもの保健学	3前		2							1
	子どもの保健学演習	3前		1							1
	子どもの食と栄養	3後		2							1
	保育の計画と評価	4前		2							1
	保育実習1A	2後		2							1
	保育実習指導1A	2後		1							2
	保育実習1B	3通		2							1
	保育実習指導1B	3通		1							2
	保育実習2	3後		2							1
	保育実習指導2	3後		1							2
	スクール・ソーシャルワーク実習	4通		2							2
	スクール・ソーシャルワーク実習指導	4通		1							1
	スクール・ソーシャルワーク演習	3前		2							1
	教育課程論	2前		2							1
	教育方法論	2後		2							1
	教育相談論	2前・後		2							2
	介護概論	1後		2							2
	福祉科教育法1A	2後		2							1
	福祉科教育法2A	2後		2							1
	地域社会学	2後		2							2
	道徳指導論	2前・後		2							1
	社会教育入門	2後		2							1
	生涯学習支援	2前		2							5
	生涯スポーツ指導	2後		2							1
	社会教育計画	3前		2							1
	小計（46科目）	－	0	85	0	0	0	0	0	0	53
	合計（282科目）	－	34	531	0	15	15	0	0	0	201
	合計（601科目）	－	59	976	66	15	15	0	0	0	563

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未来 デザ イン コース （FDC） 専門科目	資格系専門科目										
	情報科教育法1A	2前		2							1
	情報科教育法2A	2後		2							1
	ソーシャルワーク論A	2後		2							1
	ソーシャルワーク論B	3前		2							1
	ソーシャルワーク論C	3後		2							1
	刑事司法と福祉	3後		2							1
	心理学と心理的支援	1後		2							1
	社会福祉実習1	2通		2							4
	社会福祉実習指導1	2通		1							7
	社会福祉実習2	3通		4							8
	社会福祉実習指導2	3通		2							8
	保育者論	2後		2							1
	子どもの理解と援助	3前		1							1
	保育内容演習A（総論・環境）	2前		2							1
	保育内容演習B（表現・言葉）	2前		2							2
	保育内容演習C（健康・人間関係）	2後		2							1
	保育の表現技術A	2前		2							2
	保育の表現技術B	2後		2							2
	乳児保育演習	3後		1							1
	障がい児保育演習	3後		2							1
	養護内容演習	3後		1							1
	子どもの保健学	3前		2							1
	子どもの保健学演習	3前		1							1
	子どもの食と栄養	3後		2							1
	保育の計画と評価	4前		2							1
	保育実習1A	2後		2							1
	保育実習指導1A	2後		1							2
	保育実習1B	3通		2							1
	保育実習指導1B	3通		1							2
	保育実習2	3後		2							1
	保育実習指導2	3後		1							2
	スクール・ソーシャルワーク実習	4通		2							2
	スクール・ソーシャルワーク実習指導	4通		1							1
	スクール・ソーシャルワーク演習	3前		2							1
	教育課程論	2前		2							1
	教育方法論	2後		2							1
	教育相談論	2前		2							1
	介護概論	1後		2							2
	福祉科教育法1A	2後		2							1
	福祉科教育法2A	2後		2							1
	地域社会学	2後		2							1
	道徳指導論	2後		2							1
	社会教育入門	2後		2							1
	生涯学習支援	2前		2							5
	生涯スポーツ指導	2後		2							1
	社会教育計画	3前		2							1
	小計（46科目）	－	0	85	0	0	0	0	0	0	51
	合計（282科目）	－	34	531	0	14	14	0	2	0	199
	合計（598科目）	－	59	972	64	14	14	0	2	0	573

卒業要件及び履修方法
環境社会システム学類 学士（環境社会システム学） 【卒業要件】 履修方法に示す1および2の履修により、131単位以上修得すること 【履修方法】 1. 基幹教育科目 (1) 総合教養科目 10単位 (2) 初年次教育科目 2単位 (3) 情報リテラシー科目 2単位 (4) 外国語科目 英語 6単位 初修外国語 2単位 (5) 健康・スポーツ科学科目 3単位 上記(1)～(5)の科目区分より、指定した25単位を含む35単位以上修得すること (6) 基礎教育科目 6単位以上（必修4単位を含む） ※高校での数学履修状況に応じて、数学リテラシー1もしくは、線形代数1のどちらかを選択必修 2. 専門科目 (1) 学域共通科目 12単位以上（必修10単位を含む） (2) 学類基盤科目 16単位以上（必修6単位を含む） (3) 学類専門科目 32単位以上（必修6単位を含む） (4) PBLプログラム科目 2単位以上（選択2単位を含む） ※2単位を含むPBLプログラム（別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」参照）を1つ以上修了すること ※別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」に含まれる科目のうち 総合教養科目は総合教養科目として 基礎教育科目は基礎教育科目として 自学類基盤科目は自学類基盤科目として 自学類専門科目は自学類専門科目として 他学類専門科目はPBLプログラム科目として それぞれ卒業要件単位に算入する。 上記1(6)および2(1)～(4)の科目区分より、指定した68単位を含む96単位以上修得すること 【履修科目の上限単位数の設定】 年間50単位未満、前期25単位以下、後期25単位以下とする 未来デザインコース（FDC） 学士（学術） 【卒業要件】 履修方法に示す1および2の履修により、137単位以上修得すること 【履修方法】 1. 基幹教育科目 (1) 総合教養科目 10単位 (2) 初年次教育科目 2単位 (3) 情報リテラシー科目 2単位 (4) 外国語科目 英語 6単位 初修外国語 2単位 (5) 健康・スポーツ科学科目 3単位 上記(1)～(5)の科目区分より、指定した29単位を含む35単位以上修得すること (6) 基礎教育科目 6単位以上（必修4単位を含む） 2. 専門科目 (1) 学域共通科目 16単位以上（必修10単位及び知識情報システム学概論（2単位）、教育福祉学概論（2単位）、心理学概論（2単位）を含む） (2) 学類基盤科目 10単位以上 (3) 学類専門科目 32単位以上（必修6単位を含む） (4) PBLプログラム科目 2単位以上（選択2単位を含む） ※2単位を含むPBLプログラム（別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」参照）を1つ以上修了すること ※別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」に含まれる科目のうち 総合教養科目は総合教養科目として 基礎教育科目は基礎教育科目として 自学類基盤科目は自学類基盤科目として 自学類専門科目は自学類専門科目として 他学類専門科目はPBLプログラム科目として それぞれ卒業要件単位に算入する。 (5) 未来デザインプログラム科目 22単位以上（必修12単位を含む） ※未来デザインコースを修了する場合、環境社会システム学卒業研究は履修することができない。 上記1(6)および2(1)～(5)の科目区分より、指定した88単位を含む102単位以上修得すること 【履修科目の上限単位数の設定】 年間50単位未満、前期25単位以下、後期25単位以下とする

卒業要件及び履修方法
環境社会システム学類 学士（環境社会システム学） 【卒業要件】 履修方法に示す1および2の履修により、131単位以上修得すること 【履修方法】 1. 基幹教育科目 (1) 総合教養科目 10単位 (2) 初年次教育科目 2単位 (3) 情報リテラシー科目 2単位 (4) 外国語科目 英語 6単位 初修外国語 2単位 (5) 健康・スポーツ科学科目 3単位 上記(1)～(5)の科目区分より、指定した25単位を含む35単位以上修得すること (6) 基礎教育科目 6単位以上（必修4単位を含む） ※高校での数学履修状況に応じて、数学リテラシー1もしくは、線形代数1のどちらかを選択必修 2. 専門科目 (1) 学域共通科目 12単位以上（必修10単位を含む） (2) 学類基盤科目 16単位以上（必修6単位を含む） (3) 学類専門科目 32単位以上（必修6単位を含む） (4) PBLプログラム科目 2単位以上（選択2単位を含む） ※2単位を含むPBLプログラム（別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」参照）を1つ以上修了すること ※別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」に含まれる科目のうち 総合教養科目は総合教養科目として 基礎教育科目は基礎教育科目として 自学類基盤科目は自学類基盤科目として 自学類専門科目は自学類専門科目として 他学類専門科目はPBLプログラム科目として それぞれ卒業要件単位に算入する。 上記1(6)および2(1)～(4)の科目区分より、指定した68単位を含む96単位以上修得すること 【履修科目の上限単位数の設定】 年間50単位未満、前期25単位以下、後期25単位以下とする 未来デザインコース（FDC） 学士（学術） 【卒業要件】 履修方法に示す1および2の履修により、137単位以上修得すること 【履修方法】 1. 基幹教育科目 (1) 総合教養科目 10単位 (2) 初年次教育科目 2単位 (3) 情報リテラシー科目 2単位 (4) 外国語科目 英語 6単位 初修外国語 2単位 (5) 健康・スポーツ科学科目 3単位 上記(1)～(5)の科目区分より、指定した29単位を含む35単位以上修得すること (6) 基礎教育科目 6単位以上（必修4単位を含む） 2. 専門科目 (1) 学域共通科目 16単位以上（必修10単位及び知識情報システム学概論（2単位）、教育福祉学概論（2単位）、心理学概論（2単位）を含む） (2) 学類基盤科目 10単位以上 (3) 学類専門科目 32単位以上（必修6単位を含む） (4) PBLプログラム科目 2単位以上（選択2単位を含む） ※2単位を含むPBLプログラム（別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」参照）を1つ以上修了すること ※別紙「現代システム科学域 PBL履修課程」に含まれる科目のうち 総合教養科目は総合教養科目として 基礎教育科目は基礎教育科目として 自学類基盤科目は自学類基盤科目として 自学類専門科目は自学類専門科目として 他学類専門科目はPBLプログラム科目として それぞれ卒業要件単位に算入する。 (5) 未来デザインプログラム科目 22単位以上（必修12単位を含む） ※未来デザインコースを修了する場合、環境社会システム学卒業研究は履修することができない。 上記1(6)および2(1)～(5)の科目区分より、指定した88単位を含む102単位以上修得すること 【履修科目の上限単位数の設定】 年間50単位未満、前期25単位以下、後期25単位以下とする

（注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和6年度（新）→【令和5年度（新）→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度（旧）→【令和5年度（旧）

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】
＜基幹教育科目＞ ・科目充実のため、総合教養科目に「研究者の世界へ」（自由科目 2単位）を追加。
＜専門科目＞ ・専任教員の昇任の理由により、「環境社会システム学演習1」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授14」、「講師1」から「講師0」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「環境社会システム学演習2」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授14」、「講師1」から「講師0」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「環境社会システム学演習3」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授14」、「講師1」から「講師0」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「現代社会の倫理学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「生命科学技術と社会」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「PBL演習（共生の思想）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師1」から「講師0」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「未来デザイン卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授14」、「講師1」から「講師0」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「環境社会システム学卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授14」、「講師1」から「講師0」に変更。
【令和5年度】
＜基幹教育科目＞ 1. 科目追加 ・科目充実のため、総合教養科目に「コリアン・スタディーズ」（選択科目2単位）および「数理・データサイエンス」（選択科目2単位）を追加。 ・法令改正に伴い、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目に「ICT活用の理論と実践」（自由科目2単位）を追加。 2. 兼任・兼任数変更 (1) 教育課程および教育内容の充実のため、以下の科目の兼任・兼任教員数を変更した。 ・「現代社会学入門」を「兼1」から「兼2」に変更 ・「大阪の都市づくり」を「兼2」から「兼3」に変更 ・「技術と環境」を「兼1」から「兼2」に変更 ・「世界の文学」を「兼3」から「兼4」に変更 ・「University English 1A」を「兼6」から「兼8」に変更 ・「University English 1B」を「兼7」から「兼9」に変更 ・「University English 2A」を「兼12」から「兼14」に変更 ・「University English 2B」を「兼8」から「兼12」に変更 ・「Discussion」を「兼1」から「兼2」に変更 ・「Comparative Culture」を「兼1」から「兼2」に変更 ・「Communicative Grammar」を「兼1」から「兼2」に変更 ・「ドイツ語入門2」を「兼2」から「兼3」に変更 ・「ドイツ語入門A（基礎）」を「兼4」から「兼5」に変更 ・「ドイツ語特修G」を「兼1」から「兼3」に変更 ・「ドイツ語特修H」を「兼1」から「兼3」に変更 ・「フランス語入門1」を「兼2」から「兼3」に変更 ・「フランス語入門2」を「兼1」から「兼2」に変更 ・「フランス語特修G」を「兼1」から「兼2」に変更 ・「中国語入門1」を「兼6」から「兼7」に変更 ・「中国語入門2」を「兼4」から「兼5」に変更 ・「ロシア語入門1」を「兼2」から「兼3」に変更 ・「ロシア語入門2」を「兼1」から「兼2」に変更 ・「ロシア語入門A（基礎）」を「兼2」から「兼3」に変更 ・「ロシア語初級A（基礎）」を「兼2」から「兼3」に変更 ・「朝鮮語入門1」を「兼3」から「兼4」に変更 ・「朝鮮語入門2」を「兼2」から「兼4」に変更 ・「朝鮮語入門A（基礎）」を「兼2」から「兼3」に変更 ・「朝鮮語初級A（基礎）」を「兼2」から「兼3」に変更 ・「線形代数1」を「兼2」から「兼3」に変更 ・「統計学基礎1」を「兼2」から「兼4」に変更 ・「教育の思想と歴史」を「兼1」から「兼2」に変更 ・「教育実習（2単位）」を「兼1」から「兼2」に変更 (2) 授業運営上の理由により、以下の科目の兼任・兼任数を変更した。 ・「ジェンダー論入門」を「兼6」から「兼5」に変更 ・「人体を考える」を「兼3」から「兼1」に変更 ・「都市生活と人間福祉」を「兼6」から「兼4」に変更 ・「都市・地域政策」を「兼10」から「兼9」に変更 ・「コミュニティ防災」を「兼11」から「兼9」に変更 ・「美術史」を「兼3」から「兼1」に変更 ・「現代科学と人間」を「兼4」から「兼3」に変更 ・「工学研究の最先端」を「兼3」から「兼2」に変更 ・「プレゼンテーション技法」を「兼2」から「兼1」に変更 ・「University English 3A」を「兼16」から「兼15」に変更 ・「University English 3B」を「兼12」から「兼11」に変更 ・「ドイツ語初級A（基礎）」を「兼5」から「兼4」に変更 ・「フランス語入門B（会話）」を「兼3」から「兼2」に変更 ・「健康・スポーツ科学実習」を「兼7」から「兼6」に変更 ＜専門科目＞ ・担当教員変更の理由により、「海外インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「社会学基礎」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「環境社会システム学卒業研究」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授15」、「准教授14」から「准教授15」、「助教2」から「助教0」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「地域・都市環境学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「景観計画学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「環境社会学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・担当教員追加の理由により、「現代の社会問題と社会運動」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「社会調査論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「環境社会システム学演習1」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授15」、「准教授14」から「准教授15」、「助教2」から「助教0」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「環境社会システム学演習2」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授15」、「准教授14」から「准教授15」、「助教2」から「助教0」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「環境社会システム学演習3」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授15」、「准教授14」から「准教授15」、「助教2」から「助教0」に変更。 ・カリキュラム編成の都合により、「倫理学」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「質的調査法」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「資料分析法」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「調査設計法」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更。 ・担当教員追加の理由により、「PBL演習（地域再生）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「PBL演習（社会調査）」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更。 ・担当教員削除の理由により、「PBL演習（文化表象）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。 ・担当教員削除の理由により、「未来デザインインターンシップ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。 ・担当教員削除の理由により、「未来デザイン計画演習」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。 ・担当教員削除の理由により、「未来デザインPBL演習」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。 ・専任教員の昇任の理由により、「未来デザイン卒業研究」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授15」、「准教授14」から「准教授15」、「助教2」から「助教0」に変更。 ・カリキュラム編成の都合により、「教育相談論」の配当年次を「2前」から「2前・後」に変更。 ・カリキュラム編成の都合により、「道徳指導論」の配当年次を「2後」から「2前・後」に変更。

【令和6年度】
<div><基幹教育科目></div> <div>1. 科目追加</div> <div>・科目充実のため、総合教養科目に「高年次ゼミナール」（選択科目2単位）および「キャリアと実践2」（選択科目2単位）を追加。</div> <div>2. 兼任・兼任数変更</div> <div>(1) 教育課程および教育内容の充実のため、以下の科目の兼任・兼任教員数を変更した。</div> <div>・「人体を考える」を「兼1」から「兼2」に変更</div> <div>・「労働と人権」を「兼12」から「兼13」に変更</div> <div>・「現代科学と人間」を「兼3」から「兼4」に変更</div> <div>・「ロシア語入門2」を「兼2」から「兼3」に変更</div> <div>・「朝鮮語入門1」を「兼4」から「兼5」に変更</div> <div>・「朝鮮語入門2」を「兼4」から「兼5」に変更</div> <div>・「朝鮮語初級B（会話）」を「兼3」から「兼4」に変更</div> <div>・「朝鮮語特修A」を「兼1」から「兼2」に変更</div> <div>・「朝鮮語特修B」を「兼1」から「兼2」に変更</div> <div>(2) 兼任教員の退職および兼任教員の担当辞退、授業運営上の理由により、以下の科目の兼任・兼任教員数を変更した。</div> <div>・「ジェンダー論入門」を「兼5」から「兼4」に変更</div> <div>・「健康へのアプローチ」を「兼13」から「兼12」に変更</div> <div>・「自然環境学概論」を「兼7」から「兼6」に変更</div> <div>・「都市の経済とビジネス」を「兼8」から「兼7」に変更</div> <div>・「コミュニティ防災」を「兼9」から「兼8」に変更</div> <div>・「創薬科学のすすめ」を「兼10」から「兼9」に変更</div> <div>・「University English 2B」を「兼12」から「兼10」に変更</div> <div>・「University English 3A」を「兼15」から「兼14」に変更</div> <div>・「Comparative Culture」を「兼2」から「兼1」に変更</div> <div>・「Communicative Grammar」を「兼2」から「兼1」に変更</div> <div>・「ドイツ語入門A（基礎）」を「兼5」から「兼4」に変更</div> <div>・「統計学基礎1」を「兼4」から「兼3」に変更</div> <div><専門科目></div> <div>・カリキュラム構成の都合により、「資源循環論」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。</div> <div>・カリキュラム構成の都合により、「福祉科教育法1A」「福祉科教育法2A」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。</div> <div>・カリキュラム構成の都合により、「ジェンダーと社会」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。</div> <div>・専任教員の昇任の理由により、「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。</div> <div>・専任教員の昇任の理由により、「陸域環境再生学」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。</div> <div>・専任教員の昇任の理由により、「食品安全論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。</div> <div>・専任教員の昇任の理由により、「環境アセスメント学」の専任教員の配置を「教授5」から「教授6」、「准教授2」から「准教授1」に変更。</div> <div>・専任教員の昇任および専任教員の新規就任の理由により、「環境社会システム学卒業研究」「環境社会システム学演習1」「同2」「同3」「未来デザイン卒業研究」の専任教員の配置を「教授15」から「教授16」、「講師0」から「講師1」に変更。</div> <div>・専任教員の新規就任の理由により、「文化の社会学」の専任教員の配置を「講師0」から「講師1」に変更。</div> <div>・専任教員の新規就任の理由により、「異文化の理解」「文化の共生」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。</div> <div>・専任教員の新規就任の理由により、「質的調査法」「資料分析法」「調査設計法」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授2」「講師0」から「講師1」に変更。</div> <div>・担当教員削除の理由により、「PBL演習（地域再生）」の専任教員の配置を「教授3」から「教授2」に変更。</div> <div>・専任教員の昇任および担当教員追加の理由により、「PBL演習（環境再生）」の専任教員の配置を「教授3」から「教授4」に変更。</div> <div>・専任教員の新規就任および担当教員追加により、「PBL演習（社会調査）」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授2」、「講師0」から「講師1」に変更。</div> <div>・担当教員の追加の理由により、「PBL演習（都市社会）」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授0」から「准教授1」に変更。</div> <div>・担当教員の追加の理由により、「PBL演習（共生の社会）」の専任教員の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。</div>

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
29 科目	536 科目	32 科目	597 科目	29 科目 [0]	540 科目 [4]	34 科目 [2]	603 科目 [6]	左記は未来デザインコース（FDC） FDC以外は以下の通り 【設置時の計画】必修：25科目／選択：375科目／自由：32科目／計：432科目 【変更状況】 必修：25科目／選択：379科目／自由：34科目／計：438科目 [0] [4] [2] [6]

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{597} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学における完成年度(2025年度)で表示。			
	校 舎 敷 地	533,411㎡	0㎡	0㎡	533,411㎡				
	運動場用地	111,387㎡	0㎡	0㎡	111,387㎡				
	小 計	644,798㎡	0㎡	0㎡	644,798㎡				
	そ の 他	144,176㎡	0㎡	0㎡	144,176㎡				
	合 計	788,974㎡	0㎡	0㎡	788,974㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学における完成年度(2025年度)で表示。			
		537,156㎡ (412,147㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	537,156㎡ (412,147㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		411 室	223 室	1,570 室	30 室 (補助職員 5 人)	12 室 (補助職員 5 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		現代システム科学域 環境社会システム学類			35 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・雑誌の減少分は除籍による。(5) 視聴覚資料の減少分は除籍による。(6)	
	現代システム科学域	650,000 [201,000] (640,168 [185,311]) -(639,353 [-184,894]) -(641,554 [-186,881])	5,000 [2,500] (4,651 [2,339]) -(4,651 [-2,343]) -(4,986 [-2,430])	8,700 [8,700] (8,700 [8,700])	2,400 (1,845) -(1,852) -(1,849)	1,188 (1,188)	409,000 (409,000)		
		計	650,000 [201,000] (640,168 [185,311]) -(639,353 [-184,894]) -(641,554 [-186,881])	5,000 [2,500] (4,651 [2,339]) -(4,651 [-2,343]) -(4,986 [-2,430])	8,700 [8,700] (8,700 [8,700])	2,400 (1,845) -(1,852) -(1,849)	1,188 (1,188)		409,000 (409,000)
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		レイアウト変更による座席数増 (6)	
		5,992㎡		492 490		1,080,000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		4,206㎡		テニスコート (6面)		プール (1施設)			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト等)を含む。
		教員 1 人当り 研究費等	1,028千円	1,028千円	図書購入費	3,905千円	3,905千円	3,905千円	
		共 同 研 究 費 等	2,176,768千円	2,176,768千円	設備購入費	170,781千円	170,781千円	170,781千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	学生1人当たり納付金の第1年次の上段は大阪府内、下段は大阪府外の金額	
		817.8千円 917.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	-	-		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	大阪公立大学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
現代システム科学域		260	－	780		1.03	1.02	－	令和4年	－			
知識情報システム学類	4	60	－	180	学士 (情報学)	1.11	－	－	令和4年	大阪府堺市中区 学園町1番1号	所在地は完成年度の所在地を記載 (以下、同様) 学類単位での選抜の他、入学時に学類を定めない学域単位での選抜を実施。 学域単位入学者は2年次から各学類に所属する。 各学類の入学定員には、学域単位入学者を含む。 各学類の収容定員充足率の算出に当たり、1年次の各学類の学生数は、入学時から各学類に所属する学生数に学域単位入学者を案分した人数を加えた人数とした。		
環境社会システム学類	4	100	－	300	学士 (環境社会システム学)	0.94	－	－	令和4年	同上			
教育福祉学類	4	55	－	165	学士 (教育福祉学)	1.08	1.07	－	令和4年	同上			
心理学類	4	45	－	135	学士 (心理学)	1.06	－	－	令和4年	同上			
文学部		160	3年次16	496		1.00	－	－	令和4年	－			
哲学歴史学科	4	32	3年次4	100	学士 (文学)	0.87	－	－	令和4年	大阪府大阪市城東区森之宮2丁目2-3、2-23、2-24	学部単位での選抜を実施し、2年次から学科・コースに所属する。 各学科の収容定員充足率の算出に当たり、1年次の各学科の学生数は、1年次の学部全体の学生数を各学科に案分した人数とした。		
人間行動学科	4	56	3年次4	172	学士 (文学)	1.08	－	－	令和4年	同上			
言語文化学科	4	43	3年次4	133	学士 (文学)	0.91	－	－	令和4年	同上			
文化構想学科	4	29	3年次4	91	学士 (文学)	1.10	－	－	令和4年	同上			
法学部		180	3年次5	545		1.03	－	－	令和4年	－			
法学科	4	180	3年次5	545	学士 (法学)	1.03	－	－	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号			
経済学部		295	－	885		1.00	－	－	令和4年	－			
経済学科	4	295	－	885	学士 (経済学)	1.00	－	－	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号			
商学部		270	－	810		1.02	1.02	－	令和4年	－	学部単位での選抜を実施し、2年次後期から学科に所属する。 各学科の収容定員充足率の算出に当たり、1年次・2年次の各学科の学生数は1年次・2年次の学部全体の学生数を各学科に案分した人数とした。		
商学科	4	195	－	585	学士 (商学)	1.03	1.02	－	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号			
公共経営学科	4	75	－	225	学士 (商学)	1.01	1.01	－	令和4年	同上			
理学部		299	－	897		1.02	－	－	令和4年	－			
数学科	4	40	－	120	学士 (理学)	1.00	－	－	令和4年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号			
物理学科	4	76	－	228	学士 (理学)	1.00	－	－	令和4年	同上			
化学科	4	85	－	255	学士 (理学)	1.00	－	－	令和4年	同上			
生物学科	4	40	－	120	学士 (理学)	1.02	－	－	令和4年	同上			
地球学科	4	24	－	72	学士 (理学)	1.05	－	－	令和4年	同上			
生物化学科	4	34	－	102	学士 (理学)	1.07	－	－	令和4年	大阪府堺市中区 学園町1番1号			
工学部		741	2年次1 3年次39	2,264		0.97	－	－	令和4年	－			

航空宇宙工学科	4	38	3年次 1	115	学士 (工学)	0.98	-	-	令和4年	大阪府堺市中区 学園町1番1号	
海洋システム工学科	4	33	3年次 3	102	学士 (工学)	0.89	-	-	令和4年	同上	
機械工学科	4	128	3年次 4	388	学士 (工学)	0.98	-	-	令和4年	同上	
建築学科	4	34	2年次 1	104	学士 (工学)	1.01	1.00	-	令和4年	大阪市住吉区杉 本3丁目3番138号	
都市学科	4	50	3年次 1	151	学士 (工学)	0.97	-	-	令和4年	同上	
電子物理工学科	4	108	3年次 3	327	学士 (工学)	0.94	-	-	令和4年	大阪府堺市中区 学園町1番1号	
情報工学科	4	77	3年次 2	233	学士 (工学)	0.97	-	-	令和4年	同上	
電気電子システム工学科	4	65	3年次 4	199	学士 (工学)	0.96	-	-	令和4年	同上	
応用化学科	4	70	3年次 7	217	学士 (工学)	0.95	-	-	令和4年	同上	
化学工学科	4	38	3年次 8	122	学士 (工学)	1.03	1.02	-	令和4年	同上	
マテリアル工学科	4	43	3年次 4	133	学士 (工学)	0.96	-	-	令和4年	同上	
化学バイオ工学科	4	57	3年次 2	173	学士 (工学)	0.98	-	-	令和4年	大阪市住吉区杉 本3丁目3番138号	
農学部		150	-	450		1.03	-	-	令和4年	-	
応用生物科学科	4	50	-	150	学士 (農学)	1.04	-	-	令和4年	大阪府堺市中区 学園町1番1号	
生命機能化学科	4	50	-	150	学士 (農学)	1.06	-	-	令和4年	同上	
緑地環境科学科	4	50	-	150	学士 (農学)	1.01	-	-	令和4年	同上	
獣医学部		40	-	120		1.07	-	-	令和4年	-	
獣医学科	6	40	-	120	学士 (獣医学)	1.07	-	-	令和4年	大阪府泉佐野市 りんくう往来北1 番地58号	
医学部		145	-	435		1.00	-	-	令和4年	-	
医学科	6	95	-	285	学士 (医学)	1.00	-	-	令和4年	大阪市阿倍野区 旭町1丁目4番3号	医学部医学科の入学定員95人は、地 域医療枠5名を含む。
リハビリテーション学科		50	-	150		1.01	1.00	-	令和4年	-	
(理学療法学専攻)	4	25	-	75	学士 (保健学)	1.04	-	-	令和4年	大阪府大阪市城 東区森之宮2丁目 2-3, 2-23, 2-24	
(作業療法学専攻)	4	25	-	75	学士 (保健学)	0.98	-	-	令和4年	同上	
看護学部		160	-	480		0.99	-	-	令和4年	-	
看護学科	4	160	-	480	学士 (看護学)	0.99	-	-	令和4年	大阪市阿倍野区 旭町1丁目5番17 号	
生活科学部		153	-	459		1.02	1.01	-	令和4年	-	
食栄養学科	4	65	-	195	学士 (生活科学)	1.02	-	-	令和4年	大阪府大阪市城 東区森之宮2丁目 2-3, 2-23, 2-24	
居住環境学科	4	43	-	129	学士 (生活科学)	1.01	1.00	-	令和4年	大阪市住吉区杉 本3丁目3番138号	
人間福祉学科	4	45	-	135	学士 (生活科学)	1.02	-	-	令和4年	同上	
大学全体	-	2,853	2年次 1 3年次 60	8,621	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜現代システム科学域 環境社会システム学類科＞

(1) 一① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和 6 年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	青木 賜鶴子 ＜令和4年4月＞ 博士（言語文化学）	専	教授	青木 賜鶴子 ＜令和4年4月＞ 博士（言語文化学）	専	教授	青木 賜鶴子 ＜令和4年4月＞ 博士（言語文化学）	専	教授	——青木 賜鶴子—— ＜令和4年4月＞ 博士（言語文化学）
		環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 グローバル社会の文化表象			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 グローバル社会の文化表象			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 グローバル社会の文化表象			
兼任	講師	青木 賜鶴子 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学）	兼任	講師	青木 賜鶴子 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学）	兼任	講師	青木 賜鶴子 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学）	兼任	講師	青木 賜鶴子 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学）
		環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 グローバル社会の文化表象 PBL演習（文化表象） 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 グローバル社会の文化表象 PBL演習（文化表象） 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 グローバル社会の文化表象 PBL演習（文化表象） 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			
専	教授	秋庭 裕 ＜令和4年4月＞ 博士（人間科学）	専	教授	秋庭 裕 ＜令和4年4月＞ 博士（人間科学）	専	教授	秋庭 裕 ＜令和4年4月＞ 博士（人間科学）	専	教授	秋庭—裕— ＜令和4年4月＞ 博士（人間科学）
		環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 文化の社会学			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 文化の社会学			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 文化の社会学			
兼任	講師	秋庭 裕 ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）	兼任	講師	秋庭 裕 ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）	兼任	講師	秋庭 裕 ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）	兼任	講師	秋庭—裕— ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 文化の社会学 質的調査法 資料分析法 調査設計法 PBL演習（社会調査） 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 文化の社会学 質的調査法 資料分析法 調査設計法 PBL演習（社会調査） 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 文化の社会学 質的調査法 資料分析法 調査設計法 PBL演習（社会調査） 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			
											王 文潔 ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
								環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 文化の社会学 質的調査法 資料分析法 調査設計法 PBL演習（社会調査） 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			
専	教授	生田 英輔 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	専	教授	生田 英輔 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	専	教授	生田 英輔 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	専	教授	生田 英輔 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 防災・安全科学 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 防災・安全科学 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 防災・安全科学 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究 PBL演習（都市社会）			
専	教授	伊藤 康人 ＜令和4年4月＞ 理学博士	専	教授	伊藤 康人 ＜令和4年4月＞ 理学博士	専	教授	伊藤 康人 ＜令和4年4月＞ 理学博士	専	教授	伊藤 康人 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 自然システムとサステイナビリティ※ PBL演習（地域再生） 地域実践演習 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 自然システムとサステイナビリティ※ PBL演習（地域再生） 地域実践演習 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 自然システムとサステイナビリティ※ PBL演習（地域再生） 地域実践演習 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	山本 由美子 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	専	准教授	山本 由美子 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	専	准教授	山本 由美子 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	専	准教授	山本 由美子 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 現代社会の倫理学 生命科学技術と社会 PBL演習（共生の思想） 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 現代社会の倫理学 生命科学技術と社会 PBL演習（共生の思想） 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 現代社会の倫理学 生命科学技術と社会 PBL演習（共生の思想） 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 現代社会の倫理学 生命科学技術と社会 PBL演習（共生の思想） 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究
専	助教	阿久井 康平 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	専	助教	阿久井 康平 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	阿久井 康平 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	阿久井 康平 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 地域・都市環境学 景観計画学 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 地域・都市環境学 景観計画学 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 地域・都市環境学 景観計画学 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 地域・都市環境学 景観計画学 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究 PBL演習（都市社会）
専	助教	藤井 佑介 ＜令和4年4月＞ 博士（エネルギー科学）	専	助教	藤井 佑介 ＜令和4年4月＞ 博士（エネルギー科学）	専	准教授	藤井 佑介 ＜令和4年4月＞ 博士（エネルギー科学）	専	准教授	藤井 佑介 ＜令和4年4月＞ 博士（エネルギー科学）
		環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究 PBL演習（環境再生）
兼任	教授	安倍 広多 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	安倍 広多 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	安倍 広多 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	安倍 広多 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 分散システム PBL演習（情報ネットワークシステム） 未来デザイン卒業研究			知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 分散システム PBL演習（情報ネットワークシステム） 未来デザイン卒業研究			知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 分散システム PBL演習（情報ネットワークシステム） 未来デザイン卒業研究			知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 分散システム PBL演習（情報ネットワークシステム） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	伊井 直比呂 ＜令和4年4月＞ 博士（法学）	兼任	教授	伊井 直比呂 ＜令和4年4月＞ 博士（法学）	兼任	教授	伊井 直比呂 ＜令和4年4月＞ 博士（法学）	兼任	教授	伊井—直比呂 ＜令和4年4月＞ 博士（法学）
		未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 グローバル・コラボレーション 論※ 社会システムとサステイナビリティ※ 教育福祉国際インターンシップ 教育福祉の諸問題C(多文化共生) ※ 教育の法と制度 社会科教育法（地歴分野）1A 社会科教育法（公民分野）1A 社会科教育法（公民分野）2A 生涯学習支援			未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 グローバル・コラボレーション 論※ 社会システムとサステイナビリティ※ 教育福祉国際インターンシップ 教育福祉の諸問題C(多文化共生) ※ 教育の法と制度 社会科教育法（地歴分野）1A 社会科教育法（公民分野）1A 社会科教育法（公民分野）2A 生涯学習支援			未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 グローバル・コラボレーション 論※ 社会システムとサステイナビリティ※ 教育福祉国際インターンシップ 教育福祉の諸問題C(多文化共生) ※ 教育の法と制度 社会科教育法（地歴分野）1A 社会科教育法（公民分野）1A 社会科教育法（公民分野）2A 生涯学習支援			未来デザインインターン シップ 未来デザイン計画演習 グローバル・コラボレー ション論※ 社会システムとサステイナ ビリティ※ 教育福祉国際インターン シップ 教育福祉の諸問題C(多文化 共生)※ 教育の法と制度 社会科教育法（地歴分野） 1A 社会科教育法（公民分野） 1A 社会科教育法（公民分野） 2A 生涯学習支援

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	伊井 直比呂 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	兼任	講師	伊井 直比呂 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	兼任	講師	伊井 直比呂 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	兼任	講師	伊井 直比呂 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 グローバル・コラボレーション論※ 社会システムとサステイナビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉国際インターンシップ 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 教育福祉の諸問題C(多文化共生)※ 教育の法と制度 社会科教育法（地歴分野）1A 社会科教育法（公民分野）1A 社会科教育法（公民分野）2A 生涯学習支援 PBL演習（ESD-A） PBL演習（ESD-B） PBL演習（生涯学習と設計） 未来デザイン卒業研究			未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 グローバル・コラボレーション論※ 社会システムとサステイナビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉国際インターンシップ 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 教育福祉の諸問題C(多文化共生)※ 教育の法と制度 社会科教育法（地歴分野）1A 社会科教育法（公民分野）1A 社会科教育法（公民分野）2A 生涯学習支援 PBL演習（ESD-A） PBL演習（ESD-B） PBL演習（生涯学習と設計） 未来デザイン卒業研究			未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 グローバル・コラボレーション論※ 社会システムとサステイナビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉国際インターンシップ 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 教育福祉の諸問題C(多文化共生)※ 教育の法と制度 社会科教育法（地歴分野）1A 社会科教育法（公民分野）1A 社会科教育法（公民分野）2A 生涯学習支援 PBL演習（ESD-A） PBL演習（ESD-B） PBL演習（生涯学習と設計） 未来デザイン卒業研究			未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 グローバル・コラボレーション論※ 社会システムとサステイナビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉国際インターンシップ 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 教育福祉の諸問題C(多文化共生)※ 教育の法と制度 社会科教育法（地歴分野）1A 社会科教育法（公民分野）1A 社会科教育法（公民分野）2A 生涯学習支援 PBL演習（ESD-A） PBL演習（ESD-B） PBL演習（生涯学習と設計） 未来デザイン卒業研究
									兼任	准教授	田村 徳子 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
											国際教育と開発 社会システムとサステイナビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 教育の法と制度 社会科教育法（地歴分野）1A 社会科教育法（公民分野）1A 生涯学習支援 PBL演習（生涯学習と設計） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	石橋 勇人 ＜令和4年4月＞ 博士（情報学）	兼任	教授	石橋 勇人 ＜令和4年4月＞ 博士（情報学）	兼任	教授	石橋 勇人 ＜令和4年4月＞ 博士（情報学）	兼任	教授	石橋 勇人 ＜令和4年4月＞ 博士（情報学）
		情報ネットワーク基礎 PBL演習（情報ネットワークシステム） 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 未来デザイン卒業研究			情報ネットワーク基礎 PBL演習（情報ネットワークシステム） 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 未来デザイン卒業研究			情報ネットワーク基礎 PBL演習（情報ネットワークシステム） 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 未来デザイン卒業研究			情報ネットワーク基礎 PBL演習（情報ネットワークシステム） 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	泉 正夫 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	泉 正夫 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	泉 正夫 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	泉 正夫 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		パターン認識			パターン認識			パターン認識			パターン認識
兼任	講師	泉 正夫 ＜令和7年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	泉 正夫 ＜令和7年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	泉 正夫 ＜令和7年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	泉 正夫 ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		パターン認識			パターン認識			パターン認識			パターン認識
兼任	教授	伊藤 嘉余子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）	兼任	教授	伊藤 嘉余子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）	兼任	教授	伊藤 嘉余子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）	兼任	教授	伊藤 嘉余子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 児童養護論 ソーシャルワーク論A 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2 養護内容演習 未来デザイン卒業研究			教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 児童養護論 ソーシャルワーク論A 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2 社会福祉実習指導2 養護内容演習 未来デザイン卒業研究			教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 児童養護論 ソーシャルワーク論A 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2 社会福祉実習指導2 養護内容演習 未来デザイン卒業研究			教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 児童養護論 ソーシャルワーク論A 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2 社会福祉実習指導2 養護内容演習 未来デザイン卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岩村 幸治 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		生産システム科学 PBL演習（生産システム科学） 知識情報システム学演習2※ 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	太田 正哉 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		コンピュータシステム 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 情報通信工学概論 PBL演習（情報ネットワークシステム） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	岡本 真彦 ＜令和4年4月＞ 博士（心理学）
		未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 心理演習1 心理演習2 発達心理学1 教育・学校心理学※ 心理学統計法1 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学特殊実験1 心理学特殊実験2 PBL演習（教育保障） 地域実践演習 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	亀喜 信 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		倫理学
兼任	教授	川原 稔久 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		臨床心理学概論
兼任	教授	児島 亜紀子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		社会システムとサステイナビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 教育福祉学A※ 教育福祉学B※ 社会福祉原論※ 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2 PBL演習（ジェンダー論） 未来デザイン卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岩村 幸治 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		生産システム科学 PBL演習（生産システム科学） 知識情報システム学演習2※ 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	太田 正哉 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		コンピュータシステム 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 情報通信工学概論 PBL演習（情報ネットワークシステム） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	岡本 真彦 ＜令和4年4月＞ 博士（心理学）
		未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 心理演習1 心理演習2 発達心理学1 教育・学校心理学※ 心理学統計法1 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学特殊実験1 心理学特殊実験2 PBL演習（教育保障） 地域実践演習 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	亀喜 信 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		倫理学
兼任	教授	川原 稔久 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		臨床心理学概論
兼任	教授	児島 亜紀子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		社会システムとサステイナビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 教育福祉学A※ 教育福祉学B※ 社会福祉原論※ 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2 PBL演習（ジェンダー論） 未来デザイン卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岩村 幸治 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		生産システム科学 PBL演習（生産システム科学） 知識情報システム学演習2※ 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	太田 正哉 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		コンピュータシステム 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 情報通信工学概論 PBL演習（情報ネットワークシステム） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	岡本 真彦 ＜令和4年4月＞ 博士（心理学）
		未来デザインインターンシッ プ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 心理演習1 心理演習2 発達心理学1 教育・学校心理学※ 心理学統計法1 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学特殊実験1 心理学特殊実験2 PBL演習（教育保障） 地域実践演習 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	亀喜 信 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		倫理学
兼任	教授	川原 稔久 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		臨床心理学概論
兼任	教授	児島 亜紀子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		社会システムとサステイナビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 教育福祉学A※ 教育福祉学B※ 社会福祉原論※ 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2 PBL演習（ジェンダー論） 未来デザイン卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岩村 幸治 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		生産システム科学 PBL演習（生産システム科学） 知識情報システム学演習2※ 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	太田 正哉 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		コンピュータシステム 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 情報通信工学概論 PBL演習（情報ネットワークシステム） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	岡本 真彦 ＜令和4年4月＞ 博士（心理学）
		未来デザインインターン シップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 心理演習1 心理演習2 発達心理学1 教育・学校心理学※ 心理学統計法1 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学特殊実験1 心理学特殊実験2 PBL演習（教育保障） 地域実践演習 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	亀喜 信 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		倫理学
兼任	教授	川原—稔久 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		臨床心理学概論
兼任	准教授	樋口 亜瑞佐 ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		心理療法論（心理学的支援法） 心理学特殊実験1 心理実習 心理演習1 心理演習2 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	児島 亜紀子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		社会システムとサステイナ ビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 教育福祉学A※ 教育福祉学B※ 社会福祉原論※ 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2 PBL演習（ジェンダー論） 未来デザイン卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	櫻井 俊郎 ＜令和4年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	櫻井 俊郎 ＜令和4年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	櫻井 俊郎 ＜令和4年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	櫻井 俊郎 ＜令和4年4月＞ 文学修士※
		東洋の歴史環境 外国史			東洋の歴史環境 外国史			東洋の歴史環境 外国史			東洋の歴史環境 外国史
兼任	教授	山東 功 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	山東 功 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	山東 功 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	山東 功 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 教育福祉の諸問題C（多文化共生）※ 学校教育史 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 教育福祉の諸問題C（多文化共生）※ 学校教育史 学校教育史 未来デザイン卒業研究 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 教育福祉の諸問題C（多文化共生）※ 学校教育史 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究 社会システムとサステイナビリティ※			環境社会システム学演習1 環境社会システム学演習2 環境社会システム学演習3 教育福祉の諸問題C（多文化共生）※ 学校教育史 未来デザイン卒業研究 環境社会システム学卒業研究 社会システムとサステイナビリティ※
						兼任	教授	全 泓奎 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	全 泓奎 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
								地域福祉論A 地域福祉論B 地域社会学 グローバル・コラボレーション論 教育福祉国際インターンシップ 未来デザイン卒業研究 PBL演習（地域および都市における排除・共生・参加） 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD			地域福祉論A 地域福祉論B 地域社会学 グローバル・コラボレーション論 教育福祉国際インターンシップ 未来デザイン卒業研究 PBL演習（地域および都市における排除・共生・参加） 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD
兼任	教授 (学域長)	菅野 正嗣 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授 (学域長)	菅野 正嗣 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授 (学域長)	菅野 正嗣 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授 (学域長)	菅野 正嗣 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 情報システムとサステイナビリティ※ 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 情報システムの性能と信頼性 PBL演習（情報ネットワークシステム） 未来デザイン卒業研究			未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 情報システムとサステイナビリティ※ 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 情報システムの性能と信頼性 PBL演習（情報ネットワークシステム） 未来デザイン卒業研究			未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 情報システムとサステイナビリティ※ 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 情報システムの性能と信頼性 PBL演習（情報ネットワークシステム） 未来デザイン卒業研究 インターンシップ 海外インターンシップ			未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 情報システムとサステイナビリティ※ 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 情報システムの性能と信頼性 PBL演習（情報ネットワークシステム） 未来デザイン卒業研究 インターンシップ 海外インターンシップ
兼任	教授	隅田 好美 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）	兼任	教授	隅田 好美 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）	兼任	教授	隅田 好美 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）	兼任	教授	隅田 好美 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB PBL演習（コラボレーション） 医療福祉論 コラボレーション論			教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB PBL演習（コラボレーション） 医療福祉論 コラボレーション論			教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB PBL演習（コラボレーション） 医療福祉論 コラボレーション論			教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB PBL演習（コラボレーション） 医療福祉論 コラボレーション論 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2
兼任	講師	隅田 好美 ＜令和7年4月＞ 博士（社会福祉学）	兼任	講師	隅田 好美 ＜令和7年4月＞ 博士（社会福祉学）	兼任	講師	隅田 好美 ＜令和7年4月＞ 博士（社会福祉学）	兼任	講師	隅田 好美 ＜令和7年4月＞ 博士（社会福祉学）
		教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB PBL演習（コラボレーション） 未来デザイン卒業研究			教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB PBL演習（コラボレーション） 未来デザイン卒業研究			教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB PBL演習（コラボレーション） 未来デザイン卒業研究			教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB PBL演習（コラボレーション） 未来デザイン卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	東 優子 ＜令和4年4月＞ 博士（人文科学）
		グローバル・コラボレーション論※ 人間システムとサステイナビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉国際インターンシップ 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 海外インターンシップ ソーシャルワーク概論 教育福祉の諸問題B（性と人権） ソーシャルワーク論C 社会福祉実習1 社会福祉実習指導1 PBL演習（ジェンダー論） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	平井 規央 ＜令和4年4月＞ 博士（緑地環境科学）
		PBL演習（環境学）
兼任	教授	牧岡 省吾 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 人間システムとサステイナビリティ※ 心理学概論 心理演習1 心理演習2 心理学統計法2※ 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学特殊実験1 心理学特殊実験2 神経・生理心理学 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	真嶋 由貴恵 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		知識情報システム学演習2※ 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 ヘルスケアシステム ヘルスケアサービス PBL演習（ヘルスケア科学） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	水鳥 能伸 ＜令和4年4月＞ 博士（法学）
		行政活動と法
兼任	講師	水鳥 能伸 ＜令和7年4月＞ 博士（法学）
		行政活動と法
兼任	教授	宮本 貴朗 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		情報システムとサステイナビリティ※ 情報セキュリティ オペレーティングシステム PBL演習（情報ネットワークシステム） 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 未来デザイン卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	東 優子 ＜令和4年4月＞ 博士（人文科学）
		グローバル・コラボレーション論※ 人間システムとサステイナビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉国際インターンシップ 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 海外インターンシップ ソーシャルワーク概論 教育福祉の諸問題B（性と人権） ソーシャルワーク論C 社会福祉実習1 社会福祉実習指導1 PBL演習（ジェンダー論） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	平井 規央 ＜令和4年4月＞ 博士（緑地環境科学）
		PBL演習（環境学）
兼任	教授	牧岡 省吾 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 人間システムとサステイナビリティ※ 心理学概論 心理演習1 心理演習2 心理学統計法2※ 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学特殊実験1 心理学特殊実験2 神経・生理心理学 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	真嶋 由貴恵 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		知識情報システム学演習2※ 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 ヘルスケアシステム ヘルスケアサービス PBL演習（ヘルスケア科学） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	水鳥 能伸 ＜令和4年4月＞ 博士（法学）
		行政活動と法
兼任	講師	水鳥 能伸 ＜令和7年4月＞ 博士（法学）
		行政活動と法
兼任	教授	宮本 貴朗 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		情報システムとサステイナビリティ※ 情報セキュリティ オペレーティングシステム PBL演習（情報ネットワークシステム） 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 未来デザイン卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	東 優子 ＜令和4年4月＞ 博士（人文科学）
		グローバル・コラボレーション論※ 人間システムとサステイナビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉国際インターンシップ 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 海外インターンシップ ソーシャルワーク概論 教育福祉の諸問題B（性と人権） ソーシャルワーク論C 社会福祉実習1 社会福祉実習指導1 PBL演習（ジェンダー論） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	平井 規央 ＜令和4年4月＞ 博士（緑地環境科学）
		PBL演習（環境学）
兼任	教授	牧岡 省吾 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 人間システムとサステイナビリティ※ 心理学概論 心理演習1 心理演習2 心理学統計法2※ 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学特殊実験1 心理学特殊実験2 神経・生理心理学 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	真嶋 由貴恵 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		知識情報システム学演習2※ 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 ヘルスケアシステム ヘルスケアサービス PBL演習（ヘルスケア科学） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	水鳥 能伸 ＜令和4年4月＞ 博士（法学）
		行政活動と法
兼任	講師	水鳥 能伸 ＜令和7年4月＞ 博士（法学）
		行政活動と法
兼任	教授	宮本 貴朗 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		情報システムとサステイナビリティ※ 情報セキュリティ オペレーティングシステム PBL演習（情報ネットワークシステム） 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 未来デザイン卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	東 優子 ＜令和4年4月＞ 博士（人文科学）
		グローバル・コラボレーション論※ 人間システムとサステイナビリティ※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉国際インターンシップ 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 海外インターンシップ ソーシャルワーク概論 教育福祉の諸問題B（性と人権） ソーシャルワーク論C 社会福祉実習1 社会福祉実習指導1 PBL演習（ジェンダー論） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	平井 規央 ＜令和4年4月＞ 博士（緑地環境科学）
		PBL演習（環境学）
兼任	教授	牧岡 省吾 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習 人間システムとサステイナビリティ※ 心理学概論 心理演習1 心理演習2 心理学統計法2※ 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学特殊実験1 心理学特殊実験2 神経・生理心理学 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	真嶋 由貴恵 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		知識情報システム学演習2※ 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 ヘルスケアシステム ヘルスケアサービス PBL演習（ヘルスケア科学） 未来デザイン卒業研究
兼任	教授	水鳥 能伸 ＜令和4年4月＞ 博士（法学）
		行政活動と法
兼任	講師	水鳥 能伸 ＜令和7年4月＞ 博士（法学）
		行政活動と法
兼任	教授	宮本 貴朗 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		情報システムとサステイナビリティ※ 情報セキュリティ オペレーティングシステム PBL演習（情報ネットワークシステム） 知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 未来デザイン卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	片畑 真由美 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理演習1 心理演習2 心理検査法（心理的アセスメント） PBL演習（生きることと遊び） 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	河野 直子 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		心理演習1 心理演習2 発達心理学2※ 健康・医療心理学 心理学特殊実験2 公認心理師の職責※ 心理実習 PBL演習（教育保障） 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	川部 哲也 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理演習1 心理演習2 臨床心理学概論 心理療法論（心理学的支援法） 関係行政論※ 心理実習 PBL演習（生きることと遊び） 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	河村 悠太 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理演習1 心理演習2 産業・組織心理学 社会・集団・家族心理学 心理学統計法3 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学特殊実験1 心理学特殊実験2 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	木曾 陽子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		教育福祉学概論※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 乳児保育論 特別支援教育 保育内容演習B（表現・言葉） 障がい児保育演習 保育の計画と評価 保育実習1B 保育実習指導1B PBL演習（コラボレーション） 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	熊安 貴美江 ＜令和4年4月＞ 文学士
		PBL演習（ジェンダー論）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	片畑 真由美 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理演習1 心理演習2 心理検査法（心理的アセスメント） PBL演習（生きることと遊び） 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	河野 直子 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		心理演習1 心理演習2 発達心理学2※ 健康・医療心理学 心理学特殊実験2 公認心理師の職責※ 心理実習 PBL演習（教育保障） 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	川部 哲也 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理演習1 心理演習2 臨床心理学概論 心理療法論（心理学的支援法） 関係行政論※ 心理実習 PBL演習（生きることと遊び） 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	河村 悠太 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理演習1 心理演習2 産業・組織心理学 社会・集団・家族心理学 心理学統計法3 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学特殊実験1 心理学特殊実験2 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	木曾 陽子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		教育福祉学概論※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 乳児保育論 特別支援教育 保育内容演習B（表現・言葉） 障がい児保育演習 保育の計画と評価 保育実習1B 保育実習指導1B PBL演習（コラボレーション） 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	熊安 貴美江 ＜令和4年4月＞ 文学士
		PBL演習（ジェンダー論）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	片畑 真由美 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理演習1 心理演習2 心理検査法（心理的アセスメント） PBL演習（生きることと遊び） 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	河野 直子 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		心理演習1 心理演習2 発達心理学2※ 健康・医療心理学 心理学特殊実験2 公認心理師の職責※ 心理実習 PBL演習（教育保障） 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	川部 哲也 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理演習1 心理演習2 臨床心理学概論 心理療法論（心理学的支援法） 関係行政論※ 心理実習 PBL演習（生きることと遊び） 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	河村 悠太 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理演習1 心理演習2 産業・組織心理学 社会・集団・家族心理学 心理学統計法3 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学特殊実験1 心理学特殊実験2 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	木曾 陽子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		教育福祉学概論※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 乳児保育論 特別支援教育 保育内容演習B（表現・言葉） 障がい児保育演習 保育の計画と評価 保育実習1B 保育実習指導1B PBL演習（コラボレーション） 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	熊安 貴美江 ＜令和4年4月＞ 文学士
		PBL演習（ジェンダー論）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	片畑 真由美 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理演習1 心理演習2 心理検査法（心理的アセスメント） PBL演習（生きることと遊び） 未来デザイン卒業研究 心理演習3 心理学特殊実験1
兼任	准教授	河野 直子 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		心理演習1 心理演習2 発達心理学2※ 健康・医療心理学 心理学特殊実験2 公認心理師の職責※ 心理実習 PBL演習（教育保障） 未来デザイン卒業研究 心理学特殊実験1
兼任	教授	川部 哲也 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理演習1 心理演習2 臨床心理学概論 心理療法論（心理学的支援法） 関係行政論※ 心理実習 PBL演習（生きることと遊び） 未来デザイン卒業研究 心理学特殊実験1
兼任	准教授	河村 悠太 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理演習1 心理演習2 産業・組織心理学 社会・集団・家族心理学 心理学統計法3 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学特殊実験1 心理学特殊実験2 未来デザイン卒業研究
兼任	准教授	木曾 陽子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		教育福祉学概論※ 教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 乳児保育論 特別支援教育 保育内容演習B（表現・言葉） 障がい児保育演習 保育の計画と評価 保育実習1B 保育実習指導1B PBL演習（コラボレーション） 未来デザイン卒業研究 コラボレーション論 未来デザインインターンシップ 未来デザイン計画演習 未来デザインPBL演習
兼任	准教授	熊安 貴美江 ＜令和4年4月＞ 文学士
		PBL演習（ジェンダー論）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	若林 身歌 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		教育課程論 教育方法論
兼任	講師	楠木 祥文 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 AIプログラミング 未来デザイン卒業研究
兼任	講師	徳本 勇人 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		資源循環論
兼任	講師	東根 ちよ ＜令和4年4月＞ 博士（政策科学）
		教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 地域福祉論A 地域福祉論B 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2 PBL演習（地域および都市における排除・共生・参加） 未来デザイン卒業研究
兼任	講師	宮下 佳代子 ＜令和4年4月＞ 修士（看護学）
		介護概論
兼任	助教	上田 昇平 ＜令和4年4月＞ 博士（進化生物学）
		PBL演習（環境学）
兼任	講師	芦谷 圭祐 ＜令和5年9月＞ 修士（法学）
		政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	若林 身歌 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		教育課程論 教育方法論
兼任	講師	楠木 祥文 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 AIプログラミング 未来デザイン卒業研究
兼任	講師	徳本 勇人 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		資源循環論
兼任	講師	東根 ちよ ＜令和4年4月＞ 博士（政策科学）
		教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 地域福祉論A 地域福祉論B 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2 PBL演習（地域および都市における排除・共生・参加） 未来デザイン卒業研究
兼任	講師	宮下 佳代子 ＜令和4年4月＞ 修士（看護学）
		介護概論
兼任	助教	上田 昇平 ＜令和4年4月＞ 博士（進化生物学）
		PBL演習（環境学）
兼任	講師	芦谷 圭祐 ＜令和5年9月＞ 修士（法学）
		政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	若林 身歌 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		教育課程論 教育方法論
兼任	講師	楠木 祥文 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 AIプログラミング 未来デザイン卒業研究
兼任	講師	徳本 勇人 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		資源循環論
兼任	准教授	東根 ちよ ＜令和4年4月＞ 博士（政策科学）
		教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 地域福祉論A 地域福祉論B 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2 PBL演習（地域および都市における排除・共生・参加） 未来デザイン卒業研究
兼任	講師	宮下 佳代子 ＜令和4年4月＞ 修士（看護学）
		介護概論
兼任	助教	上田 昇平 ＜令和4年4月＞ 博士（進化生物学）
		PBL演習（環境学）
兼任	講師	石川 直子 ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		環境生物学
兼任	講師	芦谷 圭祐 ＜令和5年9月＞ 修士（法学）
		政治学
兼任	講師	出口 航 ＜令和5年9月＞ 修士（法学）
		政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	若林 身歌 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		教育課程論 教育方法論
兼任	講師	楠木 祥文 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		知識情報システム学演習3 知識情報システム学演習4 AIプログラミング 未来デザイン卒業研究
兼任	講師	徳本 勇人 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		資源循環論
兼任	准教授	東根 ちよ ＜令和4年4月＞ 博士（政策科学）
		教育福祉ゼミナールC 教育福祉ゼミナールD 教育福祉ゼミナールA 教育福祉ゼミナールB 地域福祉論A 地域福祉論B 社会福祉実習2 社会福祉実習指導2 PBL演習（地域および都市における排除・共生・参加） 未来デザイン卒業研究
兼任	講師	宮下 佳代子 ＜令和4年4月＞ 修士（看護学）
		介護概論
兼任	助教	上田 昇平 ＜令和4年4月＞ 博士（進化生物学）
		PBL演習（環境学）
兼任	講師	石川 直子 ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		環境生物学
兼任	講師	出口 航 ＜令和5年9月＞ 修士（法学）
		政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大村 拓生 ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		日本史概説
兼任	講師	川口 夏希 ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		比較地域論
兼任	講師	紫垣 聡 ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		外国史
兼任	講師	関川 芳孝 ＜令和6年9月＞ 法学修士※
		教育福祉国際インターンシップ 刑事司法と福祉
兼任	講師	中尾 元紀 ＜令和5年9月＞ 修士（国際公共政策学）
		国際法と共生社会
兼任	講師	巽 真理子 ＜令和5年9月＞ 博士（人間科学）
		ジェンダーと社会
兼任	講師	松村 寛之 ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		日本近代の社会の歴史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大村 拓生 ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		日本史概説
兼任	講師	川口 夏希 ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		比較地域論
兼任	講師	紫垣 聡 ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		外国史
兼任	講師	関川 芳孝 ＜令和6年9月＞ 法学修士※
		教育福祉国際インターンシップ 刑事司法と福祉
兼任	講師	中尾 元紀 ＜令和5年9月＞ 修士（国際公共政策学）
		国際法と共生社会
兼任	講師	巽 真理子 ＜令和5年9月＞ 博士（人間科学）
		ジェンダーと社会
兼任	講師	松村 寛之 ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		日本近代の社会の歴史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大村 拓生 ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		日本史概説
兼任	講師	川口 夏希 ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		比較地域論
兼任	講師	堀内 千加 ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		比較地域論
兼任	講師	紫垣 聡 ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		外国史
兼任	講師	合田 昌史 ＜令和5年4月＞ 文学博士
		外国史
兼任	講師	関川 芳孝 ＜令和6年9月＞ 法学修士※
		教育福祉国際インターンシップ 刑事司法と福祉
兼任	講師	中尾 元紀 ＜令和5年9月＞ 修士（国際公共政策学）
		国際法と共生社会
兼任	講師	巽 真理子 ＜令和5年9月＞ 博士（人間科学）
		ジェンダーと社会
兼任	講師	松村 寛之 ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		日本近代の社会の歴史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大村 拓生 ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		日本史概説
兼任	講師	堀内 千加 ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		比較地域論
兼任	講師	合田 昌史 ＜令和5年4月＞ 文学博士
		外国史
兼任	講師	関川 芳孝 ＜令和6年9月＞ 法学修士※
		教育福祉国際インターンシップ 刑事司法と福祉 社会政策論 社会保障論
兼任	講師	中尾 元紀 ＜令和5年9月＞ 修士（国際公共政策学）
		国際法と共生社会
兼任	講師	濱田 早絵 ＜令和5年9月＞ 修士（法学）
		国際法と共生社会
兼任	講師	巽 真理子 ＜令和5年9月＞ 博士（人間科学）
		ジェンダーと社会
兼任	講師	松村 寛之 ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		日本近代の社会の歴史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森田 育志 ＜令和5年4月＞ 修士（地理学）
		社会科教育法（地歴分野）2A
兼任	講師	森田 崇雄 ＜令和6年9月＞ 博士（法学）
		環境法2
兼任	講師	小倉 博之 ＜令和5年9月＞ 博士（理学）
		自然地理学
兼任	講師	田村 徳子 ＜令和5年9月＞ 博士（教育学）
		国際教育と開発
兼任	講師	東 奈央 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		関係行政論※
兼任	講師	稲川 孝司 ＜令和5年4月＞ 工学修士
		情報科教育法1A 情報科教育法2A
兼任	講師	岩槻 知也 ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		社会教育計画
兼任	講師	馬野 政子 ＜令和5年4月＞ 芸術学士
		保育の表現技術A
兼任	講師	大江 まゆ子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		保育実習指導1B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森田 育志 ＜令和5年4月＞ 修士（地理学）
		社会科教育法（地歴分野）2A
兼任	講師	森田 崇雄 ＜令和6年9月＞ 博士（法学）
		環境法2
兼任	講師	小倉 博之 ＜令和5年9月＞ 博士（理学）
		自然地理学
兼任	講師	田村 徳子 ＜令和5年9月＞ 博士（教育学）
		国際教育と開発
兼任	講師	東 奈央 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		関係行政論※
兼任	講師	稲川 孝司 ＜令和5年4月＞ 工学修士
		情報科教育法1A 情報科教育法2A
兼任	講師	岩槻 知也 ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		社会教育計画
兼任	講師	馬野 政子 ＜令和5年4月＞ 芸術学士
		保育の表現技術A
兼任	講師	大江 まゆ子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		保育実習指導1B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森田 育志 ＜令和5年4月＞ 修士（地理学）
		社会科教育法（地歴分野）2A
兼任	講師	森田 崇雄 ＜令和6年9月＞ 博士（法学）
		環境法2
兼任	講師	小倉 博之 ＜令和5年9月＞ 博士（理学）
		自然地理学
兼任	講師	田村 徳子 ＜令和5年9月＞ 博士（教育学）
		国際教育と開発
兼任	講師	東 奈央 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		関係行政論※
兼任	講師	稲川 孝司 ＜令和5年4月＞ 工学修士
		情報科教育法1A 情報科教育法2A
兼任	講師	岩槻 知也 ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		社会教育計画
兼任	講師	馬野 政子 ＜令和5年4月＞ 芸術学士
		保育の表現技術A
兼任	講師	大江 まゆ子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		保育実習指導1B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森田 育志 ＜令和5年4月＞ 修士（地理学）
		社会科教育法（地歴分野）2A
兼任	講師	森田 崇雄 ＜令和6年9月＞ 博士（法学）
		環境法2
兼任	講師	小倉 博之 ＜令和5年9月＞ 博士（理学）
		自然地理学
兼任	講師	田村—徳子— ＜令和5年9月＞ 博士—(教育学)—
		国際教育と開発
兼任	講師	東 奈央 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		関係行政論※
兼任	講師	稲川 孝司 ＜令和5年4月＞ 工学修士
		情報科教育法1A 情報科教育法2A
兼任	講師	岩槻—知也— ＜令和6年4月＞ 博士—(人間科学)—
		社会教育計画
兼任	講師	出相 泰裕 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		社会教育計画
兼任	講師	馬野 政子 ＜令和5年4月＞ 芸術学士
		保育の表現技術A
兼任	講師	大江 まゆ子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		保育実習指導1B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加納 明彦 ＜令和5年9月＞ 学術修士
		福祉科教育法1A 福祉科教育法2A
兼任	講師	川崎 真望子 ＜令和5年9月＞ 修士（教育学）
		保育実習指導1A 保育実習指導2
兼任	講師	栗山 誠 ＜令和5年9月＞ 博士（学術）
		保育の表現技術B
兼任	講師	神原 知香 ＜令和4年9月＞ 社会福祉学修士
		社会福祉実習指導1
兼任	講師	佐々木 章 ＜令和6年4月＞ 法務博士
		関係行政論※
兼任	講師	里見 聡 ＜令和6年9月＞ 博士（教育学）
		司法・犯罪心理学
兼任	講師	澤田 英三 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		文化心理学
兼任	講師	静 和美 ＜令和4年9月＞ 教養学士
		介護概論
兼任	講師	嶋内 健 ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）
		社会政策論 社会保障論
兼任	講師	城 亘 ＜令和5年4月＞ 学士（経営学）
		情報と職業

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加納 明彦 ＜令和5年9月＞ 学術修士
		福祉科教育法1A 福祉科教育法2A
兼任	講師	川崎 真望子 ＜令和5年9月＞ 修士（教育学）
		保育実習指導1A 保育実習指導2
兼任	講師	栗山 誠 ＜令和5年9月＞ 博士（学術）
		保育の表現技術B
兼任	講師	神原 知香 ＜令和4年9月＞ 社会福祉学修士
		社会福祉実習指導1
兼任	講師	佐々木 章 ＜令和6年4月＞ 法務博士
		関係行政論※
兼任	講師	里見 聡 ＜令和6年9月＞ 博士（教育学）
		司法・犯罪心理学
兼任	講師	澤田 英三 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		文化心理学
兼任	講師	静 和美 ＜令和4年9月＞ 教養学士
		介護概論
兼任	講師	嶋内 健 ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）
		社会政策論 社会保障論
兼任	講師	城 亘 ＜令和5年4月＞ 学士（経営学）
		情報と職業

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加納 明彦 ＜令和5年9月＞ 学術修士
		福祉科教育法1A 福祉科教育法2A
兼任	講師	川崎 真望子 ＜令和5年9月＞ 修士（教育学）
		保育実習指導1A 保育実習指導2
兼任	講師	栗山 誠 ＜令和5年9月＞ 博士（学術）
		保育の表現技術B
兼任	講師	神原 知香 ＜令和4年9月＞ 社会福祉学修士
		社会福祉実習指導1
兼任	講師	佐々木 章 ＜令和6年4月＞ 法務博士
		関係行政論※
兼任	講師	里見 聡 ＜令和6年9月＞ 博士（教育学）
		司法・犯罪心理学
兼任	講師	澤田 英三 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		文化心理学
兼任	講師	静 和美 ＜令和4年9月＞ 教養学士
		介護概論
兼任	講師	嶋内 健 ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）
		社会政策論 社会保障論
兼任	講師	城 亘 ＜令和5年4月＞ 学士（経営学）
		情報と職業

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加納 明彦 ＜令和5年9月＞ 学術修士
		福祉科教育法1A 福祉科教育法2A
兼任	講師	川崎—真望子— ＜令和5年9月＞ 修士—(教育学)—
		保育実習指導1A 保育実習指導2
兼任	講師	栗山 誠 ＜令和5年9月＞ 博士（学術）
		保育の表現技術B
兼任	講師	神原 知香 ＜令和4年9月＞ 社会福祉学修士
		社会福祉実習指導1
兼任	講師	佐々木 章 ＜令和6年4月＞ 法務博士
		関係行政論※
兼任	講師	里見 聡 ＜令和6年9月＞ 博士（教育学）
		司法・犯罪心理学
兼任	講師	澤田 英三 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		文化心理学
兼任	講師	静 和美 ＜令和4年9月＞ 教養学士
		介護概論
兼任	講師	嶋内—健— ＜令和6年4月＞ 博士—(社会学)—
		社会政策論 社会保障論
兼任	講師	城—亘— ＜令和5年4月＞ 学士—(経営学)—
		情報と職業

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹内 和広 ＜令和6年9月＞ 博士（工学）
		自然言語処理
兼任	講師	田中 知子 ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		保育内容演習B（表現・言葉） 保育の表現技術A
兼任	講師	辻本 法子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		マーケティング・サイエンス
兼任	講師	土井 裕貴 ＜令和5年4月＞ 修士（人間科学）
		教育相談論
兼任	講師	仲野 浩司郎 ＜令和5年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会福祉実習指導1
兼任	講師	七山 知佳 ＜令和4年9月＞ 修士（看護学）
		医学概論（人体の構造と機能及び疾病）
兼任	講師	西口 真央 ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		ビジネス・インプリメンテーション
兼任	講師	西中 華子 ＜令和4年9月＞ 博士（学術）
		子どもの理解と援助 心理学と心理的支援

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹内 和広 ＜令和6年9月＞ 博士（工学）
		自然言語処理
兼任	講師	田中 知子 ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		保育内容演習B（表現・言葉） 保育の表現技術A
兼任	講師	辻本 法子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		マーケティング・サイエンス
兼任	講師	土井 裕貴 ＜令和5年4月＞ 修士（人間科学）
		教育相談論
兼任	講師	仲野 浩司郎 ＜令和5年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会福祉実習指導1
兼任	講師	七山 知佳 ＜令和4年9月＞ 修士（看護学）
		医学概論（人体の構造と機能及び疾病）
兼任	講師	西口 真央 ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		ビジネス・インプリメンテーション
兼任	講師	西中 華子 ＜令和4年9月＞ 博士（学術）
		子どもの理解と援助 心理学と心理的支援

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹内 和広 ＜令和6年9月＞ 博士（工学）
		自然言語処理
兼任	講師	田中 知子 ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		保育内容演習B（表現・言葉） 保育の表現技術A
兼任	講師	辻本 法子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		マーケティング・サイエンス
兼任	講師	土井 裕貴 ＜令和5年4月＞ 修士（人間科学）
		教育相談論
兼任	講師	永島 聡 ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		教育相談論
兼任	講師	仲野 浩司郎 ＜令和5年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会福祉実習指導1
兼任	講師	七山 知佳 ＜令和4年9月＞ 修士（看護学）
		医学概論（人体の構造と機能及び疾病）
兼任	講師	西口 真央 ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		ビジネス・インプリメンテーション
兼任	講師	西中 華子 ＜令和4年9月＞ 博士（学術）
		子どもの理解と援助 心理学と心理的支援

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	八幡 優 ＜令和6年4月＞ 学士（工学）
		情報と職業
兼任	講師	竹内 和広 ＜令和6年9月＞ 博士（工学）
		自然言語処理
兼任	講師	田中 知子 ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		保育内容演習B（表現・言葉） 保育の表現技術A
兼任	講師	辻本 法子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		マーケティング・サイエンス
兼任	講師	土井 裕貴 ＜令和5年4月＞ 修士（人間科学）
		教育相談論
兼任	講師	永島 聡 ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		教育相談論
兼任	講師	仲野 浩司郎 ＜令和5年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会福祉実習指導1
兼任	講師	七山 知佳 ＜令和4年9月＞ 修士（看護学）
		医学概論（人体の構造と機能及び疾病）
兼任	講師	西口 真央 ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		ビジネス・インプリメンテーション
兼任	講師	西中 華子 ＜令和4年9月＞ 博士（学術）
		子どもの理解と援助 心理学と心理的支援

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西元 直美 ＜令和5年9月＞ 博士（臨床教育学）
		保育内容演習C（健康・人間関係）
兼任	講師	荷出 翠 ＜令和7年4月＞ 臨床福祉学修士
		スクール・ソーシャルワーク実習 スクール・ソーシャルワーク実習指導
兼任	講師	馬場 公恵 ＜令和6年9月＞ 家政学士
		子どもの食と栄養
兼任	講師	樋口 亜瑞佐 ＜令和6年4月＞ 人間科学（博士）
		福祉心理学
兼任	講師	藤井 加那子 ＜令和6年4月＞ 修士（保健学）
		子どもの保健学演習
兼任	講師	藤原 朝洋 ＜令和6年4月＞ 臨床心理修士
		障害者と心理（障害者・障害児心理学）
兼任	講師	藤原 範子 ＜令和6年9月＞ 学士（社会学）
		乳児保育演習
兼任	講師	布施 仁 ＜令和5年9月＞ 児童学修士
		保育の表現技術B
兼任	講師	増永 理考 ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		西洋の歴史と文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西元 直美 ＜令和5年9月＞ 博士（臨床教育学）
		保育内容演習C（健康・人間関係）
兼任	講師	荷出 翠 ＜令和7年4月＞ 臨床福祉学修士
		スクール・ソーシャルワーク実習 スクール・ソーシャルワーク実習指導
兼任	講師	馬場 公恵 ＜令和6年9月＞ 家政学士
		子どもの食と栄養
兼任	講師	樋口 亜瑞佐 ＜令和6年4月＞ 人間科学（博士）
		福祉心理学
兼任	講師	藤井 加那子 ＜令和6年4月＞ 修士（保健学）
		子どもの保健学演習
兼任	講師	藤原 朝洋 ＜令和6年4月＞ 臨床心理修士
		障害者と心理（障害者・障害児心理学）
兼任	講師	藤原 範子 ＜令和6年9月＞ 学士（社会学）
		乳児保育演習
兼任	講師	布施 仁 ＜令和5年9月＞ 児童学修士
		保育の表現技術B
兼任	講師	増永 理考 ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		西洋の歴史と文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西元 直美 ＜令和5年9月＞ 博士（臨床教育学）
		保育内容演習C（健康・人間関係）
兼任	講師	荷出 翠 ＜令和7年4月＞ 臨床福祉学修士
		スクール・ソーシャルワーク実習 スクール・ソーシャルワーク実習指導
兼任	講師	馬場 公恵 ＜令和6年9月＞ 家政学士
		子どもの食と栄養
兼任	講師	樋口 亜瑞佐 ＜令和6年4月＞ 人間科学（博士）
		福祉心理学
兼任	講師	藤井 加那子 ＜令和6年4月＞ 修士（保健学）
		子どもの保健学演習
兼任	講師	藤原 朝洋 ＜令和6年4月＞ 臨床心理修士
		障害者と心理（障害者・障害児心理学）
兼任	講師	藤原 範子 ＜令和6年9月＞ 学士（社会学）
		乳児保育演習
兼任	講師	布施 仁 ＜令和5年9月＞ 児童学修士
		保育の表現技術B
兼任	講師	増永 理考 ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		西洋の歴史と文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西元 直美 ＜令和5年9月＞ 博士（臨床教育学）
		保育内容演習C（健康・人間関係）
兼任	講師	荷出 翠 ＜令和7年4月＞ 臨床福祉学修士
		スクール・ソーシャルワーク実習 スクール・ソーシャルワーク実習指導
兼任	講師	馬場 公恵 ＜令和6年9月＞ 家政学士
		子どもの食と栄養
兼任	講師	樋口—亜瑞佐— ＜令和6年4月＞ 人間科学（博士）
		福祉心理学
兼任	講師	高田 豊司 ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）
		福祉心理学
兼任	講師	藤井 加那子 ＜令和6年4月＞ 修士（保健学）
		子どもの保健学演習
兼任	講師	藤原 朝洋 ＜令和6年4月＞ 臨床心理修士
		障害者と心理（障害者・障害児心理学）
兼任	講師	藤原 範子 ＜令和6年9月＞ 学士（社会学）
		乳児保育演習 保育実習指導 1 A 保育実習指導2
兼任	講師	布施 仁 ＜令和5年9月＞ 児童学修士
		保育の表現技術B
兼任	講師	増永—理考— ＜令和5年9月＞ 博士（文学）
		西洋の歴史と文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	宮城 明子 ＜令和5年4月＞ 修士（社会福祉学）	兼任	講師	宮城 明子 ＜令和5年4月＞ 修士（社会福祉学）	兼任	講師	宮城 明子 ＜令和5年4月＞ 修士（社会福祉学）	兼任	講師	宮城 明子 ＜令和5年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会福祉実習指導1			社会福祉実習指導1			社会福祉実習指導1			社会福祉実習指導1
兼任	講師	村上 正行 ＜令和6年4月＞ 博士（情報学）	兼任	講師	村上 正行 ＜令和6年4月＞ 博士（情報学）	兼任	講師	村上 正行 ＜令和6年4月＞ 博士（情報学）	兼任	講師	村上 正行 ＜令和6年4月＞ 博士（情報学）
		教育・学習の理論と設計			教育・学習の理論と設計			教育・学習の理論と設計			教育・学習の理論と設計
兼任	講師	森 瞳子 ＜令和6年4月＞ 修士（保健学）	兼任	講師	森 瞳子 ＜令和6年4月＞ 修士（保健学）	兼任	講師	森 瞳子 ＜令和6年4月＞ 修士（保健学）	兼任	講師	森 瞳子 ＜令和6年4月＞ 修士（保健学）
		子どもの保健学			子どもの保健学			子どもの保健学			子どもの保健学
兼任	講師	山本 健太郎 ＜令和6年4月＞ 法務博士	兼任	講師	山本 健太郎 ＜令和6年4月＞ 法務博士	兼任	講師	山本 健太郎 ＜令和6年4月＞ 法務博士	兼任	講師	山本 健太郎 ＜令和6年4月＞ 法務博士
		関係行政論※			関係行政論※			関係行政論※			関係行政論※
兼任	講師	山本 純弥 ＜令和6年4月＞ 法務博士	兼任	講師	山本 純弥 ＜令和6年4月＞ 法務博士	兼任	講師	山本 純弥 ＜令和6年4月＞ 法務博士	兼任	講師	山本 純弥 ＜令和6年4月＞ 法務博士
		関係行政論※			関係行政論※			関係行政論※			関係行政論※
兼任	講師	李 皓 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	兼任	講師	李 皓 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	兼任	講師	李 皓 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	兼任	講師	李 皓 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		ソーシャルモデリング			ソーシャルモデリング			ソーシャルモデリング			ソーシャルモデリング
兼任	講師	川原 稔久 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	川原 稔久 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	川原 稔久 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	川原 稔久 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		PBL演習（生きることと遊び）			PBL演習（生きることと遊び）			PBL演習（生きることと遊び）			PBL演習（生きることと遊び）

（注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）を

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

・令和4年4月 山本由美子講師、准教授に昇任。教員審査省略。

【令和5年度】

・専任 大塚耕司教授の担当授業科目から「インターンシップ」「海外インターンシップ」を削除。 ・兼任 山東功教授の担当授業科目に「社会システムとサステナビリティ」を追加。教員審査省略。 ・専任 西尾純二教授辞任。 ・専任 生活科学部人間福祉学科から転籍により環境社会システム学類の専任教員として令和5年4月野村恭代教授就任。教員審査省略。 ・兼任 令和5年4月全泓奎教授就任。 ・兼任 菅野正嗣教授の担当授業科目に「インターンシップ」「海外インターンシップ」を追加。 ・兼任 吉田敦彦教授の担当授業科目に「生涯学習概論」を追加。 ・兼任 令和5年4月石川直子講師就任。 ・兼任 芦谷圭祐講師就任辞任により、出口航講師に変更。 ・兼任 川口夏希講師就任辞任により、堀内千加講師に変更。 ・兼任 紫垣聡講師就任辞任により、合田昌史講師に変更。 ・兼任 関川芳孝講師の担当授業科目から「教育福祉国際インターンシップ」を削除。 ・兼任 令和5年4月永島聡講師就任。
職位の変更： 〈令和4年10月〉 ・専任 藤井佑介 助教から准教授に昇任
〈令和5年4月〉 ・専任 藤田 渡 准教授から教授に昇任 ・専任 阿久井康平助教から准教授に昇任 ・兼任 高橋幸治 准教授から教授に昇任 ・兼任 内藤葉子 准教授から教授に昇任 ・兼任 森岡次郎 准教授から教授に昇任 ・兼任 東根ちよ 講師から准教授に昇任

【令和6年度】

・専任 青木賜鶴子教授辞任により、担当授業科目を全て削除。 ・兼任 青木賜鶴子講師の担当授業科目から「環境社会システム学演習1」「環境社会システム学演習2」「環境社会システム学演習3」「環境社会システム学卒業研究」「未来デザイン卒業研究」を削除。 ・専任 秋庭裕教授辞任により、担当授業科目を全て削除。 ・兼任 秋庭裕講師就任辞任により、担当授業科目を全て削除。 ・専任 令和6年4月王文潔講師就任。教員審査省略。 ・専任 生田英輔教授の授業科目に「PBL演習（都市社会）」を追加。 ・兼任 西尾純二講師辞任により、峪口有香子講師に変更。 ・専任 宮脇幸生教授辞任により、担当授業科目を全て削除。 ・兼任 宮脇幸生講師就任辞任により、担当授業科目を全て削除。 ・専任 令和6年4月橋爪太作准教授就任。教員審査省略。 ・専任 野村恭代教授の担当授業科目から「PBL演習（地域再生）」を削除、「PBL演習（社会調査）」を追加。 ・専任 西川弘展准教授の担当授業科目に「PBL演習（共生の思想）」を追加。 ・専任 阿久井康平准教授の担当授業科目に「PBL演習（都市社会）」を追加。 ・専任 藤井佑介准教授の担当授業科目に「PBL演習（環境再生）」を追加。 ・兼任 伊井直比呂教授辞任により、担当授業科目を全て削除。 ・兼任 伊井直比呂講師の担当授業科目から、「未来デザインインターンシップ」「未来デザイン計画演習」「未来デザインPBL演習」「社会システムとサステナビリティ」「教育福祉ゼミナールC」「教育福祉ゼミナールD」「教育福祉国際インターンシップ」「教育福祉ゼミナールA」「教育福祉ゼミナールB」「教育の法と制度」「社会科教育法（地歴分野）1A」「社会科教育法（公民分野）1A」「生涯学習支援」「PBL演習（生涯学習と設計）」「未来デザイン卒業研究」を削除。 ・兼任 令和6年4月田村徳子准教授就任。教員審査省略。 ・兼任 川原稔久教授辞任により、担当授業科目を全て削除。 ・兼任 令和6年4月樋口亜端佐准教授就任。教員審査省略。 ・兼任 全泓奎教授の担当授業科目に「PBL演習（地域および都市における排除・共生・参加）」「教育福祉ゼミナールA」「教育福祉ゼミナールB」「教育福祉ゼミナールC」「教育福祉ゼミナールD」を追加。 ・兼任 隅田好美教授の担当授業科目に「社会福祉実習2」「社会福祉実習指導2」を追加。 ・兼任 総田純次教授の担当授業科目に「心理学特殊実験1」を追加。 ・兼任 山野則子教授の担当授業科目から「社会福祉実習2」「社会福祉実習指導2」を削除。 ・兼任 片畑真由美准教授の担当授業科目に「心理演習3」「心理学特殊実験1」を追加。 ・兼任 河野直子准教授の担当授業科目に「心理学特殊実験1」を追加。 ・兼任 川部哲也教授の担当授業科目から「心理療法論（心理学的支援法）」を削除、「心理学特殊実験1」を追加。 ・兼任 高橋幸治教授の担当授業科目に「心理学特殊実験1」を追加。 ・兼任 木曾陽子准教授の担当授業科目に「コラボレーション論」「未来デザインインターンシップ」「未来デザイン計画演習」「未来デザインPBL演習」を追加。 ・兼任 石川直子講師辞任。 ・兼任 嶋内健講師辞任により関川芳孝講師の担当授業科目に「社会政策論」「社会保障論」を追加。 ・兼任 中尾元紀講師辞任により濱田絵講師就任。 ・兼任 岩槻知也講師辞任により出相泰裕講師就任。 ・兼任 城亘講師辞任により八幡優講師就任。 ・兼任 川崎真望子講師辞任により藤原範子講師の担当授業科目に「保育実習指導1A」「保育実習指導2」を追加。 ・兼任 樋口亜端佐講師兼任に変更により、高田豊司講師就任。 ・兼任 増永理考講師辞任により中辻柚珠講師就任。 ・兼任 川原稔久講師辞任により全科目削除。
職位の変更： 〈令和6年4月〉 ・専任 星 英之 准教授から教授に昇任 ・兼任 濱島淑恵 准教授から教授に昇任 ・兼任 乾 順子 准教授から教授に昇任 ・兼任 川部哲也 准教授から教授に昇任

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力量科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力量科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10名	5名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
14	13	1	2	30	0	17	15	1	0	33	0
(18)	(13)	(1)	(2)	(34)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
16	15	1	0	32	0	16	15	1	0	32	0
[2]	[2]	[0]	[Δ2]	[2]	[0]	[2]	[2]	[0]	[Δ2]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65歳	0名	0名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況（C）

設置時の計画（A）

=

32

30

=

106.66

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数

現在（報告時）の状況（B）

=

0

33

=

0

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）

設置時の計画（A'）

=

0

0

=

-

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合 計（D）					後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」

・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」

・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	西尾 純二	R5.3	必修	未来デザインインターンシップ	①	R5.3.31付 他大学に転出による退職のため。 なお、兼任として一部科目を継続担当する。 (5)						
				必修	未来デザイン計画演習	①							
				必修	未来デザインPBL演習	①							
				必修	環境社会システム学演習1	①							
				必修	環境社会システム学演習2	①							
				必修	環境社会システム学演習3	①							
				必修	社会システムとサステイナビリティ	②							
				選択	地域社会の言語環境	②							
				選択	言語使用の多様性研究	②							
				選択	PBL演習（文化表象）	①							
				必修	未来デザイン卒業研究	①							
				必修	環境社会システム学卒業研究	①							
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	9	科目	必修	8	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	1	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	9	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」

・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」

・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）					後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	9	科目	必修	8	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	1	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	9	科目	計	3	科目	計	0	科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

1

30

=

3.33

%

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

人

- (注) ・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	青木 賜鶴子	必修	環境社会システム学演習1	①	R6. 3. 31付け65歳で定年退職（6）							
			必修	環境社会システム学演習2	①								
			必修	環境社会システム学演習3	①								
			選択	グローバル社会の文化表象	②								
			選択	PBL演習（文化表象）	②								
			必修	未来デザイン卒業研究	①								
2	教授	秋庭 裕	必修	環境社会システム学演習1	①	R6. 3. 31付け65歳で定年退職（6）							
			必修	環境社会システム学演習2	①								
			必修	環境社会システム学演習3	①								
			選択	文化の社会学	①								
			選択	質的調査法	①								
			選択	資料分析法	①								
			選択	調査設計法	①								
			必修	PBL演習（社会調査）	①								
			必修	未来デザイン卒業研究	①								
			必修	環境社会システム学卒業研究	①								
3	教授	宮脇 幸生	必修	環境社会システム学演習1	①	R6. 3. 31付け65歳で定年退職（6）							
			必修	環境社会システム学演習2	①								
			必修	環境社会システム学演習3	①								
			選択	異文化の理解	①								
			必修	文化と共生	①								
			必修	質的調査法	①								
			選択	資料分析法	①								
			必修	調査設計法	①								
			選択	PBL演習（社会調査）	①								
			必修	未来デザイン卒業研究	①								
			選択	環境社会システム学卒業研究	①								
合計					後任補充状況の集計								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人	必修	17	科目	必修	17	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	8	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	27	科目	計	25	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の辞任については、適切な科目運営に支障無いよう、専任教員および兼任教員による適切な補充担当配置を行った。学生に対してはシラバス、時間割等で周知を行った。（5） 専任教員の辞任については、適切な科目運営に支障無いよう、専任教員および兼任教員による適切な補充担当配置を行った。学生に対してはシラバス、時間割等で周知を行った。（6）
--

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (令和4年)	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	【認可】 遵守事項 ・設置の趣旨・目的及び養成する人材像等をふまえ、入学者選抜、教育課程、学位授与の方針に沿って実施している。 また、全学的にも、新任教員オリエンテーション、教授会、FD・SD研修、各種委員会活動を通じて設置趣旨に即した運営を通じて設置計画を確実に履行する体制を整え、教育研究活動の水準向上に努めている。(4)(5)(6)	・今後も引き続き、設置の趣旨・目的等が生かされるよう、FD・SD研修や各種委員会活動を通じて教育研究活動の水準を向上させる取り組みに注力する。(4)(5)(6)
認 可 時 (令和4年)	・未来デザインコース(FDC)に所属する学生が、コース履修上の相談体制について適切に理解できるよう、支援組織である「未来デザイン支援WG」の構成メンバー(メンター、サブメンター、指導教員)のそれぞれの役割や責任体制を明確にするとともに、学生に対して丁寧に説明・周知すること。(現代システム科学域知識情報システム学類、現代システム科学域環境社会システム学類、現代システム科学域教育福祉学類、現代システム科学域心理学類)	【認可】 遵守事項 ・新入生オリエンテーションの時点で、学域単位入学生を対象として未来デザインコースを志望あるいは検討している学生数を把握した。また、「未来デザインコース説明会」を5月上旬に2回実施し、未来デザインコースの主旨や卒業までの履修の流れについて説明をし、質疑応答を行った。この後、未来デザインコースの履修を希望する学生に対して、解決したい課題、4年間の学習計画、および1年次に履修する「未来デザインインターンシップ」についてまとめた「未来デザイン計画素案」を6月上旬に提出させる。未来デザイン支援WGは提出された「未来デザイン計画素案」の内容を確認し、メンター教員を決定した上で、学生と相談しながらインターンシップ先を決定する。 ・メンター、サブメンター、指導教員の役割についても上記説明会で学生に周知した。メンターは学生の履修計画やインターンシップ、フィールドでの活動について助言を行う。サブメンターは、学生が属する学類とは異なる研究分野からの助言を行う。指導教員は、卒業研究の指導を行う。メンターと指導教員は同じ教員が兼ねる場合もある。(4)(5)(6)	・左記の取組みを実施しつつ、今後も引き続き、未来デザインコース(FDC)に所属する学生が、コース履修上の相談体制について適切に理解できるよう体制を検討し、確立していく。(4)(5)(6)

<p>認可時 (令和4年)</p>	<p>・より効率的かつ効果的な就職・キャリア支援を行う観点から、キャリア支援部門と就職担当教員の役割分担や責任体制を明確にするとともに、その内容について就職・キャリア支援方策の具体的な内容と併せて学生に周知することが望ましい。(現代システム科学域知識情報システム学類、現代システム科学域環境社会システム学類、現代システム科学域教育福祉学類、現代システム科学域心理学類)</p>	<p>【認可】 助言事項</p>	<p>・学年進行に伴い適切なキャリア支援を行うために、キャリア支援室長と現代システム科学域長、現代システム科学研究科長で打ち合わせを行い、今後のキャリア支援の進め方について意見交換を行った。特に未来デザインコースを志望する学生に対しては、解決すべき課題を発見し、その解決のための学習計画に沿った履修を行うという特徴から、早い段階での進路指導が必要であることを確認した。 ・2年次前期の各学類の全学生が出席する授業において、本学のキャリア支援体制や就職活動のスケジュール等に関する説明をキャリア支援室職員が行うことを検討している。 ・キャリア支援室と各学類の就職担当教員の役割については切り分けが難しい部分がある。今後も連携と情報共有を進め、両者による責任体制を構築する。(4) ・2年次の各学類の全学生が出席する授業において、本学のキャリア支援体制や就職活動のスケジュール等に関する説明をキャリア支援室職員が行うこととし、現在実施に向けて日程等詳細を調整している。(5) ・令和5年度については上記説明を実施した。令和6年度についても同様に実施を予定している。(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>・左記の取組みを実施しつつ、今後も引き続き、より効率的かつ効果的な就職・キャリア支援を行う体制を検討し、確立していく。 (4) (5) ・左記の取組みを実施しつつ、今後も引き続き、より効率的かつ効果的な就職・キャリア支援を行うために、1年次前期、2年次前期に各学類で全学生参加のキャリアガイダンスをキャリア支援室職員に実施してもらい、学生に対するキャリア支援を実施している。 (6)</p>
<p>認可時 (令和4年)</p>	<p>・社会科学系の学びを主体にした学生が実験系の研究を行う場合に必要となる安全講習の実施に関し、履修ガイダンス等で学生に周知徹底するとともに、関連科目のシラバスにも可能な限り明記すること。(現代システム科学域環境社会システム学類)</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>・令和5年度は、実験等に関する安全講習に関して、次年度開講の3年次配当科目「環境社会システム学演習2」のシラバスに、第1回に安全講習を実施する旨、明記した。また、安全講習に関して、2年次後期配当科目「環境社会システム学演習1」の最終回で事前アナウンスを行った。(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>・実験等に関する安全講習は、3年次前期に行われる「環境社会システム学演習2」の初回で、自然環境学系のゼミに配属された学生に対して行う。安全講習に関する周知は、2年次後期に行う「環境社会システム学演習1」の最終回で事前アナウンスを行うとともに、3年次冒頭の履修ガイダンスで冊子を配布して行う予定である。また「環境社会システム学演習1」のシラバスに事前周知にについて、「環境社会システム学演習2」のシラバスに第1回での安全講習実施について、それぞれ明記する。(4) (5) (6)</p>

<p>認可時 (令和4年)</p>	<p>・私法の基礎科目として設定されている「経済活動と法」において、民法の基礎的な内容が着実に習得されるよう配慮するとともに、「環境法Ⅰ」における不法行為に関する授業内容との接続が円滑になされるよう、民法における契約と不法行為との関係に係る概要を習得することが望ましい。(現代システム科学域環境社会システム学類)</p>	<p>【認可】 助言事項</p>	<p>・2年次配当科目の「経済活動と法」では、受講生の大半が法学の初学者であることを念頭に、初回から第3回までは日本の法体系や私法の一般法である民法の基礎について解説した。 また、次年度開講の3年次配当科目「環境法Ⅰ」との接続が円滑になされるよう、「経済活動と法」のシラバス及び初回講義において、「本講義は「環境法Ⅰ」を受講する上で必要となる法学の基礎知識として、特に企業という経済活動の当事者に対して、法がどのような規律付けを行っているかを学ぶ」ことと、「環境法Ⅰ」の前提となる講義であることを明示し、これにより「経済活動と法」「環境法Ⅰ」の履修について指導した。(5)(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>・「経済活動と法」では、受講生の大半が法学の初学者であることを念頭に、初回から第3回までは日本の法体系や私法の一般法である民法の基礎について解説する予定である。 特に「環境法Ⅰ」では環境問題に関する民事責任が扱われることから、「経済活動と法」では民法の基礎的説明の中で債権の発生原因を取り扱い、特に債務不履行責任と不法行為責任との違いについて説明する。くわえて、役員の民事責任を扱う回では、会社自身が負う民法上の責任と役員が負う会社法上の責任の違いを説明して、受講生が会社の事業活動に関する責任の主体と種類を理解できるようにして、「環境法Ⅰ」の受講に役立つように配慮する。(4)(5)(6)</p>
<p>認可時 (令和4年)</p>	<p>・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>・主に1年次の学生が履修する基幹教育科目については、令和6年度までは同キャンパス(中百舌鳥キャンパス)で履修することとしており、教員及び学生の教育研究に支障はない。また、学生の課外活動については、他キャンパスで活動する際の移動について、1日数便シャトルバスを運行するなど配慮している。(4) ・主に1年次の学生が履修する基幹教育科目については、令和7年度前期までは同キャンパス(中百舌鳥キャンパス)で履修することとしており、教員及び学生の教育研究に支障はない。 また、キャンパス間のシャトルバスを1日4便から8便に増便するなど引き続き配慮している。(5) ・シャトルバスについては、法改正による人件費高騰や昨今の燃料費高騰の影響を受けており、かつ、前年度の利用状況に偏りがあったことから、状況を総合的に考慮してダイヤを見直し、利便性の高い時間に集中させる等工夫することで運行を維持し、引き続き配慮している。(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>・二以上の校地で課外活動等を行う学生に支障がでないよう、左記の取組みについて定期的に確認し、必要に応じて改善していく。(4)(5)(6)</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
- 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<現代システム科学域 環境社会システム学類>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
森之宮キャンパス 2024年12月完成予定 2025年4月開設予定	(変更内容) 2025年2月完成予定 2025年9月開設予定 校舎建物建設事業開始後に想定外の埋蔵文化財や地下埋設物が発見され、さらに不発弾が発見されたことで、撤去されるまでの間、工事を中断することになり、工事完成が当初予定より遅延したことに伴い、開設予定時期が半年後ろ倒しとなったが、その間については、従来通り既存キャンパス施設等を使用するため、教育に支障はない。 なお、本件については、2022年12月に「建設等設置計画変更書」を提出済みである。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 本学では、大阪公立大学の教育改革及びファカルティ・ディベロプメント（以下「FD」という。）を始めとする教育改善に関する具体的施策を検討するため、大阪公立大学教育推進本部の専門委員会として教育改革委員会を設置している。
その組織的かつ具体的なFD推進にあたり、国際基幹教育機構内に高等教育研究開発センターを設置し、大学及び大学院全体のFD活動を推進している。
高等教育研究開発センターでは、全学FD企画を企画運営するとともに、教育改善・FDの方向性を審議する教育改革専門委員会の運営に協力することを通じて、各部局のFD活動を支援している。
教育に関するSDについては、教育推進本部を中心に、教職協働によるセミナー等を実施している。
- ・ また、FDやSDも含む大学全体の教育研究等の質保証の審議機関としては、教育戦略担当副学長を議長とする大阪公立大学内部質保証会議を設置し、内部質保証を統括している。

【大阪公立大学教育改革委員会規程】

(趣旨)

第1条 この規程は、大阪公立大学教育推進本部規程第6条に基づき、大阪公立大学の教育改革及びファカルティ・ディベロプメント（以下「FD」という。）を始めとする教育改善に関する具体的施策を検討するため、大阪公立大学教育推進本部の専門委員会として設置する教育改革委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教育担当副学長
- (2) 高等教育研究開発センター長
- (3) 高等教育研究開発センター副センター長
- (4) 各研究科から選出された教員1人
- (5) 国際基幹教育機構から選出された教員1人

(6) 前各号に掲げるもののほか、委員長が必要と認めた者

(任務)

第3条 前条第5号から第7号までに掲げる委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第4条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 全学の教育改革に関する事項
- (2) 全学FD活動の企画・運営及び部局FD活動の情報共有・促進支援に関する事項
- (3) 全学的な教育の内部質保証の推進に関する事項
- (4) 教学IR（インスティテューショナル・リサーチ）の実施に関する事項
- (5) 全学SD（スタッフ・ディベロップメント）推進組織との連絡調整に関する事項
- (6) 前号に掲げるもののほか大阪公立大学における教育の改善に関する事項

(委員長等)

第5条 委員会に委員長を置き、教育担当副学長とする。

- 2 委員長は、委員会を代表し、議事その他の会務を掌理する。
- 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、意見を聴取することができる。
- 5 委員会において審議及び決定された重要事項については、教育推進本部会議に提議又は報告するものとする。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、事務局学務部教育推進課において行う。

(施行の細目)

第8条 この規程の施行について必要な事項は、委員会の議を経て委員長がこれを定める。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和6年3月26日規程第92号）

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教育改革委員会は、月に1回開催し、教育担当副学長を筆頭に、高等教育研究開発センター長・副センター長、国際基幹教育機構及び全学部・研究科から選出された教員で組織される。

c 委員会の審議事項等

- ・委員会は、次の事項を審議する。（大阪公立大学教育改革委員会規程 第4条）
 - (1) 全学の教育改革に関する事項
 - (2) 全学FD活動の企画・運営及び部局FD活動の情報共有・促進支援に関する事項
 - (3) 全学的な教育の内部質保証の推進に関する事項
 - (4) 教学IR（インスティテューショナル・リサーチ）の実施に関する事項
 - (5) 全学SD（スタッフ・ディベロップメント）推進組織との連絡調整に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・全学FDセミナー・研究会等の実施
- ・新任教員研修及び授業デザイン研修等の実施
- ・学生調査の実施、分析
- ・教職員の職種、職階等の特性に応じたFD／SDの実施

b 実施方法

- ・ 全学FDセミナー・研究会等の実施については、対面とオンラインによるハイブリッド方式で開催。
- ・ 新任教員研修及び授業デザイン研修等の実施については、動画コンテンツ（高等教育研究開発センターが作成）の視聴と同期オンライン実施。授業デザイン研修は同期オンライン実施。
- ・ 学生調査については、学士課程1年次生と3年次生を対象に学修成果を実施。
- ・ FD/SDの実施については、夏季休暇期間等において開催。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【令和5年度】

(1) 全学FD事業

- ・ 5/12：FD研修会「ChatGPTと大学教育-対話型AIが教育現場にもたらすインパクトと対応策」
参加者：216名
- ・ 6/9：第2回大学教育研究セミナー「2021年度実施調査からみた、大阪市立大学学士課程学生、大学院生、教員の教育の実態」 参加者：40名（教員28名、職員12名）（主催：高等教育研究開発センター）
- ・ 7/31：第2回全学FDセミナー「大学院生のキャリアデザイン支援を考えるー文学・理学など基礎系研究分野の支援事例を中心にー」 参加者：57名（教員40名、職員17名）（主催：高等教育研究開発センター）
- ・ 8/29：工学FDセミナー「高等学校における学習指導要領改定に伴う情報科教育の今」
参加者：165名（教員151名、職員14名）（共催：工学部・工学研究科教務委員会、高等教育研究開発センター）
- ・ 9/12：第2回FD研究会「大阪公立大学におけるFDのあり方について考える(2)」
参加者：127名（教員110名、職員14名、その他3名）（主催：高等教育研究開発センター）
- ・ 11/27：大阪公立大学全学FD「初年次ゼミナール実践事例共有会」
参加者：73名（教員65名、職員8名）（主催：国際基幹教育機構、企画：高等教育研究開発センター）
- ・ 12/8：2023年度FD・SD研修「大阪公立大学における障がい学生支援を考える」
参加者：130名（教員65名、職員65名）（主催：アクセシビリティ支援委員会・アクセシビリティセンター、共催：高等教育研究開発センター・人権問題研究センター）
- ・ 12/13：第2回教育改革フォーラム「大学における生成AIの活用について考えるー教職員・学生の活用事例から」
参加者：140名（教員90名、職員41名、学生7、その他2）（主催：高等教育研究開発センター、情報学研究科）
- ・ 2/14：第3回大学教育研究セミナー「模擬患者との協働による教育実践」
参加者：25名（教員15名、職員9名、その他1名）（主催：高等教育研究開発センター）
- ・ 3/4：全学FD事業/高大接続セミナー『高校教育の変化と展開：「総合的な探究の時間」と大学教育との接続』
参加者：74名（教員60名、職員12名、その他2名）
（主催：高等教育研究開発センター、共催：アドミッションセンター）

(2) 新任教員研修及び授業デザイン研修

- ・ 2023年度新任教員FD研修（同期型4/4＋非同期型コンテンツ）
参加者：72名（新任教員59名、一般4名、講師8名、関係の教員1名）
- ・ 11/21：2023年度授業デザイン研修I 参加者：教員2名
- ・ 1/12：2023年度授業デザイン研修II 参加者：教員2名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 教育推進本部において、高等教育研究開発センターや教育改革委員会と連携し、大阪公立大学の組織的な教育改善およびFDの方向性について整理・検討を行った。
- ・ 教育改革委員会を通じて各部局で取り組んでいるFD事業を全学に情報共有し、教員の授業改善や教育改善への支援を行った。
- ・ 教職員の職種、職階等の特性に応じたFDとして、新任教員FD研修、授業デザイン研修等を企画・実施し、教員の授業設計ならびに授業改善への支援を行った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 毎年度、前期・後期に実施（アンケート実施期間：各期最終授業頃～各期末頃まで）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 各教員はポートフォリオシステム上で一部を除き各担当授業の回答結果を確認できる。

学生に対しては、学内ポータルサイト等を通じ、公表にそぐわない内容を除き、原則公表する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - ・ 2025年度に自己点検・評価を実施する予定である。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・ 2025年度に自己点検・評価を実施し、速やかに公表する。
 - b 公表方法
 - ・ 大学ホームページ上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

 - ・ 開学後7年以内に認証評価機関の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- [illegible]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。